北海道立帯広美術館年報
平成5年－6年度

BIENNIAL REPORT OF HOKKAIDO OBIHIRO MUSEUM OF ART 1993-94

北海道立帯広美術館年報

平成5年－6年度



目 次

目 次 …… 3
展覧会事業
平成５－６年度コレクション・ギャラリー一覧 …… 4
アール・デコのポスター展 …… 5
檜原武正展 …… 6
道東の版画家たち …… 8
特別展示　シャガール《パリの空に花》 …… 10
自然の王国にて …… 11
中江紀洋展 …… 13
十勝の絵画－熱き表現者たち …… 15
平成５－６年度特別展一覧 …… 16
日本画・道産子の巨匠たち …… 18
珠玉の英国絵画展 …… 21
印象派とヨーロッパ近代絵画展 …… 25
ポーランド・ポスター100年展 …… 29
オノレ・ドーミエ展 …… 34
今日のアメリカ写真展 …… 42
ヴィクトル・ヴァザルリ展 …… 46
日本近代版画の歩み展 …… 50
葛飾北斎展 …… 57
麗しの女性たち展 …… 62
ドイツ表現主義の版画展 …… 66
紅型－琉球衣装の美 …… 72
ナンシー美術館名作展 …… 76
中国六千年の秘宝展 …… 80
北海道・今日の美術 …… 84
帯広美術館コレクション選集 …… 88
教育普及事業
美術講演会 …… 92
特別展セミナー …… 93
美術鑑賞講座 …… 94
土曜映写室 …… 95
アートウォッチング …… 96
トークショー …… 97
キッズ・ミュージアム …… 98
ミュージアム・コンサート …… 98
団体オリエンテーション …… 99
その他 …… 100
美術作品の収集
平成５年度 作品収集状況 …… 101
購 入 …… 101
受 贈 …… 103
平成６年度 作品収集状況 …… 105
購 入 …… 106
委託制作 …… 106
美術作品の貸出 …… 107
特別観覧 …… 108
美術作品の修復と表装 …… 108
貸館事業 …… 109
名 簿 …… 110
館内案内図 …… 111
建築概要 …… 112
設備概要 …… 112
沿 革 …… 113
観覧者数一覧 …… 114

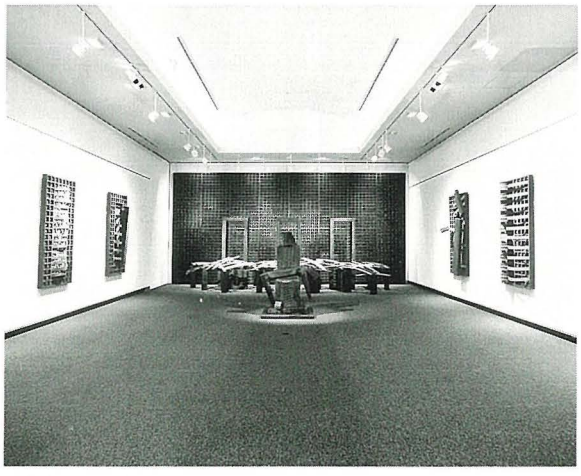
展覧会事業

平成5年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展　覧　会　名	会　　期	開催日数
1	〈新収蔵〉アール・デコのポスター展	4月6日(火)～8月8日(日)	102
2	大地／開墾　楢原武正展	8月14日(土)～11月7日(日)	66
3	道東の版画家たち	11月13日(土)～3月27日(日)	96

平成6年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展　覧　会　名	会　　期	開催日数
4	特別展示　シャガール《パリの空に花》	4月14日(木)～5月8日(日)	22
5	自然の王国にて　ミレーとバルビゾンの画家たち	5月10日(火)～7月10日(日)	50
6	TIME WAY ── 刻(とき)の構造　　中江紀洋展	7月16日(土)～10月23日(日)	79
7	十勝の絵画 ── 熱き表現者たち	11月1日(火)～3月26日(日)	96



中江紀洋展会場風景

〈新収蔵〉アール・デコのポスター展

会期＝平成5年4月6日㈫－8月8日㈰
主催＝北海道立帯広美術館


会場風景

19世紀から20世紀にかけての時代は、近代的な資本主義経済の確立に伴い、宣伝を目的とする大型広告ポスターがさかんに制作された。著名な画家や装飾美術家のみならず、ポスター専門の作家も数多く現われ、今日その優れた芸術性が再評価されている。

プリントアートの作品収集を進める当館では、こうした近現代の優れたポスターのコレクションを所蔵している。本展は、平成４年度に収集されたアール・デコのポスター43点から代表作25点を選び、その華やかで芸術性に富む造形世界を紹介、18,019人の観覧者があった。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	里見　宗次	コートダジュール	1934年	リトグラフ、紙	98.7×62.4
2	アルベール・ウジェーヌ・ヴィクトール・ブルネ	フランスへ（オペラ座）	1950年	リトグラフ、紙	96.5×61.8
3	ドナルド・ブラン	バータ	1940年頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0
4	レオネット・カピエッロ	テルモジェーヌ	1909年	リトグラフ、紙	151.1×112.5
5	レオネット・カピエッロ	ル・プティ・ドーフィノワ	1933年	リトグラフ、紙	109.6×152.9
6	アドルフ・ムロン・カッサンドル	北鉄道（羅針盤）	1929年	リトグラフ、紙	100.0×62.3
7	アドルフ・ムロン・カッサンドル	ボナル	1935年	リトグラフ、紙	154.2×114.5
8	ジャン=ガブリエル・ドメルグ	ギャルリー・ラファイエット百貨店	1920年	リトグラフ、紙	154.6×115.5
9	ジャン=ガブリエル・ドメルグ	舞踏競技会	1922年	リトグラフ、紙	60.4×38.6
10	ロベール・ファルクッチ	ラ・モンターニュ	1939年	リトグラフ、紙	116.8×76.4
11	ルイ・イカール	ムッシュー・アムール	1935年頃	リトグラフ、紙	153.1×113.2
12	ケース・ファン・デル・ラーン	国立飛行学校	1930年頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
13	ラウル・マルトン	オートモト	1930年	リトグラフ、紙	77.0×116.9
14	MICH（ミシェル・リエボー）	ロワイヤル=ファブリク自転車	1925年	リトグラフ、紙	150.2×113.5
15	ホセ・モレル	カンプロドン	1930年	リトグラフ、紙	89.2×61.0
16	ホセ・モレル	スペイン探訪	1941年	リトグラフ、紙	98.6×60.8
17	レシェク・ピアトコフスキー	FISスキー世界選手権	1939年	オフセット、紙	96.4×60.1
18	マックス・ポンティ	船会社・小包	1930年	リトグラフ、紙	99.9×72.0
19	マックス・ポンティ	プジョー	1930年頃	リトグラフ、紙	115.9×75.5
20	ルネ・ラヴォ	ムニエ・チョコレート	1936年	リトグラフ、紙	112.4×72.5
21	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック「リスト」	1932年	リトグラフ、紙	151.8×109.3
22	J．スプリング	コニャック「ソラン」	1930年	リトグラフ、紙	151.4×113.7
23	ルネ・ヴァンサン	モトブロク	1927年頃	リトグラフ、紙	154.3×113.2
24	ルネ・ヴァンサン	ビュイック	1929年	リトグラフ、紙	155.7×113.7
25	ヴェルナー・ヴァイスケーニヒ	アローサ	1940年頃	リトグラフ、紙	125.5×89.3

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべて北海道立帯広美術館蔵

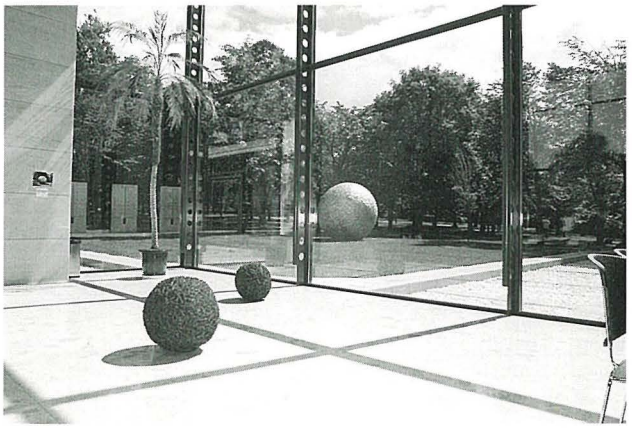
大地／開墾　楢原武正展

会期＝平成5年8月14日(土)ー11月7日(日)
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝十勝毎日新聞社、帯広シティーケーブル、財団法人小原流

関連事業
アートウォッチング93
「美の現場＝楢原武正　構築と解体 ── 野生のエナジー」
期日＝7月22日(木)～25日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、帯広シティーケーブル

トークショー
「美の原風景 ── 創造と創意と」
講師＝楢原武正氏（美術家）、加藤玖仁子氏（美術評論家）
日時＝8月14日(土)　午後2時～3時30分
会場＝当館講堂


ロビー展示風景


会場風景

行動美術協会会員の楢原武正は、昭和17（1942）年十勝管内広尾町の出身。個展、グループ展などを通じ道内外で幅広く活躍している美術家である。昭和56(1981)年前後からジャンク・アート（廃品芸術）に接近し、古鉄や廃材、空き缶などを寄せ集めたユニークな手法によって平面作品や立体造形作品を制作、ダイナミックな空間構成を試みている。手わざの痕跡を残しつつエネルギーに満ちあふれた空間を構築するその野生的な表現は、数多くの展覧会で注目を集め、近年は「大地／開墾」をテーマにスケールの大きなインスタレーションを手がけて新たな表現領域を切り開いている。

本展に先立ち7月22日から25日には、公開共同制作「アートウォッチング93」が「美の現場＝楢原武正　構築と解体－野生のエナジー」をテーマに開催され、延べ500人の市民の参加によって3点の巨大な作品が美術館の前庭、中庭、裏庭に設置された。会期中にはこれらの共同制作作品もあわせて展示され、大きな話題となった。1980年代半ば以降の代表作22点が展示された本展は、作者の近年の足跡を振り返るとともに今後をも展望する充実した内容となり、楢原武正の表現世界が多面的に紹介されたといえる。展覧会には8,283人が来館、地元出身の現代美術家への理解と関心を深める好機となった。

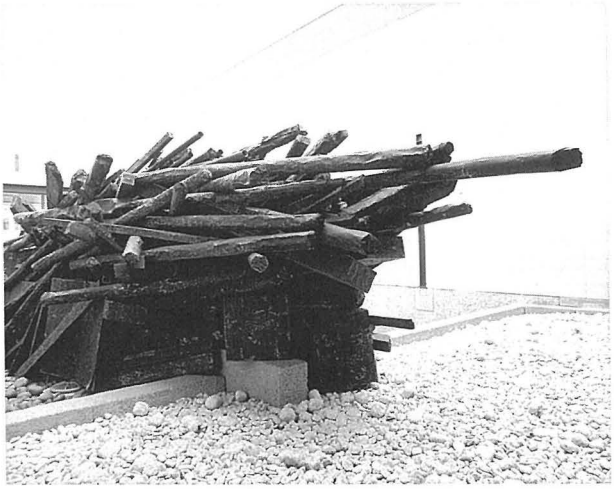
出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	作品“赤”	1984(昭和59)年	トタン板、釘、針金、塗料	180.0×180.3	北海道立帯広美術館
2	作品“No.1”	1984(昭和59)年	トタン板、空き缶、釘、塗料	182.5×182.3	作者
3	作品“No.2”	1984(昭和59)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	183.2×183.2	作者
4	球体	1984(昭和59)年 1993(平成5)年一部再制作	空き缶、釘、木、塗料	直径180	作者
5	〈無題〉	1984(昭和59)年	トタン板、釘、針金、塗料	170.0×170.0	作者
6	〈無題〉	1984-85(昭和59-60)年	針金	高さ48.0	作者
7	〈無題〉	1984-85(昭和59-60)年	針金	高さ40.0	作者
8	黒の惑星'85-3	1985(昭和60)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	228.8×183.5	北海道立帯広美術館
9	作品85-11	1985(昭和60)年	空き缶	高さ88.7	作者
10	黒の惑星86-327	1986(昭和61)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	170.4×170.7	作者
11	作品86-11	1986(昭和61)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	244.3×183.2	作者
12	作品17-17	1986(昭和61)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	230.8×183.0	作者
13	黒の惑星	1986(昭和61)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	182.5×228.3	作者
14	黒の惑星88-8	1988(昭和63)年	トタン板、空き缶、釘、針金、塗料	229.4×176.0	作者
15	黒の惑星'90-17	1990(平成2)年	トタン板、空き缶、廃品、釘、針金、塗料	154.5×302.0	作者
16	作品'91-817	1991(平成3)年	木、金属、廃品、釘、針金、塗料	213.0×233.5	作者
17	作品'91-1017	1991(平成3)年	トタン板、木、金属、廃品、釘、針金、塗料	217.0×187.5	作者
18	大地／開墾'93-A	1993(平成5)年	トタン板、麻布、金属、廃品、釘、針金、塗料	230.7×186.0	北海道立帯広美術館
19	コラボレーション93-722	1993(平成5)年	空き缶、トタン板、木、釘	直径283	作者
20	コラボレーション93-723	1993(平成5)年	木、金属、針金	長さ1,418	作者
21	コラボレーション93-725	1993(平成5)年	トタン板、木、廃材、釘、針金、塗料	長さ1,640	作者
22	作品93-813	1993(平成5)年	トタン板、塗料	274.5×182.8, 274.5×183.3, 273.8×183.8, 274.5×182.8 (4点組)	作者

＊　寸法は注記以外は縦×横



「コラボレーション93-723」



「コラボレーション93-725」

道東の版画家たち

会期＝平成5年11月13日(土)ー平成6年3月27日(日)
主催＝北海道立帯広美術館



会場風景

道東の地からは戦後すぐれた版画家たちが多く輩出した。彼らは、道内外さらには国際的にも幅広く活躍し、さまざまな版表現の可能性を追求し開拓してきた。伝統的な木版画や銅版画の手法によって独自の作風を示した作品、写真製版やシルクスクリーンなど戦後の新しい技法を用いた作品、さらに、従来の版画の概念を越えた表現技法による作品など、彼らの作品は多彩な傾向をみせている。

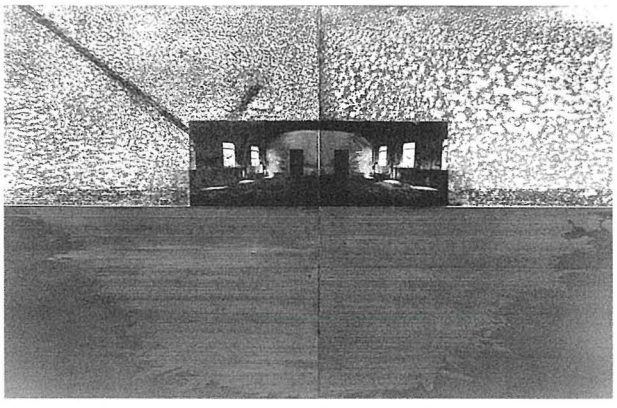
本展では、そうした動向の一端が、当館所蔵作品を中心とした40点の作品で紹介された。道東の美術とプリントアートをテーマに作品の収集を進める当館の特色が、明瞭に示された企画内容であった。

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	阿部　貞夫	くまげらと摩周	1958(昭和33)年	木版、紙	37.9×27.0	北海道立帯広美術館
2	阿部　貞夫	ポロト	1964(昭和39)年	木版、紙	36.0×66.0	北海道立旭川美術館
3	阿部　貞夫	峠	1966(昭和41)年	木版、紙	52.8×72.6	北海道立旭川美術館
4	池田　良二	Window under the midnight sun(白夜の窓)	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	50.0×50.0	北海道立帯広美術館
5	池田　良二	Reaching the cape(岬への到着)	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	57.0×84.6	北海道立帯広美術館
6	池田　良二	Architecture on the cape(岬の上の家)	1989(平成元)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	37.0×53.0	北海道立帯広美術館
7	池田　良二	Space of foggy ocean(海霧の空間)	1990(平成2)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7	北海道立帯広美術館
8	岡部　昌生	Stroke-on the road at Hiroshimacho in Sapporo. September 7-November 15,1987	1987(昭和62)年	フロッタージュ、鉛筆、紙	各300.0×152.0(3点組)	北海道立帯広美術館
9	岡部　昌生	フロッタージュ・ファックス・レター・プロジェクト「島から―」1991年7月22日－8月24日	1989(平成元)年	フロッタージュ、ファックス、レター、紙	35.3×25.0他(87点組)	北海道立帯広美術館
10	渋谷　栄一	PARIS　D	1972(昭和47)年	シュガーアクアチント、紙	23.0×28.0	北海道立帯広美術館
11	渋谷　栄一	シャルトル	1980(昭和55)年	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント(ルーレット)、紙	36.5×20.3	北海道立帯広美術館
12	渋谷　栄一	月明りのピエロ	1980(昭和55)年	エッチング、シュガーアクアチント、紙	36.4×20.2	北海道立帯広美術館
13	渋谷　栄一	楽園の調べ　C	1981(昭和56)年	エッチング、シュガーアクアチント、紙	49.8×36.5	北海道立帯広美術館
14	渋谷　栄一	アンティーブ　A	1989(平成元)年	エッチング、シュガーアクアチント、紙	22.0×36.5	北海道立帯広美術館
15	渋谷　栄一	サン・ポール　B	1989(平成元)年	エッチング、紙	20.0×36.5	北海道立帯広美術館
16	多賀　　新	飛来	1977(昭和52)年	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5	北海道立帯広美術館
17	多賀　　新	射影	1978(昭和53)年	エッチング、ルーレット、紙	60.0×36.5	北海道立帯広美術館
18	多賀　　新	虚飾	1981(昭和56)年	エッチング、アクアチント、紙	36.5×24.0	北海道立帯広美術館
19	多賀　　新	双璧	1982(昭和57)年	エッチング、アクアチント、紙	49.7×36.5	北海道立帯広美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
20	多賀　新	装束の文	1987(昭和62)年	エッチング、紙	36.5×24.5	北海道立帯広美術館
21	多賀　新	落飾	1988(昭和63)年	エッチング、紙	36.5×24.0	北海道立帯広美術館
22	手島圭三郎	人魚と破船	1971(昭和46)年	木版、紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
23	手島圭三郎	病める老馬	1972(昭和47)年	木版、紙	75.0×53.0	北海道立帯広美術館
24	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982(昭和57)年	木版、紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
25	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988(昭和63)年	木版、紙	53.0×75.0	北海道立帯広美術館
26	中谷　有逸	碑(68-2)	1968(昭和43)年	凹凸併用版、紙	57.8×46.8	北海道立帯広美術館
27	中谷　有逸	Monument in Soul	1968(昭和43)年	凹凸併用版、紙	62.5×43.8	北海道立帯広美術館
28	中谷　有逸	鳥のいる風景	1970(昭和45)年	凹凸併用版、シルクスクリーン、紙	69.0×48.8	北海道立帯広美術館
29	中谷　有逸	碑(団長夫人)	1984(昭和59)年	凹凸併用版、紙	62.2×40.5	北海道立帯広美術館
30	中谷　有逸	碑(見えざりし者たちの)	1988(昭和63)年	凹凸併用版、紙	38.8×58.2	北海道立帯広美術館
31	中谷　有逸	碑(アナトリアの人)	1990(平成２)年	凹凸併用版、紙	41.0×57.0	北海道立帯広美術館
32	増田　誠	ギリシャ神話	1976(昭和51)年	リトグラフ、紙	34.9×26.6他(12点組)	北海道立帯広美術館
33	増田　誠	旧約聖書	1976(昭和51)年	リトグラフ、紙	33.0×24.3他(12点組)	北海道立帯広美術館
34	矢柳　剛	愛の動物誌II(N)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	79.5×55.0	北海道立旭川美術館
35	矢柳　剛	愛の動物誌II(O)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	55.0×79.5	北海道立旭川美術館
36	矢柳　剛	愛の動物誌II(P)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	79.5×55.0	北海道立旭川美術館
37	矢柳　剛	愛の動物誌II(Q)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	79.5×55.0	北海道立旭川美術館
38	矢柳　剛	愛の動物誌II(R)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	55.0×79.5	北海道立旭川美術館
39	矢柳　剛	愛の動物誌II(S)	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙	79.5×55.0	北海道立旭川美術館
40	矢柳　剛	最後の晩餐	1985(昭和60)年	シルクスクリーン、紙	51.1×72.8	北海道立帯広美術館

＊　寸法は縦×横



池田良二「Space of foggy ocean（海霧の空間）」



手島圭三郎「しまふくろうとやどり木」

特別展示　シャガール《パリの空に花》

会期＝平成6年4月14日㈭－5月8日㈰
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

北海道立近代美術館は、開館以来のエコール・ド・パリの作品の収集によって全国的に知られ、その数は平成５年度収集分までで268点にのぼる。そのコレクションには、パスキンを中心にスーチン、キスリング、ユトリロ、ローランサンなど、この派の代表的な作家の作品が所蔵されているが、これまでシャガールの油彩はなく、その収集が長年待望されていた。しかし、平成５年度に新たに「北海道美術品取得基金」が設けられ、これによりシャガール後期の代表作《パリの空に花》の収蔵が実現した。

本展は、これを記念して、貴重な道民の財産となったこの名作を、他のエコール・ド・パリの作家の作品10点とあわせて札幌以外の道立美術館で特別展示したものである。会期中7,881人の観覧者があり、シャガールの豊かな芸術世界の一端を広く一般に紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	マルク・シャガール	パリの空に花	1967年	油彩、キャンバス	148.0×140.0
2	モイズ・キスリング	晴着の夫人	1925年	油彩、キャンバス	73.0×60.0
3	ペール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925年	油彩、キャンバス	92.0×60.0
4	ハイム・スーチン	祈る男	1921年	油彩、キャンバス	94.0×51.0
5	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外－二匹の白い犬	1921年	油彩、紙、ボード	54.5×65.0
6	アンドレ・ドラン	裸婦	1928-29年頃	油彩、キャンバス	92.4×72.4
7	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909年	油彩、キャンバス	100.0×81.0
8	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925年	油彩、キャンバス	80.0×64.0
9	藤田　嗣治	二人の女	1918年	油彩、キャンバス	92.2×73.3
10	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914年頃	油彩、ボード	46.0×60.0
11	マリー・ローランサン	婦人像	1920年	油彩、キャンバス	73.5×61.0

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべて北海道立近代美術館蔵

自然の王国にて ── ミレーとバルビゾンの画家たち

会期＝平成6年5月10日㈫ ― 7月10日㈰
主催＝北海道立帯広美術館


会場風景

19世紀中頃、パリの東南フォンテーヌブローの森のはずれにあるバルビゾン村で制作した一群の風景画家たちは、今日、バルビゾン派と呼ばれている。彼らはフォンテーヌブローの豊かな自然やそこに暮らす人々の生活情景を、印象派の先駆をなすような清新な筆致で描き出し、近代風景画の確立に大きな役割を果たした。

本展では、当館が所蔵するバルビゾン派およびその周辺の作家たちの作品45点により、19世紀において風景画のジャンルを確立した自然主義絵画の一端が紹介され、8,263人の観覧者があった。

出品目録

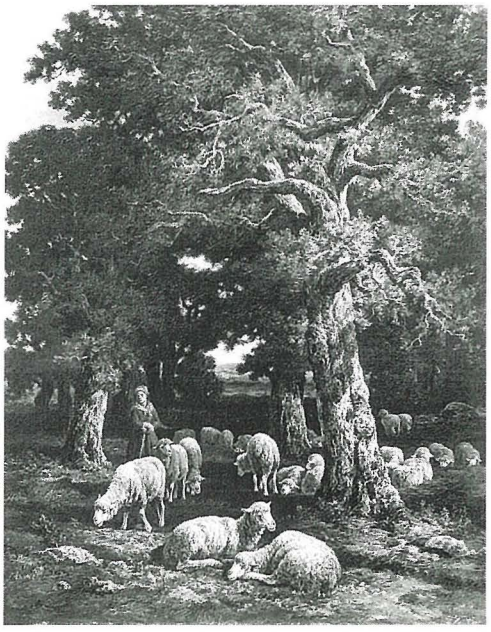
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	不詳	コローの肖像	不詳	エッチング、紙	11.9×10.9
2	J.B.C.コロー	ひざまづくマグダラのマリア	1858年	クリシェ=ヴェール、紙	16.5×11.4
3	J.B.C.コロー	イタリアの思い出	1863年	エッチング、紙	29.5×22.0
4	J.B.C.コロー	植林された平野	1866年	エッチング、紙	10.0×13.0
5	不詳	ユエの肖像	不詳	エッチング、紙	15.1×11.2
6	P.ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866年	エッチング、紙	19.3×28.0
7	P.ユエ	オージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866年	エッチング、紙	9.5×14.0
8	J.デュプレ	ソローニュの風車	1835年	リトグラフ、紙	19.6×14.0
9	J.デュプレ	ノルマンディー地方の風景	1835年	リトグラフ、紙	13.7×20.7
10	J.デュプレ	イギリス風景	1836年	リトグラフ、紙	12.9×20.7
11	J.デュプレ	アランソン風景	1839年	リトグラフ、紙	13.3×19.0
12	Th.ルソー	ビオーのサクランボの木	1848年頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
13	Th.ルソー	ビオーの平原	1848年頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.8×27.7
14	Th.ルソー	樫の木と岩	1861年	エッチング、紙	12.7×17.2
15	E.A.ラヴィエイユ	村の眺め	不詳	油彩、キャンバス	32.8×56.0
16	L.シャブリ	牧場と木々	不詳	油彩、キャンバス	32.0×47.5
17	L.シャブリ	アレスの道	不詳	エッチング、紙	14.3×20.8
18	F.L.フランセ	沼辺の犬	不詳	リトグラフ、紙	15.6×24.7
19	H.J.アルピニー	川辺の道	不詳	水彩、紙	23.9×33.7
20	H.J.アルピニー	川辺	不詳	水彩、紙	22.5×33.8
21	A.アロンジェ	池の水門	1879年	リトグラフ、木炭、紙	55.7×41.6
22	A.アロンジェ	森の中	不詳	水彩、紙	53.5×75.7
23	J.L.ブラカサ	海辺の羊	不詳	油彩、キャンバス	49.0×65.0
24	C.トロワイヨン	牛のいる風景	不詳	油彩、キャンバス	80.6×99.7
25	L.リッシェ	農婦のいる風景	不詳	油彩、キャンバス	43.8×59.7
26	J.F.ミレー	裁縫する女	1855-56年	エッチング、紙	10.5×7.4
27	J.F.ミレー	耕す人	1855年頃	エッチング、紙	24.0×34.0
28	J.F.ミレー	落穂ひろい	1855-56年	エッチング、紙	19.2×34.0
29	K.ボドメール	鹿の呼び声	不詳	油彩、キャンバス	101.0×81.0
30	K.ボドメール	鹿	不詳	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5
31	K.ボドメール	鳥の水場	不詳	リトグラフ、紙	48.8×34.4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
32	A.アピアン	リックスの周辺	1864年	エッチング、紙	7.0×15.1
33	A.アピアン	ロメ谷	1868年	エッチング、紙	10.1×19.1
34	A.アピアン	リヨン周辺	1879年	エッチング、紙	14.1×23.3
35	A.アピアン	マントン近郊	1879年	エッチング、紙	12.2×20.1
36	不詳	ドービニーの肖像	不詳	エッチング、紙	21.4×15.3
37	Ch.ドービニー	レバノンの西洋杉	1842年	エッチング、紙	17.5×11.3
38	Ch.ドービニー	羊の柵囲い	1860年	エッチング、紙	18.4×34.3
39	Ch.ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877年	エッチング、紙	14.0×23.9
40	Ch.ドービニー	ヴィラーヴィル海岸	不詳	エッチング、紙	9.2×19.8
41	Ch.E.ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、キャンバス	81.2×65.0
42	Ch.E.ジャック	蹄鉄場	1865年	エッチング、紙	12.8×19.3
43	Ch.E.ジャック	オランダ牛	不詳	エッチング、紙	11.0×17.9
44	Ch.E.ジャック	雄鳥と雌鳥	不詳	エッチング、紙	12.1×17.0
45	Ch.E.ジャック	夏	不詳	エッチング、紙	12.8× 9.7

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべて北海道立帯広美術館蔵



ボドメール「鹿の呼び声」

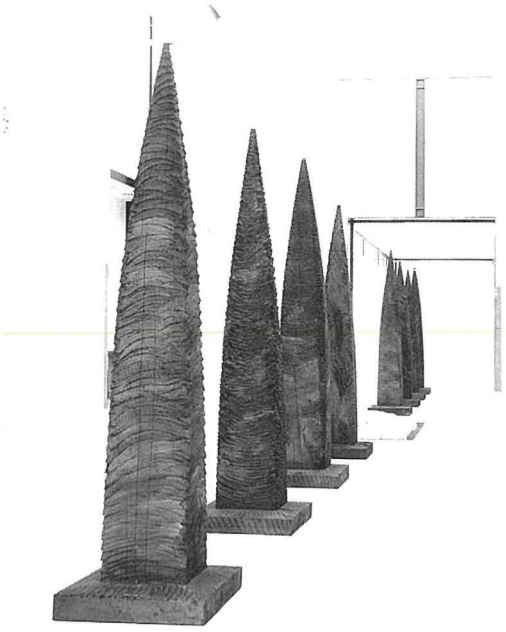


ジャック「森の中の羊飼いと羊の群れ」

TIME WAY ── 刻（とき）の構造　中江紀洋展

会期＝平成6年7月16日(土)ー10月23日(日)
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝十勝毎日新聞社、帯広シティーケーブル

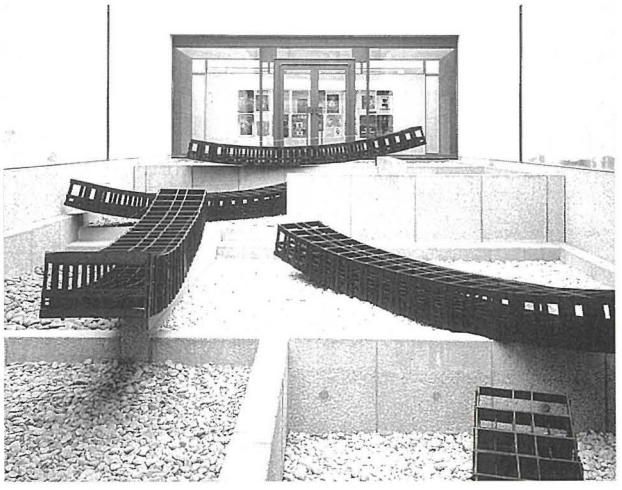


ホール展示風景

関連事業

アートウォッチング94
「美の現場＝中江紀洋　見果てぬ過去へのスクリプト」
期日＝6月24日(金)～26日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、帯広シティーケーブル

トークショー
「異文化からの啓示 ── 彫刻とインスタレーション」
講師＝中江紀洋氏（美術家）、竹澤雄三氏（広島市現代美術館学芸課長）
日時＝7月16日(土)　午後2時～3時30分
会場＝当館講堂



中庭展示風景

昭和18（1943）年釧路市に生まれた中江紀洋は、自由美術協会会員、全道美術協会会員として道内外で活躍している美術家である。早くから個展やグループ展で抽象的な木彫作品を発表してきたが、近年は各地に金属モニュメントを設置、また、木を素材としたインスタレーションを試みるなど表現領域を著しく拡大している。

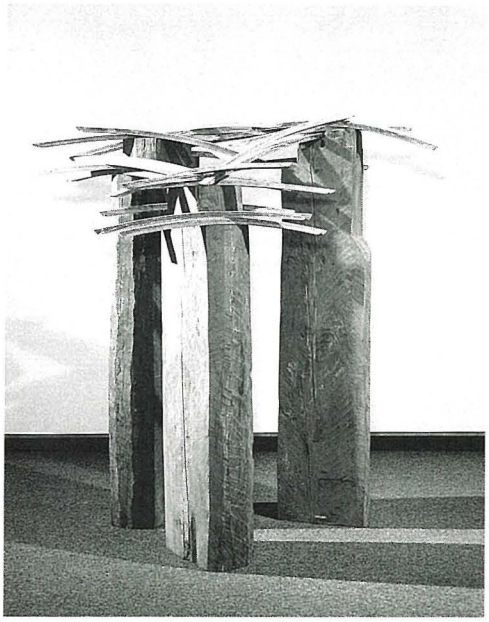
歴史や時間の概念を意味する“TIME WAY”をテーマにしたインスタレーション作品を中心とした本展では、作者の1980年代以降、最近作までが紹介された。展覧会に先だって6月24日から26日まで行われた「アートウォッチング94」では、「美の現場＝中江紀洋　見果てぬ過去へのスクリプト」と題して、延べ220人の市民の参加を得て3点の公開共同制作を実施。本展はこれらの共同制作作品および当館所蔵作品を含む計22点により構成されたものである。

作品展示は常設展示室での15点の展示を中心に、美術館の前庭、中庭、裏庭、ロビーなどに大作やインスタレーション作品を設置、館の内外を使った大規模な展示構成とした。観覧者総数は1万人を越え、多様な展開をみせる現代美術に対する理解を深める格好の機会となった。

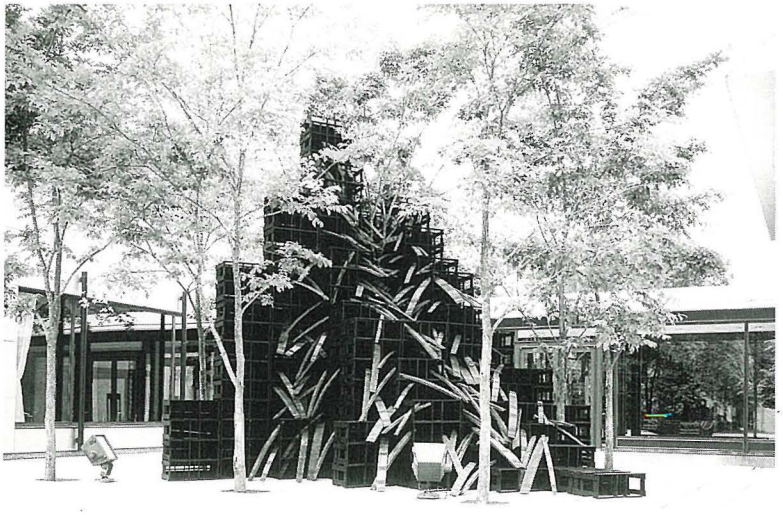
出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	私のBC435	1982(昭和57)年	カツラ	43.5×46.0×127.0	作者
2	八月の重い雲	1983(昭和58)年	カツラ、マツ	43.0×24.7×89.0	作者
3	哭	1984(昭和59)年	カツラ	39.0×48.0×138.5	作者
4	八月の土	1984(昭和59)年	カツラ、マツ、ステンレス	49.0×25.0×89.5	作者
5	八月の水	1984(昭和59)年	カツラ	80.0×77.0×118.0 36.5×125.0×21.0(2点組)	作者
6	38°N and long 22°Eへの鑽仰	1985(昭和60)年	カツラ	48.0×144.0×130.0	北海道釧路湖陵高等学校
7	テペへの回廊	レリーフ=1986(昭和61)年 立体=1994(平成6)年	レリーフ=オーク、マツ、カツラ、金属 立体=スプルース、ステンレス	レリーフ=80.2×179.5×d16.0 立体=50.0×50.0×200.0他7点	作者
8	TIME WAY No.1	1992(平成4)年	マツ、オーク	150.0×150.0×190.0	作者
8	TIME WAY No.2	1992(平成4)年	マツ、オーク	510.0×220.0×150.0	作者
10	未来への遺産	1994(平成6)年	木、石膏	レリーフ=346.0×720.0×d7.5 立体=530.0×220.0×200.0	作者
11	過去への質問	1994(平成6)年	木、金属、石膏	182.0×96.0×d33.5	作者
12	過去への夢	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d26.0	作者
13	さりげない質問	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d24.0	作者
14	時間の旅立ち	1994(平成6)年	木、金属、石膏	181.0×90.0×d37.0	作者
15	砂の舟	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d34.0	作者
16	流れついた過去	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d18.0	作者
17	残された時間	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d23.5	作者
18	開かれた時間	1994(平成6)年	木、金属、石膏	173.0×90.0×d36.0	作者
19	HAHA(祈り)	1994(平成6)年	スプルース、金属	91.5×107.0×156.0	北海道立帯広美術館
20	時をさまよう方舟	1994(平成6)年	木、金属	533.0×66.0×70.0他(14点組)	作者
21	停泊・流れの中で	1994(平成6)年	木、金属	533.0×66.0×70.0他(5点組)	作者
22	流れ(Stream)	1994(平成6)年	木、金属	600.0×630.0×510.0	作者

＊　寸法は幅×奥行×高さ、レリーフ作品は縦×横×d奥行



「TIME WAY No.1」



「流れ（Stream）」

十勝の絵画―熱き表現者たち

会期＝平成6年11月1日㈫―平成7年3月26日㈰
主催＝北海道立帯広美術館


会場風景

帯広を中心とした十勝地方からは、第二次大戦後、多くの画家たちが輩出した。とりわけ1960年代以降、欧米のフォーヴィスムや表現主義などを思わせる激しい色彩を駆使した絵画作品が数多く生み出された。

本展では、こうしたいわば「熱き表現」ともいえる6作家の14点が展示され、十勝の絵画の一断面が紹介された。この地の厳しい風土につちかわれた作品、あるいは、海外への渡航経験に基づく作品など、彼らの作品のモティーフや表現方法はそれぞれ異なっているが、芸術に対するほとばしるような情熱をうかがい知ることができる内容であった。

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	神田　日勝	人と牛(B)	1968(昭和43)年	油彩、板	183.5×182.5	北海道立帯広美術館
2	神田　日勝	人の牛(C)	1968(昭和43)年	油彩、板	183.0×184.5	神田ミサ子氏
3	武田　伸一	トカチB	1963(昭和39)年	油彩、キャンバス	90.0×115.5	武田伸一記念ギャラリー
4	武田　伸一	凍　土	1966(昭和41)年	油彩、キャンバス	182.0×229.0	武田伸一記念ギャラリー
5	寺島　春雄	赤の原野	1959(昭和34)年	油彩、キャンバス	131.3×194.3	北海道立帯広美術館
6	寺島　春雄	深淵の声	1961(昭和36)年	油彩、キャンバス	130.7×162.5	北海道立帯広美術館
7	寺島　春雄	赤の狂宴	1963(昭和38)年	油彩、キャンバス	130.6×162.5	北海道立帯広美術館
8	楢原　武正	日の出	1975(昭和50)年	油彩、キャンバス	165.0×132.5	北海道立帯広美術館
9	楢原　武正	子　供	1976(昭和51)年	油彩、キャンバス	135.5×110.0	北海道立帯広美術館
10	楢原　武正	無　題	1980(昭和55)年	油彩、キャンバス	183.5×259.0	北海道立帯広美術館
11	村元　俊郎	祭りの日のカルメン	1986-90(昭和61-平成2)年	油彩、キャンバス	194.0×259.0	画家の美術館
12	村元　俊郎	若き族長	1986-90(昭和61-平成2)年	油彩、キャンバス	194.0×259.0	画家の美術館
13	矢柳　　剛	ブラジルの叫び	1958(昭和33)年	油彩、キャンバス	196.6×119.5	北海道立帯広美術館
14	矢柳　　剛	宇宙と人間 D	1961(昭和36)年	油彩、キャンバス	161.7×112.1	北海道立帯広美術館

＊　寸法は縦×横

平成5年度特別展一覧

No.	展覧会名	会期	開催日数	主催・後援ほか
1	北海道立近代美術館所蔵 日本画・道産子の巨匠たち 蓬春／沙伊／英遠／球子／多賀	4月6日(火) ～5月5日(水)	27	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立近代美術館
2	マンチェスター市立美術館所蔵 珠玉の英国絵画展	5月9日(日) ～6月20日(日)	37	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、北海道新聞社、英国絵画展実行委員会 後援／ブリティッシュ・カウンシル、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、帯広美術関係者連絡協議会、NHK帯広放送局、北海道文化放送、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会 協力／日本航空
3	コロンバス美術館所蔵 印象派とヨーロッパ近代絵画展	6月26日(土) ～8月8日(日)	38	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、印象派とヨーロッパ近代絵画展実行委員会、札幌テレビ放送、十勝毎日新聞社、読売新聞社 後援／外務省、文化庁、アメリカ大使館、十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、帯広美術関係者連絡協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会、十勝教育研究所、帯広市教育研究所、帯広市PTA連合会、帯広青年会議所、帯広市町内会連絡協議会、帯広市婦人団体連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ振興財団、日専連帯広会、NCおびひろ、帯広デザイナーズ協会、NHK帯広放送局、帯広シティーケーブル 協賛／帯広信用金庫、帯広日産自動車、東洋印刷 協力／日本航空 特別協賛／アサヒビール
4	グラフィック・デザインの奔流 ポーランド・ポスター100年展	8月14日(土) ～9月12日(日)	26	主催／北海道立帯広美術館 後援／ポーランド大使館 協力／日本航空
5	伊丹市立美術館所蔵 オノレ・ドーミエ展	9月18日(土) ～10月24日(日)	32	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、伊丹市立美術館 後援／帯広美術館振興会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝観光連盟、帯広観光協会、帯広空港路線推進協議会、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、北海道新聞社、北海タイムス社、十勝毎日新聞社、釧路新聞社、NHK帯広放送局、HBC、STV、UHB、HTB、帯広シティーケーブル 協力／日本エアシステム
6	The New Still-Life 今日のアメリカ写真展	11月13日(土) ～12月19日(日)	31	主催／北海道立帯広美術館、社団法人国際芸術文化振興会、北海道新聞社 後援／文化庁、アメリカ大使館 協力／日本航空、日本加工製紙株式会社
7	光と幻影のコスモロジー ヴィクトル・ヴァザルリ展	1月5日(水) ～2月13日(日)	34	主催／北海道立帯広美術館、美術館連絡協議会、読売新聞社 後援／外務省、フランス大使館、ハンガリー大使館 協賛／花王株式会社
8	日本近代版画の歩み展 永瀬義郎と大正・昭和戦前期の作家たち	2月19日(土) ～3月27日(日)	31	主催／北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 協賛／花王株式会社

平成6年度特別展一覧

No.	展覧会名	会期	開催日数	主催・後援ほか
1	江戸・浮世絵の巨匠 葛飾北斎展	4月29日(金) ～5月29日(日)	27	主催／北海道立帯広美術館、津和野・葛飾北斎美術館
2	描かれた世紀末ファッション 麗しの女性たち展 ルノワール、ティソ、サージェント…	6月4日(土) ～7月10日(日)	32	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会 後援／外務省、文化庁、アメリカ大使館、フランス大使館 協力／日本航空
3	近代版画の革命 ドイツ表現主義の版画展	7月16日(土) ～8月14日(日)	26	主催／北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 協賛／花王株式会社
4	紅型 ── 琉球衣装の美 かたち舞い、色うたう。	8月20日(土) ～9月18日(日)	26	主催／北海道立帯広美術館、札幌テレビ放送
5	幻想と神話と自然と人間 ナンシー美術館名作展 ルーベンスからモネまで	9月23日(金) ～10月23日(日)	27	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、ナンシー美術館名作展実行委員会 後援／フランス大使館 協力／日本航空
6	上海博物館コレクションから 中国六千年の秘宝展	11月1日(火) ～12月18日(日)	41	主催／北海道立帯広美術館、上海博物館、帯広市、美術館連絡協議会、十勝毎日新聞社、中国六千年の秘宝展実行委員会 後援／外務省、文化庁、中国大使館、北海道日中友好協会、十勝町村会、十勝教育局、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会、十勝教育研究所、帯広市ＰＴＡ連合会、帯広青年会議所、帯広市町内会連絡協議会、帯広市婦人団体連絡協議会、帯広市老人クラブ連合会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ振興財団、日専連帯広会、ＮＣおびひろ、帯広デザイナーズ協会、十勝カルチャーネット、ＨＢＣ帯広放送局、ＳＴＶ帯広放送局、ＵＨＢ帯広放送局、ＨＴＢ帯広放送局、帯広シティーケーブル 協賛／花王株式会社、アサヒビール株式会社、帯広信用金庫、帯広日産自動車株式会社、ＪＴＢ帯広支店、東洋印刷株式会社 協力／日本航空株式会社
7	北海道・今日(うつわ)の美術 飛躍する器たち ── 工芸、建築、デザインは呼びかける	1月14日(土) ～2月19日(日)	30	主催／北海道立帯広美術館 企画／北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館
8	帯広美術館コレクション選集	2月25日(土) ～3月26日(日)	25	主催／北海道立帯広美術館

北海道立近代美術館所蔵　日本画・道産子の巨匠たち　蓬春／沙伊／英遠／球子／多賀

会期＝平成5年4月6日㈫ ― 5月5日㈬
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

関連事業

美術講演会
「昭和の日本画 ―― 5人の伝統と革新」
講師＝奥岡茂雄氏（北海道立近代美術館学芸部長）
日時＝4月10日㈯　午後2時～3時30分
会場＝当館講堂

特別展セミナー
「表現（すがた）と精神（こころ）―― 道産子の巨匠たち」
講師＝寺嶋弘道（当館学芸課長）
日時＝4月17日㈯、5月1日㈯　午後2時～3時
会場＝当館講堂

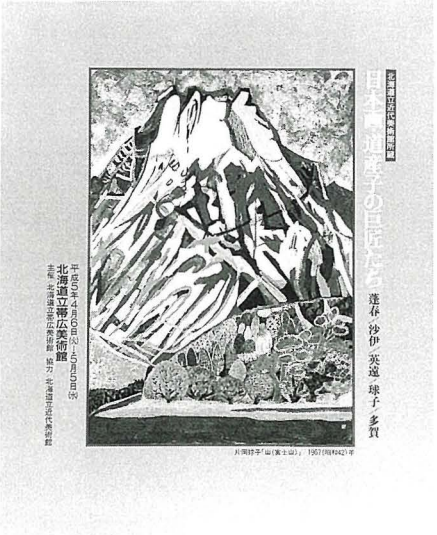
土曜映写室
「日本の巨匠　岩橋英遠」「日本の巨匠　片岡球子」
「道産子追憶之巻」
日時＝4月24日㈯　午後2時～3時
会場＝当館講堂



ポスター

昭和初期から活発な活動を見せ始めた北海道の日本画は、戦後に至って飛躍的な進展をとげた。とりわけ明治生まれの画家たちが日本画壇の中心を占めるに至って、北海道出身作家のロマンあふれる清新な作品の数々は、大きな注目を集めた。中でも山口蓬春、森田沙伊、岩橋英遠、片岡球子、菊川多賀の5人は、日展や院展を舞台に華々しい活躍をみせ、それぞれ独自のすぐれた画風を確立するとともに、日本の美術界にも大きな影響を与えた。

本展では、北海道を最も代表するこの5人の画家の輝かしい足跡が北海道立近代美術館所蔵の44点の作品により紹介された。各作家とも8～10点前後の出品であったが代表作がほぼ網羅され、主展示室1には蓬春、沙伊、多賀の作品が、主展示室2には英遠と球子の作品が展示された。会期中の観覧者は5,404人、特に英遠の全長29メートルの大作「道産子追憶之巻」には多くの共感が寄せられるなど、北海道の日本画の実り豊かな創造の世界に触れる好機となった。



パンフレット



会場風景



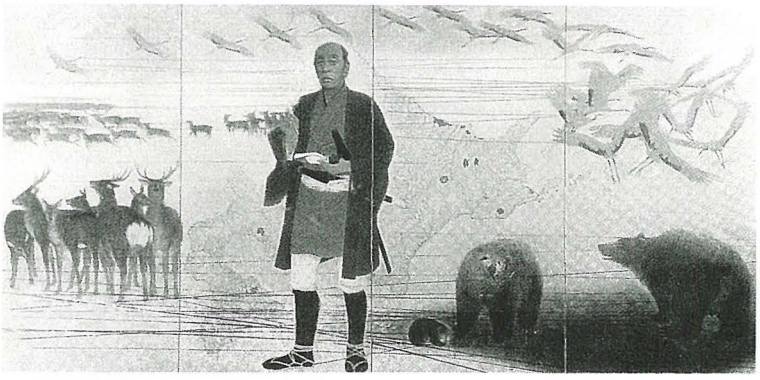
会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	山口　蓬春	浄境閑寂	1926(大正15)年	絹本彩色・軸	113.6×56.6
2	山口　蓬春	帰漁	1928(昭和３)年	紙本彩色・軸	123.0×90.0
3	山口　蓬春	暖冬	1933(昭和８)年	紙本彩色・屏風（二曲一双）	各155.0×156.0
4	山口　蓬春	春野	1935(昭和10)年	絹本彩色・軸	55.0×85.3
5	山口　蓬春	十二カ月連幅　六月（五位鷺）	1935(昭和10)年頃	絹本彩色・軸	135.5×46.0
6	山口　蓬春	初冬	昭和10年代	絹本彩色・軸	114.6×40.4
7	山口　蓬春	冬菜	1955(昭和30)年	紙本彩色・額	48.0×63.0
8	山口　蓬春	籠中春花	1956(昭和31)年	紙本彩色・額	60.5×83.1
9	森田　沙伊	さだ子座像	1924(大正13)年	絹本彩色・額	64.5×63.5
10	森田　沙伊	小鳥	1928(昭和３)年	絹本彩色・屏風（二曲一隻）	145.0×174.0
11	森田　沙伊	若い人	1959(昭和34)年	紙本彩色・額	185.0×126.0
12	森田　沙伊	仔馬	1960(昭和35)年	紙本彩色・額	188.0×149.8
13	森田　沙伊	鏡	1965(昭和40)年	紙本彩色・額	181.0×150.3
14	森田　沙伊	匙	1974(昭和49)年	紙本彩色・額	126.5×129.0
15	森田　沙伊	暮情	1975(昭和50)年	紙本彩色・額	177.7×167.0
16	森田　沙伊	納屋余情	1977(昭和52)年	紙本彩色・額	178.0×169.0
17	森田　沙伊	家のみえる厩	1978(昭和53)年	紙本彩色・額	123.5×143.5
18	岩橋　英遠	土	1937(昭和12)年	紙本彩色・額	83.0×99.0
19	岩橋　英遠	石	1952(昭和27)年	紙本彩色・屏風（二曲一隻）	163.0×139.0
20	岩橋　英遠	風雪の名瀑（風）	1968(昭和43)年	紙本彩色・額	181.5×105.8
21	岩橋　英遠	風雪の名瀑（雪）	1968(昭和43)年	紙本彩色・額	181.5×105.8
22	岩橋　英遠	虹輪（極圏を飛ぶ）	1969(昭和44)年	紙本彩色・額	181.5×105.8
23	岩橋　英遠	虹輪（来迎）	1969(昭和44)年	紙本彩色・額	182.0×105.0
24	岩橋　英遠	虹輪（南溟を翔る）	1969(昭和44)年	紙本彩色・額	182.0×105.8
25	岩橋　英遠	憂北の人	1970-79(昭和45-54)年	紙本彩色・屏風（四曲一隻）	180.5×368.0
26	岩橋　英遠	道産子追憶之巻	1978-82(昭和53-57)年	紙本彩色・額	60.7×2,908.8
27	岩橋　英遠	誌(一)	1982(昭和57)年	紙本彩色・額	182.0×121.0
28	岩橋　英遠	誌(二)	1982(昭和57)年	紙本彩色・額	182.0×121.0
29	片岡　球子	八風不動	1943(昭和18)年	紙本彩色・額	121.7×93.9
30	片岡　球子	阿波風景	1963(昭和38)年	麻布彩色・額	187.0×251.0
31	片岡　球子	伊豆風景	1964(昭和39)年	麻布彩色・額	260.0×159.7
32	片岡　球子	山（富士山）	1967(昭和42)年	麻布彩色・額	259.0×193.0
33	片岡　球子	還城楽	1967(昭和42)年	麻布彩色・額	162.0×130.0
34	片岡　球子	舞楽・二の舞（老夫婦）	1969(昭和44)年	麻布彩色・額	162.0×97.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
35	片岡　球子	雅楽・胡飲酒	1972(昭和47)年	紙本彩色・額	80.3×116.7
36	片岡　球子	葛飾北斎	1976(昭和51)年	紙本彩色・額	116.0×79.0
37	菊川　多賀	立姿	1967(昭和42)年	紙本彩色・額	125.5× 54.5
38	菊川　多賀	懐郷	1970(昭和45)年	紙本彩色・額	181.5×242.0
39	菊川　多賀	婦図	1974(昭和49)年	紙本彩色・額	176.0×242.0
40	菊川　多賀	文楽	1975(昭和50)年	紙本彩色・額	182.0×243.0
41	菊川　多賀	小宰相	1976(昭和51)年	紙本彩色・額	180.3×240.0
42	菊川　多賀	無量華II	1980(昭和55)年	紙本彩色・額	180.5×186.8
43	菊川　多賀	遙	1982(昭和57)年	紙本彩色・額	180.7×187.0
44	菊川　多賀	道標	1984(昭和59)年	紙本彩色・額	180.5×187.0

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべて北海道立近代美術館蔵



岩橋英遠「憂北の人」



片岡球子「葛飾北斎」

マンチェスター市立美術館所蔵　珠玉の英国絵画展

会期＝平成5年5月9日(日)－6月20日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、北海道新聞社、英国絵画展実行委員会

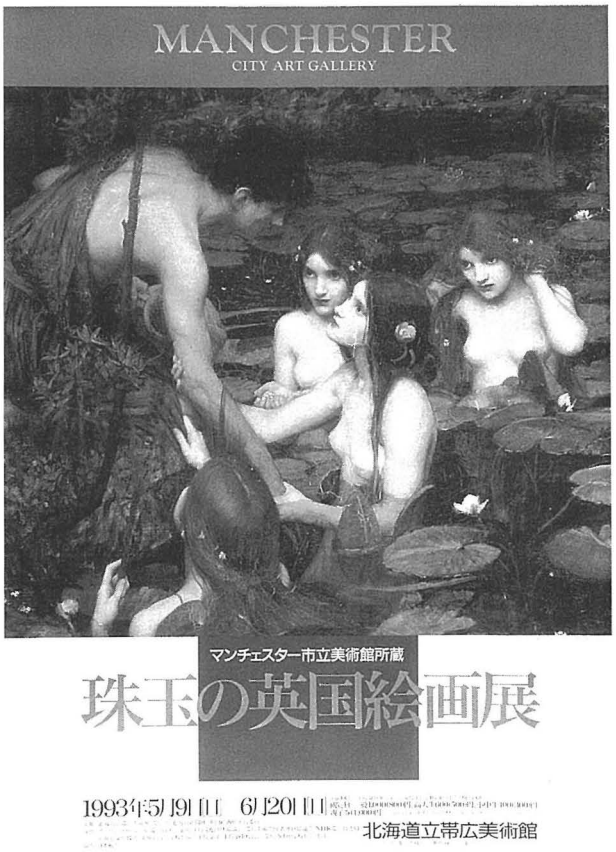
後援＝ブリティッシュ・カウンシル、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、帯広美術関係者連絡協議会、ＮＨＫ帯広放送局、北海道文化放送、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会
協力＝日本航空

関連事業

美術講演会
「英国絵画の黄金時代－ラファエル前派からヴィクトリア朝絵画へ」
講師＝千足伸行氏（成城大学教授）
日時＝５月15日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

特別展セミナー
「イギリス近代絵画の展開」
講師＝光岡幸治（当館学芸員）
日時＝５月22日(土)、６月５日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

土曜映写室
「風景画の世界」「ターナー」
日時＝５月29日(土)、６月12日(土)、６月19日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂



ポスター



図録

ヨーロッパ大陸とは海をへだてたイギリスの美術は、しばしば大陸の美術とは異なった歩みをみせてきた。17世紀前半以降は大陸の美術への関心の高まりとともに、次第に西洋美術の一大潮流を形成してゆく。

18世紀中葉に設立されたロイヤル・アカデミーの初代会長レイノルズや彼と同時代に活躍したゲインズボロはすぐれた肖像画を多く残した。さらに、19世紀初頭、ターナーやコンスタブルなどの画家たちは崇高な自然美を謳いあげイギリス・ロマン主義を確立し、つづいてロセッティなどのラファエル前派の画家たちは文学性の強い独自の画風を展開するなど、18世紀から19世紀にかけての英国絵画はまさに多様な展開をみせ、この国の美術史上最も輝かしい一時期であったといえる。

本展は、イギリス絵画のコレクションで知られるマンチェスター市立美術館所蔵の珠玉の名品100点により構成され、豊かに彩られた英国近代美術の流れが概観できる内容であった。近年注目を集めるラファエル前派の作品が北海道で初めて本格的に紹介される機会となったこともあって、道内各地から鑑賞者が訪れた。会期中の入場者総数は13,323人に達し、好評のうちに終了した。



会場風景



会場風景

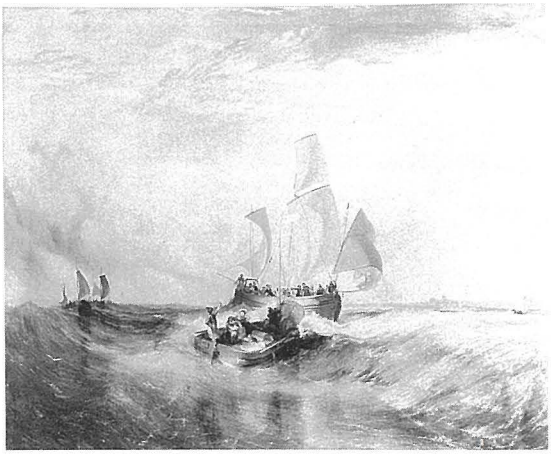
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	トマス・ゲインズボロ	羊飼いと羊のいる風景	1786年頃	油彩、キャンバス	30.1×35.2
2	トマス・ゲインズボロ	人物のいる風景	1786年頃	油彩、キャンバス	63.0×75.5
3	ジョン・クローム	ノリッヂ近郊の収穫風景	不詳	油彩、板	39.0×53.8
4	J.M.W.ターナー	スペイトの川	1796年頃	水彩、鉛筆、紙	35.5×49.5
5	J.M.W.ターナー	二つの橋がある川と城	1798-99年	水彩、鉛筆、紙	23.0×34.0
6	ジョン・コンスタブル	穀物畑の小屋	1815-16年	油彩、キャンバス	30.3×35.2
7	ジョン・コンスタブル	ハムステッド、ハーロー方面を望む	1821年	油彩、キャンバスで裏打ちした紙	25.0×29.8
8	デイヴィド・コックス	ダドリー城、ウースターシャー	1853年	油彩、キャンバス	30.1×41.0
9	デイヴィド・コックス	ボルソーヴァー城、ダービシャー	不詳	水彩、黒チョーク、紙	45.1×60.7
10	ピーター・デ・ウィント	柳のある風景	不詳	油彩、厚紙	27.5×43.3
11	ピーター・デ・ウィント	平野の眺望	不詳	油彩、キャンバス	21.2×35.2
12	ジョン・リンネル	ハムステッドの荒野	1855-56年	油彩、キャンバス	45.8×61.1
13	サミュエル・パーマー	輝く雲	1833-34年	油彩、テンペラ、板	23.2×32.0
14	ウィリアム・ヘンリー・クローム	風車のある森林風景	1843年	油彩、板	67.1×94.2
15	ウィリアム・ヘンリー・クローム	小屋のある森林風景	不詳	油彩、板	67.3×94.6
16	アンドリュー・マッカラム	シャーウッドの森の樫の木	1877年	油彩、キャンバス	78.5×119.0
17	ベンジャミン・ウィリアムズ・リーダー	フェブラリ・フィルの溝	1881年	油彩、キャンバス	76.6×122.6
18	ベンジャミン・ウィリアムズ・リーダー	シアー教会、サリー州	1892年	油彩、キャンバス	76.2×122.4
19	ベンジャミン・ウィリアムズ・リーダー	明るい夕暮れ	1897年	油彩、キャンバス	76.5×127.3
20	リチャード・ウィルソン	廃墟となった城のある風景	不詳	油彩、キャンバス	169.5×163.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
21	リチャード・ウィルソン	モーダックの谷	不詳	油彩、キャンバス	91.7×106.7
22	トマス・ハーン	ロスリン	不詳	鉛筆、水彩、紙	20.8×30.4
23	ジョン・ウォリック・スミス	サランシェからモン・ブランを望む	不詳	鉛筆、水彩、紙	24.3×37.9
24	ジョン・ロバート・カズンズ	フラスカーティのアルドブランディーニ荘の庭	不詳	水彩、紙	37.6×27.0
25	J.M.W.ターナー	次は画家の番(ロープ) ── 乗船する旅客たち(カレーの海峡)	1827年	油彩、キャンバス	174.3×223.5
26	J.M.W.ターナー	シンプロン峠近くのスイスのシオン	1846年頃	水彩、不透明水彩、紙	38.0×55.2
27	ジョン・ヴァーリー	北ウェールズのベッドゲラート橋	1804年	水彩、紙	36.0×47.1
28	デイヴィド・コックス	ウェールズの渡し、浅瀬の家畜	1849年	油彩、キャンバス	38.0×45.7
29	デイヴィド・コックス	コンウェー近くでの干草づくり	1852-53年	油彩、キャンバス	47.5×72.8
30	デイヴィド・コックス	北ウェールズの渡し	1853年	水彩、黒チョーク、紙	27.1×36.7
31	ピーター・デ・ウィント	北ウェールズのオグウェン谷	不詳	水彩、鉛筆、紙	28.5×44.5
32	デイヴィド・ロバーツ	カルナックの神殿	1838年	鉛筆、水彩、紙	48.5×32.5
33	ジョン・フレデリック・ルイス	コーヒーを運ぶ人	1857年	油彩、板	30.4×19.0
34	サミュエル・パーマー	コンウェー城、北ウェールズ	1844年頃	黒チョーク、水彩、インク、白のハイライト、紙	38.0×47.7
35	ウィリアム・ワイルド	ローマのティトゥス帝凱旋門	不詳	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	22.4×34.7
36	ウィリアム・ジェームズ・ミュラー	ヴェネチア	1834年	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	21.0×41.1
37	ウィリアム・ジェームズ・ミュラー	アテネのアクロポリスからの眺め	1838年	鉛筆、水彩、紙	27.5×42.0
38	ジョン・ラスキン	ヴェネチアのパラッツォ・ドゥカーレの正面(ブドウの木のモチーフ)	不詳	鉛筆、ペン、茶色のインク、水彩、紙	49.8×34.0
39	ジョン・エヴァレット・ミレー	冬の燃料	1873年	油彩、キャンバス	194.5×149.5
40	ジョン・エヴァレット・ミレー	グレン・バーナム	1891年	油彩、キャンバス	145.2×101.1
41	ジョージ・チャールズ・ヘイト	コルドヴァの古い戸口	1902年	水彩、不透明水彩、紙	55.5×40.5
42	ウィリアム・ホガース	紳士の肖像	1739年	油彩、キャンバス	76.4×63.2
43	ジョシュア・レイノルズ	第9代キャスカート卿チャールズの肖像	不詳	油彩、キャンバス	124.0×99.0
44	ジョシュア・レイノルズ	ジェーン・ハミルトンと令嬢ジェーンの肖像	1755年	油彩、キャンバス	124.0×99.0
45	ポール・サンドビー	ハイド・パークの火薬庫	1780年	鉛筆、水彩、紙	30.5×48.0
46	トマス・ゲインズボロ	プリューデンス・リックス婦人の肖像	1755年頃	油彩、キャンバス	75.7×63.5
47	ジョゼフ・ライト・オブ・ダービー	トマス・デイの肖像	1770年	油彩、キャンバス	127.0×100.4
48	トマス・ロウランドスン	ランローストの市場	不詳	ペン、インク、水彩、紙	14.3×37.7
49	ウィリアム・ヘンリー・ハント	花売り娘	1833年頃	水彩、不透明水彩、アラビアのり、紙	27.0×18.5
50	ウィリアム・ヘンリー・ハント	アスターを生けた花瓶	1840年頃	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	42.5×28.8
51	ウィリアム・ヘンリー・ハント	鳥の巣と花	1850年頃	水彩、不透明水彩、紙	29.5×33.7
52	エドワード・ヴィリヤーズ・リッピンギル	坐る二人の女性と子供	不詳	灰色の絵具による淡彩、鉛筆、紙	13.7×15.1
53	ジョージ・フレデリック・ワッツ	メイ・プリンセプ(祈り)	1867年	油彩、キャンバス	102.6×69.6
54	マイルズ・バーケット・フォスター	バルマカラの洗濯日	不詳	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	17.3×27.0
55	ロバート・プレイスウェイト・マーティノー	金の鎖とイアリングをつけた貴婦人	1861年	油彩、板	35.6×25.4
56	ジョン・トムスン	少女の頭部習作	1863年	油彩、キャンバス	37.5×29.5
57	フレデリック・ジェームズ・シールズ	畑の見張り	1866年	鉛筆、不透明水彩、水彩、紙	33.0×42.7
58	ジョルジュ・デュ・モリエ	ロイヤル・アカデミーの開会前日	1877年	褐色インク、鉛筆、紙	31.5×25.4
59	ジェームズ・ティソ	静かに!(コンサート)	1875年	油彩、キャンバス	73.7×112.2
60	ジェームズ・ティソ	軍人の娘	不詳	油彩、板	36.2×21.8
61	ヘレン・アリンガム	道ばたの小屋	1891年	水彩、紙	28.5×37.3
62	ヘレン・アリンガム	キティー	不詳	水彩、紙	28.5×37.3
63	フランク・ディクシー	思い出	1886年	水彩、不透明水彩、紙	12.6×17.7
64	ジョン・ギルバート	魔法の森	1887年頃	鉛筆、水彩、不透明水彩、もみ皮紙	24.5×42.0



ゲインズボロ「人物のいる風景」



ターナー「次は画家の番(ロープ)
── 乗船する旅客たち(カレーの海峡)」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
65	フォード・マドックス・ブラウン	ユングフラウ山上のマンフレッド(『マンフレッド』第1幕第3場より)	1840-61年	油彩、キャンバス	140.2×115.0
66	フォード・マドックス・ブラウン	「正義の精神」のための習作	1845年	鉛筆、水彩、不透明水彩、紙	75.7×51.7
67	フォード・マドックス・ブラウン	海賊船船長の帰還	1869年	黒チョーク、灰色の紙	23.5×38.4
68	フォード・マドックス・ブラウン	バイロンの夢	1874年	油彩、キャンバス	71.5×54.8
69	ジェームズ・アーチャー	アーサー王の死	1860年	油彩、厚紙	43.2×50.9
70	ウィリアム・ホルマン・ハント	スケープゴート	1854-55年	油彩、キャンバス	33.7×45.9
71	ウィリアム・ホルマン・ハント	シャロット姫(テニスンの詩より)	1886-1905年	テンペラ、油彩、板	44.4×34.1
72	チャールズ・オールストン・コリンズ	ローマで売りに出された夫リチャード獅子心王の帯を見て身の安全を気づかうベレンガリア	1850年	油彩、キャンバス	101.2×106.7
73	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	「女王の間におけるサー・ランスロット」のための習作	1857年	鉛筆、水彩、紙	49.7×51.4
74	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	沈黙	1870年	鉛筆、紙	50.6×35.4
75	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ	あずまやのある草地	1850-72年	油彩、キャンバス	86.3×68.0
76	ジョン・エヴァレット・ミレー	憩いの谷	1858年頃	水彩、不透明水彩、紙	12.0×20.0
77	ジョン・エヴァレット・ミレー	ステラ	1868年	油彩、キャンバス	112.7×92.1
78	フレデリック・サンズ	ヴィヴィアン	1863年	油彩、キャンバス	64.0×52.5
79	ウィリアム・J.ウェッブ	迷える羊	1864年	油彩、板	33.1×25.1
80	エドワード・バーン=ジョーンズ	「メデューサの死」の翼のための習作	1882年	鉛筆、紙	31.6×21.1 31.1×19.9(2点組)
81	エドワード・バーン=ジョーンズ	「コフェチュア王と乞食の少女」の少女の衣紋習作	1883年	鉛筆、紙	35.5×25.0
82	フレデリック・ジェームズ・シールズ	デフォー作『ロンドンの疫病』のための挿絵3点:「死者の穴」	1863年	ペン、黒インク、淡彩、白でハイライト、紙	12.9×8.0
		「農夫に遺体で発見された避難者」	1863年	鉛筆、ペン、黒インク、淡彩、紙	11.2×7.8
		「悔い改めないものをなじるソロモン・イーグル」	1863年	ペン、黒インク、淡彩、白でハイライト、紙	12.1×7.8
83	ジョン・M.・ストラドウィック	林檎は金色、歌は甘美なりしとき。夏は過ぎぬ	1906年	油彩、キャンバス	76.4×48.4
84	ロバート・アニング・ベル	シンデレラ	1903年	水彩、不透明水彩、紙	53.0×47.0
85	チャールズ・リケッツ	「モンテズマ」のための舞台デザイン	1925年	水彩、不透明水彩、鉛筆、紙	29.0×42.5
86	トマス・ビーチ	ディアナを装った貴婦人	不詳	油彩、キャンバス	77.0×64.3
87	ウィリアム・エッティ	嵐	1829-30年	油彩、キャンバス	91.0×104.5
88	ジョージ・フレデリック・ワッツ	パオロとフランチェスカ	1870年	油彩、キャンバス	66.1×52.5
89	フレデリック・レイトン	ヘロの最後の見張りとレアンドロスの死	1887年	油彩、キャンバス	絵163.3×91.7 台座33.3×76.5
90	ローレンス・アルマ=タデマ	ローマの花市場	1868年	油彩、板	42.0×58.0
91	ローレンス・アルマ=タデマ	エトルリアの壺絵師	1871年	油彩、板	39.2×27.3
92	エドワード・J.ポインター	エンデミオンの夢	1902年	油彩、キャンバス	50.8×38.1
93	ヴァレンタイン・C.プリンセプ	金門	1882年	油彩、キャンバス	137.5×95.8
94	ヴァレンタイン・C.プリンセプ	シンデレラ	1899年	油彩、キャンバス	149.6×113.1
95	チャールズ・E.ペルジーニ	読書する少女	1878年	油彩、キャンバス	97.9×73.0
96	アルバート・ムーア	花輪	1887-88年	油彩、キャンバス	49.3×25.1
97	アルバート・ムーア	牧歌的風景	1893年	油彩、キャンバス	86.5×79.0
98	J.W.ウォーターハウス	ヒュラスとニンフたち	1896年	油彩、キャンバス	98.2×163.3
99	アーサー・ハッカー	シュリンクス	1892年	油彩、キャンバス	193.4×61.4
100	ジョン・ウィリアム・ゴッドワード	期待	1900年	油彩、キャンバス	46.0×91.5

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべてマンチェスター市立美術館蔵


ホーガス「紳士の肖像」


ハント「シャロット姫」(テニスンの詩より)」

コロンバス美術館所蔵　印象派とヨーロッパ近代絵画展

会期＝平成5年6月26日(土)－8月8日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、印象派とヨーロッパ近代絵画展実行委員会、札幌テレビ放送、十勝毎日新聞社、読売新聞社

後援＝外務省、文化庁、アメリカ大使館、十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、帯広美術関係者連絡協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会、十勝教育研究所、帯広市教育研究所、帯広市ＰＴＡ連合会、帯広青年会議所、帯広市町内会連絡協議会、帯広市婦人団体連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ財団、日専連帯広会、ＮＣおびひろ、帯広デザイナーズ協会、ＮＨＫ帯広放送局、帯広シティーケーブル
協賛＝帯広信用金庫、帯広日産自動車、東洋印刷
協力＝日本航空
特別協賛＝アサヒビール



北海道立帯広美術館
ポスター

関連事業

美術講演会

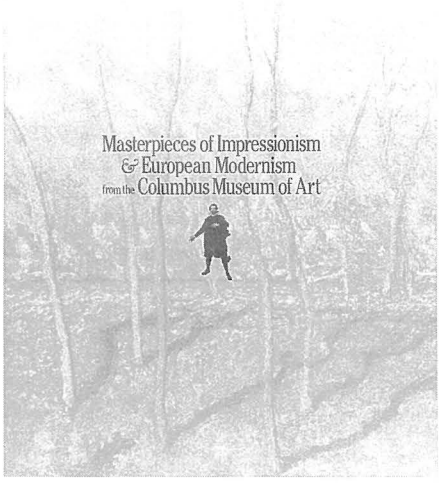
「ヨーロッパ近代絵画の流れ ── 印象派から20世紀へ」
講師＝佐藤友哉氏（北海道立近代美術館学芸第一課長）
日時＝７月10日(土)、午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

特別展セミナー

「色彩の革命 ── フォーヴィスムとドイツ表現主義」
講師＝佐藤幸宏（当館学芸員）
日時＝７月17日(土)、７月31日(土)、午後２時～３時
会場＝当館講堂

土曜映写室

「マネ／モネ」（６月26日）
「光と色彩の讃歌」「都市の自画像」（８月７日）
日時＝６月26日(土)、８月７日(土)、午後２時～３時
会場＝当館講堂



図録

フランス印象派の登場により新たな時代の幕開けを迎えたヨーロッパ近代絵画は、後期印象派や象徴主義、さらに20世紀に入ってフォーヴィスム、キュビスム、表現主義など多彩な展開を見せながら、かつてないほど豊かな表現世界を開拓してきた。本展は、近代絵画のすぐれたコレクションでアメリカでも第一級の美術館として知られるコロンバス美術館（オハイオ州コロンバス市）が所蔵するシラク・コレクションの作品により、このヨーロッパ近代絵画の流れを紹介した展覧会である。マネ、モネ、ルノワール、ドガ、セザンヌなどの印象派をはじめ、ルドン、ロートレック、ボナール、マティス、ピカソ、ユトリロ、クレーなど、近代絵画の黄金時代を築いた巨匠38作家の油彩・水彩・素描86点が展示された。出品作品のほとんどは日本初公開のものばかりであり、その質の高い作品の数々はこれまでほとんど知られていなかったシラク・コレクションの素晴らしさを多くの観客に印象づけた。観覧者も平成5年度最高の22,334人に達した。



会場風景

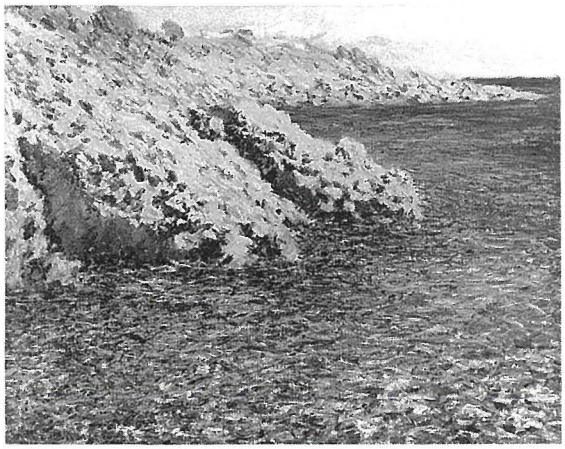


会場風景

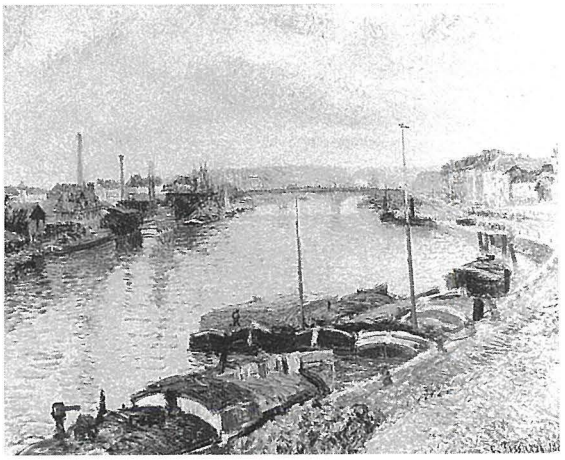
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ウジェーヌ・ブーダン	ボルドー、ガロンヌ川に浮かぶ船	1876年	油彩、キャンバス	49.5×73.7
2	エドゥアール・マネ	フェリペ4世のお抱え道化師、パブリリョス・デ・バリャドリードの肖像	1865年	油彩、キャンバス	64.5×36.8
3	クロード・モネ	ヴェランジュヴィルの教会とムティエ峡谷	1882年	油彩、キャンバス	59.7×81.2
4	クロード・モネ	プールヴィルの海景	1882年	油彩、キャンバス	60.0×100.2
5	クロード・モネ	葡萄の籠	1883年	油彩、キャンバス(ドアのための6枚の装飾画の1枚)	51.2×38.1
6	クロード・モネ	ポール=ヴィレのセーヌ川(突風)	1883あるいは90年	油彩、キャンバス	60.3×99.7
7	クロード・モネ	ベヌクールの眺め	1887年	油彩、キャンバス	81.6×81.6
8	クロード・モネ	地中海(アンティーブ岬)	1888年	油彩、キャンバス	65.1×81.3
9	クロード・モネ	しだれ柳	1918年	油彩、キャンバス	131.2×110.3
10	ピエール=オーギュスト・ルノワール	舞台衣装のアンリオ夫人	1875-77年	油彩、キャンバス	161.3×104.8
11	ピエール=オーギュスト・ルノワール	ジプシーの少女	1879年	パステル、地塗りされたキャンバス	58.6×36.0
12	ピエール=オーギュスト・ルノワール	ナポリ湾	1882年	油彩、キャンバス	29.0×38.9
13	ピエール=オーギュスト・ルノワール	刺繍をするクリスティーヌ・ルロル	1895-98年	油彩、キャンバス	82.6×65.8
14	エドガー・ドガ	岸壁のふもとの家並(サン=ヴァレリー=シュル=ソム)	1895-98年	油彩、キャンバス	92.0×73.2
15	エドガー・ドガ	座る踊り子	1898年頃	パステルと木炭、裏打ちされた黄褐色の紙	53.2×49.4
16	カミーユ・ピサロ	ポントワーズ近郊の風景	1878年	油彩、キャンバス	53.9×65.1
17	カミーユ・ピサロ	ルーアンの石橋と伝馬船	1883年	油彩、キャンバス	54.3×65.2
18	カミーユ・ピサロ	オスニーの風景	1883年頃	油彩、キャンバス	45.7×55.6
19	カミーユ・ピサロ	ポントワーズの市場	1887年	筆と黒インク、グアッシュと水彩、白鉛でハイライト、裏打ちされた黄褐色の紙	32.6×24.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
20	アルフレッド・シスレー	サン=マメスの造船所	1885年	油彩、キャンバス	54.9×73.3
21	ポール・セザンヌ	座る浴女	1873-77年	油彩、キャンバス	21.0×13.0
22	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ルメルル氏	1891年	油彩、キャンバス	80.6×64.8
23	ピエール・ボナール	二人の裸婦のいる風景	1914-15年	油彩、キャンバス	53.3×69.9
24	ピエール・ボナール	タデ・ナタンソンの肖像	1897年	油彩、厚紙	43.1×41.9
25	エドゥアール・ヴュイヤール	暖炉の前に座る裸婦	1899年頃	油彩、キャンバス	34.5×32.2
26	エドゥアール・ヴュイヤール	石油ストーブ	1907-10年	グアッシュ、厚紙に裏打ちされた紙	90.0×66.3
27	オディロン・ルドン	二人の美の女神	1900年頃	油彩、キャンバス	41.3×28.3
28	ジェームス・アンソール	暗殺	1890年	油彩、キャンバス	60.5×77.0
29	ジェームス・アンソール	貝殻	1895年	油彩、キャンバス	82.2×109.2
30	グスタフ・クリムト	抱擁	1910年頃	石墨、黄褐色の紙	52.9×37.0
31	グスタフ・クリムト	アデーレ・ブロッホ=バウアー夫人像	1910-11年	石墨、淡いクリーム色の紙	56.6×37.2
32	エゴン・シーレ	思索する人(自画像)	1914年	石墨、淡褐色の紙	48.3×32.4
33	アンリ・マティス	自画像のある静物	1896年	油彩、キャンバス	65.1×80.5
34	アンリ・マティス	赤い上着のロレット	1917年	油彩、板	46.4×36.2
35	アンリ・マティス	鰻、エトルタの海岸	1920年	油彩、キャンバス	90.2×71.1
36	アンリ・マティス	窓辺の女	1920-22年	油彩、キャンバス	55.6×46.3
37	アンリ・マティス	サフラン色の薔薇と鳥籠のインコ	1924年	油彩、キャンバス	60.3×73.0
38	アンリ・マティス	母と子	1939年	木炭、黄褐色の紙	60.9×60.9
39	モーリス・ド・ヴラマンク	麦畑	不詳	油彩、キャンバス	27.0×35.0
40	キース・ヴァン・ドンゲン	ライラックとミルクの入ったカップ	1909年	油彩、キャンバス	120.3×93.7
41	アンドレ・ドラン	モー・ウォルター像	1904-06年	油彩、裏打ちされた紙	37.7×26.6
42	アンドレ・ドラン	画家エティエンヌ・テリュス像	1905年	油彩、キャンバス	65.4×49.5
43	アンドレ・ドラン	カミエへの道	1911年	油彩、キャンバス	72.4×91.4
44	エミール・ノルデ	蒸気船と帆船	1913年	水彩、黄褐色の紙	26.6×40.4
45	エミール・ノルデ	少女	1920年	水彩、紙	46.9×35.8
46	エミール・ノルデ	強風に立つひまわり	1943年	油彩、板	72.6×88.1
47	パウラ・モーダーゾーン=ベッカー	杖をつく女	1903年	油彩、紙	60.0×60.0
48	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	眠れる少女	1905-06年	油彩、ボード	51.9×43.5
49	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	裸婦のいるフェーマルン島風景 (フェーマルン島で水浴する5人の女)	1913年	油彩、キャンバス	121.6×90.8
50	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	フェーマルン島の塔の一室(エルナのいる自画像)	1913年	油彩、キャンバス	91.4×81.9
51	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキー	赤い帽子のショッコ	1909年あるいは10年	油彩、ボード	74.7×65.7
52	マックス・ベックマン	キャバレーの二人の黒人	1946年	油彩、キャンバス	70.3×51.1
53	パウル・クレー	サン=ジェルマン風景	1914年	水彩、裏打ちされた黄褐色の紙	23.0×28.4
54	パウル・クレー	黄色い半月と蒼い星	1917年	水彩、裏打ちされた紙	19.5×14.3



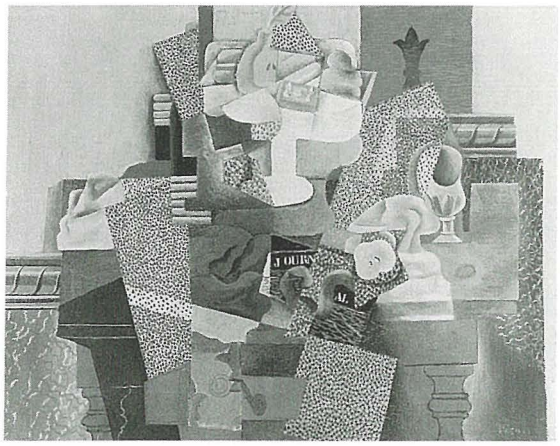
モネ「地中海（アンティーブ岬）」



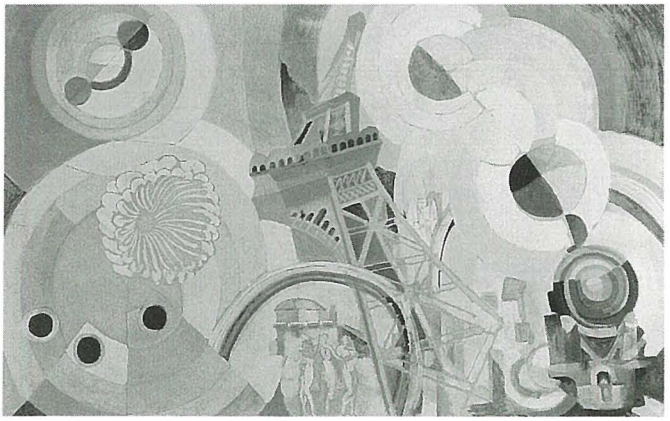
ピサロ「ルーアンの石橋と伝馬船」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
55	パウル・クレー	両国間都市	1921年	黒インクによる転写と水彩、裏打ちされた紙	31.3×48.0
56	パウル・クレー	戦いの夢	1924年	石墨、裏打ちされた淡褐色の紙	28.2×22.6
57	パウル・クレー	思案に暮れて	1928年	水彩と石墨、裏打ちされたクリーム色の紙	39.6×22.5
58	パウル・クレー	鳩のいる静物	1931年	油彩と蜜蠟、厚紙	56.4×71.8
59	パウル・クレー	岩の花	1932年	水彩にペンとインク、裏打ちされた紙	44.4×32.3
60	パウル・クレー	寂しげな花	1934年	水彩にペンと黒インク、裏打ちされた黄褐色の紙	47.8×31.5
61	パウル・クレー	イルフェンブルク	1935年	グアッシュ、紙	30.3×26.2
62	パウル・クレー	火の精	1939年	グアッシュ、裏打ちされた紙	32.9×20.8
63	パブロ・ピカソ	牛を連れる少年	1906年	グワッシュ、紙	59.7×47.0
64	パブロ・ピカソ	裸婦(愛するエヴァ)	1912年	油彩に砂と木炭、キャンバス	101.0×66.0
65	パブロ・ピカソ	果物皿とグラス	1914年から15年にかけての冬	油彩、キャンバス	63.5×78.7
66	パブロ・ピカソ	パイプを持って座る男	1916年	水彩と石墨、紙	31.4×23.5
67	ホアン・グリス	トランプとビールの入ったジョッキ	1913年	油彩とコラージュ、キャンバス	54.9×37.8
68	ホアン・グリス	果物皿	1920年	油彩、キャンバス	59.7×48.2
69	フェルナン・レジェ	削岩機	1918年	油彩、キャンバス	40.0×26.4
70	アルベール・グレース	風景	1913年	油彩、キャンバス	92.4×52.4
71	アルベール・グレース	ジャック・ネイラルに捧げる	1917年	油彩、厚紙	75.9×60.0
72	ロベール・ドローネー	大気、鉄そして水	1936-37年	ガゼイン、紙(1915年にキャンバスで裏打ち)	97.6×151.0
73	ライオネル・ファイニンガー	大聖堂	1920年	油彩、キャンバス	90.5×114.9
74	ライオネル・ファイニンガー	難破船	1946年	水彩、淡褐色の紙	24.2×28.9
75	モーリス・ユトリロ	モンマニーの教会広場	1908年頃	油彩、キャンバス	54.1×73.1
76	ハイム・スーチン	セレの風	1920-21年	油彩、キャンバス	63.4×83.2
77	ハイム・スーチン	女教師メラニー	1922年頃	油彩、キャンバス	81.5×46.0
78	ハイム・スーチン	カーニュの風景	1923年	油彩、キャンバス	65.5×80.5
79	マリー・ローランサン	ラズベリー	1942年	油彩、キャンバス	46.2×38.1
80	アンドレ=デュノワイエ・ド・スゴンザック	プロヴァンス地方の農場	1952年	ペンと筆、インク、チョーク、裏打ちした紙	39.5×58.3
81	アンドレ=デュノワイエ・ド・スゴンザック	谷間	1952年	ペンと筆、インク、裏打ちしたオフホワイトの紙	39.4×58.7
82	アンドレ=デュノワイエ・ド・スゴンザック	海沿いの糸杉(サン=トロペ)	1956年	水彩、紙	57.2×78.8
83	ジョルジョ・モランディ	静物	1945年	油彩、キャンバス	39.5×49.2
84	ニコラ・ド・スタール	事物の量感	1949年	油彩、板	183.6×99.4
85	ディエゴ・リベラ	パンナイフのある静物	1915年	油彩、キャンバス	49.9×59.7
86	ディエゴ・リベラ	静物	1915年	油彩、キャンバス	96.5×63.2

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべてコロンバス美術館蔵



ピカソ「果物皿とグラス」


ドローネー「大気、鉄そして水」

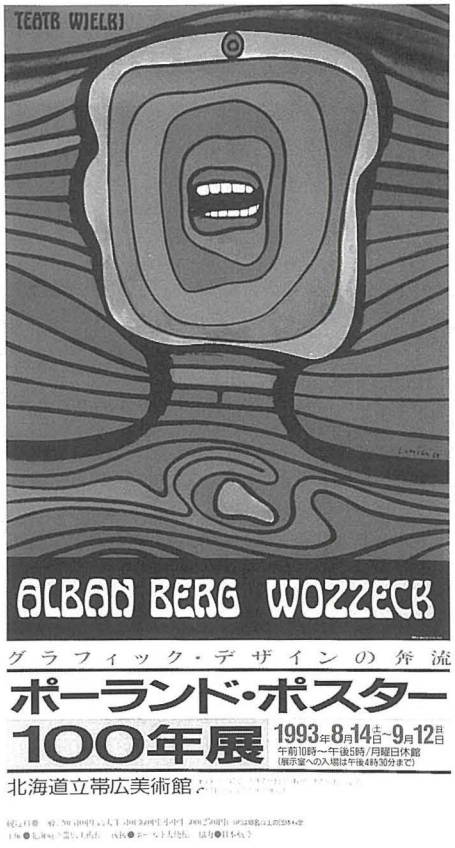
グラフィック・デザインの奔流　ポーランド・ポスター100年展

会期＝平成5年8月14日(土)ー9月12日(日)
主催＝北海道立帯広美術館

後援＝ポーランド大使館
協力＝日本航空

関連事業

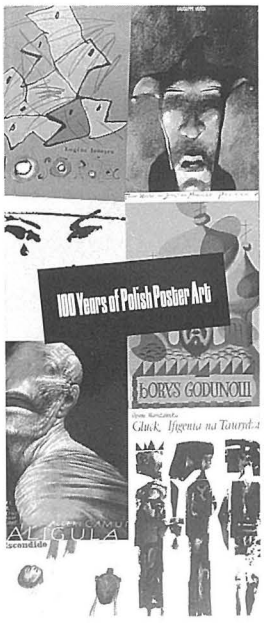
美術講演会
「ポーランド派ポスターの周辺」
講師＝金子賢治氏（東京国立近代美術館主任研究官）
日時＝８月21日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂



激動の国に花開いた
ポスター芸術。
鮮やかに彩られた
今世紀ポーランド。
ポスター

ポーランドのポスターは、今世紀初頭、ポーランド近代美術の誕生とともに展開した近代デザイン運動により育まれ、アール・ヌーヴォーやアール・デコの豊かな遺産も受け継ぎながら発展した。社会主義リアリズムによる戦後の一時期を経て、1950年代後半から60年代にかけては「ポーランド派」と呼ばれる独自の動向を示して多彩な展開をみせ、世界のグラフィック・デザイン界の中でもユニークな位置を確立してきた。象徴的、比喩的表現に特徴づけられるポーランドのポスターは70年代以降一層発展し、その存在感あふれる数々の作品によって、今日では、映画、ファイバー・ワークと並んでその特異な芸術性が世界的にも高く評価されている。

本展では、今世紀初頭から今日に至るまでの約100年にわたるポーランド・ポスターの歩みが、ポーランド国立ポスター美術館所蔵の150点の作品により紹介された。激動の国に花開いたポスター芸術をとおして、今世紀のポーランドの軌跡が鮮やかに浮かび上がる展観となった。この国のポスターが本格的に展示されるのは日本で初めてのことであり、また、ポスター作品の収集を進める当館にとっても意義のある展覧会であった。



図録



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ヴォイチェフ・ヤスチシェンボフスキ	クラクフ近郊のスフォショヴィチェ鉱泉	1907年頃	リトグラフ	71×56
2	ヴウォジミェシュ・テトマイエル	オイツフ友好協会	1910年頃	リトグラフ	95.×63
3	カジミェシュ・シフルスキ	全ポーランド建築・彫刻・絵画展	1910年	リトグラフ	75.5×112
4	カロル・ジンドラム・マシュコフスキ	第1回クラクフ現代ポーランド宗教美術展	1911年	リトグラフ	95×70
5	エドヴァルト・トロヤノフスキ	『金のホルン』	1911年	リトグラフ	65×63.5
6	ヘンリク・クンゼク	『アブデラ』	1911年頃	リトグラフ	95×63
7	カロル・フリチェ	M.パスハルスキの紙巻きタバコの紙	1911年頃	リトグラフ	63×40
8	ユゼフ・チャイコフスキ	造園装飾展覧会	1912年	リトグラフ	30×22
9	作者不詳(モノグラム　R.C)	ニェミルフの鉱泉保養地	1912年	リトグラフ	95×63
10	イェジ・ゲルバルト	大年次コンサート	1918年	リトグラフ	87.5×64
11	ロムアルト・カミル・ヴィトコフスキ	第3回絵画・彫刻展	1918年	リトグラフ	70×50
12	ボグダン・ノヴァコフスキ	祖国が君に呼びかけている	1918年	リトグラフ	102×71.5
13	ジグムント・カミンスキ	第1回ポーランド切手展覧会	1919年	リトグラフ	100×71
14	エドムント・バルトウォミェイチク	グダニスク万国博覧会／ポーランド部	1920年	リトグラフ	91×69
15	作者不詳	舞踏会、ワルシャワ美術学校	1924年頃	リトグラフ	86.5×56.5
16	アンジェイ・プロナシュコ	スタニスワフ・ヴィスピャンスキ作『アキレス』	1925年	リトグラフ	100×70
17	ステファン・ノルブリン	ポーランド　狩猟の国	1925年	リトグラフ	99.5×63
18	タデウシュ・グロノフスキ	ラディオンは自分自身で洗います(原画)	1926年	水彩、鉛筆	81×113
19	アルフレト・ジュムダ	クリニツァ・スキー競技大会	1926年	リトグラフ	95×63
20	ジグムント・グリニツキ	ワルシャワ／仮装舞踏会へようこそ	1927年	リトグラフ	99×69.5
21	ヴァツワフ・シェミョントコフスキ	国際映画芸術展	1927年	リトグラフ	100×70
22	エドムント・バルトウォミェイチク	ポーランド博覧会／芸術部門	1929年	リトグラフ	99.5×70
23	タデウシュ・グロノフスキ	シェリエ／アメリカン・コメディー・ダンサー	1930年	リトグラフ	100×70
24	タデウシュ・グロノフスキ／フェリチアン・シュチェンスニ・コヴァルスキ	11月蜂起100年記念 1830-1930	1930年	リトグラフ	100×70
25	イェジ・フリニェヴィェツキ／アンジェイ・スティピンスキ	第10回国際オリエンタル博覧会	1930年	オフセット	107.5×72
26	ステファン・オシェツキ／イェジ・スコリモフスキ	ウーチ国際ホッケー選手権大会	1930年	オフセット	101×69.5
27	タデウシュ・グロノフスキ	宣伝美術協会冬季サロン展	1931年	リトグラフ	100×69.5
28	タデウシュ・ピョトロフスキ	『女性世界』	1932年	オフセット	99.5×70
29	ステファン・オシェツキ	ジムとジル	1932年	オフセット	99.5×63.5
30	ヤン・ムハルスキ	古い時代は過ぎ去った　電気アイロン	1932年	オフセット	100×70
31	エドムント・ヨフン	アルス・フェミネ／第1回女流画家展	1933年	オフセット	70×50
32	アダム・ボヴベルスキ／マチェイ・ノヴィツキ／スタニスワヴァ・サンデツカ	結核撲滅協会10周年記念	1934年	オフセット	70×50
33	ヤン・レヴィット／イエジ・ヒム	ガルカル・自転車オイル	1934年	オフセット	101×69.5
34	タデウシュ・トレプコフスキ	アダムチェフスキ、タワー・マークの石鹸	1934年	オフセット	101×69.5
35	ルドヴィク・ガルドフスキ／ミェチスワフ・ユルギェレヴィチュ	ポーランド伝統美術展、ラトヴィア	1934年	オフセット	100×73
36	コンスタンティ・マリア・ソポチコ	“プワスキェ・エキストラ”は“プワスキェ”より格段にうまい!	1936年	オフセット	100×70
37	アントニ・ヴァイヴゥト	ポーランド美術展, ラッペルスヴィル城美術館	1936年	オフセット	76.5×53.5
38	カジミェシュ・マン	マリナ・プロニェフスカのダンス講習会	1936年頃	オフセット	100×70
39	ヘンリク・ウジェムブウォ	ヴィェリチュカ岩塩鉱山	1938年	オフセット	101×62
40	ヴィトルト・ホミチュ	クラクフの祭日	1939年	オフセット	99.5×63.5

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
41	タデウシュ・グロノフスキ	オルビス／ポーランド交通公社	1946年	オフセット	86×61.5
42	ステファン・ガウコフスキ／イェジ・カロラク	ポロニア／ポーランド美術家協会展	1946年	オフセット	100×70
43	ロマン・シャワス	ミステリーの始まり	1947年	オフセット	86×61
44	ヘンリク・トマシェフスキ	黒水仙	1948年	オフセット	82×61
45	ヴォイチェフ・ザメチュニク	心の焦燥	1948年	オフセット	86×61
46	マリアン・ボグシュ	バレエ, ポーランド軍会館付属劇場	1948年	オフセット	100×70
47	エリク・リピンスキ	領土回復展	1948年	オフセット	99×69
48	ヘンリク・トマシェフスキ	ポーランド, ショパン年	1949年	オフセット	85.5×61
49	イエジ・カロラク	G.B.ショウ作『ピグマリオン』	1950年	オフセット	100×70
50	タデウシュ・グロノフスキ	第１回ポーランド平和会議	1950年	オフセット	99×67
51	タデウシュ・トレプコフスキ	我々は社会主義ワルシャワを建設する	1950年	オフセット	86×61
52	ヴウォジミェシュ・ザクシェフスキ	六カ年計画始まる	1950年	オフセット	100×70
53	ヴィトルト・フミェレフスキ	学生諸君！我々は君達のために働く我々は君達を待っている	1951年	ヘリオグラビュール	61×86
54	タデウシュ・トレプコフスキ	ノー！	1952年	オフセット	100×70
55	ルチアン・ヤゴジンスキ	ポーランド人民共和国の女性	1952年	オフセット	70×100
56	ヴォイチェフ・ファンゴル	鉄格子の彼方	1952年	オフセット	61×86
57	ヴィクトル・グルカ	三者一体で働けば１ダースの力で建設できる	1953年	オフセット	85.5×65
58	コンスタンティ・マリア・ソポチコ	用心と訓練が確実な仕事を保証する	1953年	オフセット	85×69.5
59	タデウシュ・トレプコフスキ	第５回ショパン・ピアノ・コンクール	1954年	オフセット	99.5×68
60	ユリアン・パウカ	無情の海	1954年	オフセット	58.5×89
61	ヤン・レニツァ	リオ・エスコンディド	1954-55年	オフセット	85.5×58
62	ヴウォジミェシュ・ザクシェフスキ	党	1955年	オフセット	98×46
63	ヘンリク・トマシェフスキ	神の次の人	1955年	オフセット	59×86
64	ヴォイチェフ・ファンゴル	マクロヴィア	1955年	オフセット	86×59
65	ユリアン・パウカ	天井桟敷の人々	1955年	オフセット	86×59
66	ヤン・ムウォドジェニェツ	洪水の前	1955年	オフセット	59.5×86
67	ロマン・チェシレヴィチュ	手紙	1955年	オフセット	58.5×86
68	ズビグニェフ・カヤ	我々は忘れない	1955年	オフセット	108×75.5
69	ヤン・ムウォドジェニェツ	夜の終り	1956年	オフセット	58×168.5
70	イェジ・スカジンスキ	第１回ポーランド・ジャズ・フェスティバル	1956年	オフセット	97.5×66.5
71	ヴァルデマル・シフィエジ	オセロ	1956年	オフセット	84.5×58.5
72	ヴァレリアン・ボロフチク	第７の封印	1957年	ヘリオグラビュール	84×57.5
73	ユゼフ・ムロシュチャク	ナポリの饗宴	1957年	オフセット	86×59
74	ロマン・チェシレヴィチェ	サレムの魔女	1958年	オフセット	80.5×58.5
75	ユゼフ・ムロシュチャク	キング・ソロモン	1958年	オフセット	86×59
76	ユゼフ・ムロシュチャク	アイーダ	1958年	オフセット	96.5×67.5
77	ユゼフ・ムロシュチャク	バレエ, ペトルーシュカ・牧神の午後・シェーラザード	1958年	オフセット	98×98
78	ヘンリク・トマシェフスキ	ヘンリー・ムーア彫刻展	1959年	オフセット	69×99
79	ヴィクトル・グルカ	時刻表なし	1959年	オフセット	84.5×58.5
80	ヴォイチェフ・ザメチュニク	ポーランド現代美術展	1959年	オフセット	110×71



マシュコフスキ「第１回クラクフ現代ポーランド宗教美術展」

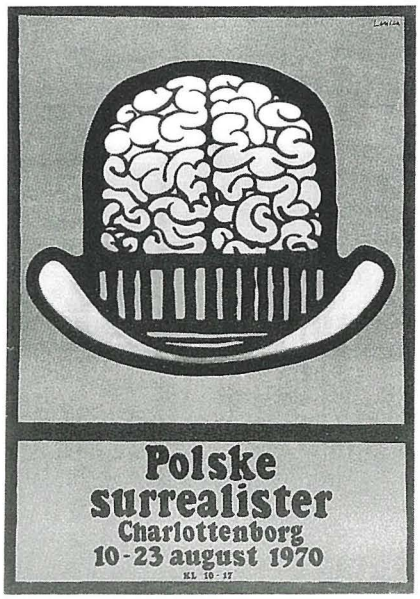


レヴィット／ヒム「ガルカル・自転車オイル」

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
81	スタニスワフ・ザグルスキ	二十四時間の情事	1960年	オフセット	84×58
82	ヴォイチェフ・ザメチュニク	SOSタイタニック　忘れえぬ夜	1961年	オフセット	81×56.5
83	ユゼフ・ムロシュチャク	ボリス・ゴドゥノフ	1961年	オフセット	98.5×67.5
84	ヘンリク・トマシェフスキ	ユージェーヌ・イオネスコ作『犀』	1961年	オフセット	85.5×59
85	ロマン・チェシレヴィチュ	イグナツェ・パデレフスキ作『マンル』	1961年	オフセット	97.5×67
86	ヤン・ムウォドジェニェツ	パウル・ヒンデミット作『四気質』	1962年	オフセット	97.5×67.5
87	ヴィトルト・ヤノフスキ	山	1962年	オフセット	85×57
88	フランチシェク・スタロヴィェイスキ	F.デュレンマット作『フランク五世』	1962年	オフセット	85×59
89	ヤン・レニツァ	グルック作『アウリスのイフィジェニー』	1962年	オフセット	97.5×68
90	ヴォイチェフ・ザメチュニク	ワルシャワの秋／第７回国際現代音楽フェスティバル	1963年	ヘリオグラビュール	94×66.5
91	レシェク・ホウダノヴィチュ	50万人に捧げるレクイエム	1963年	オフセット	83×56.5
92	ヤン・レニツァ	アルバン・ベルク作『ヴォツェック』	1964年	オフセット	97×67
93	フランチシェク・スタロヴィェイスキ	テレーズ・デキュイエル	1964年	オフセット	83×58
94	ヴィトルト・ヤノフスキ	第10回ブック・フェア	1958年	オフセット	98×67
95	ブロニスワフ・ゼレク	鳥	1965年	オフセット	84×59
96	レシェク・ホウダノヴィチュ	イザーク・バベル作『夕暮』	1966年	オフセット	82×58
97	ヴァルデマル・シフィエジ	人は人に出会う……	1967年	シルクスクリーン	99×70
98	ヴァルデマル・シフィエジ	G.フェイドー作『マキシム家の女』	1968年	オフセット	84×59
99	マレク・フロイデンライヒ	第12回絵画･版画･素描展／ポーランド美術家協会ワルシャワ部	1968年	オフセット	97.5×56.5
100	トマシュ・ルミンスキ	商業ポスター展	1970年	オフセット	98×68
101	フベルト・ヒルシャー	ワルシャワの秋／第14回国際現代音楽フェスティバル	1970年	オフセット	98.5×67
102	マチェイ・ウルバニェツ	サーカス	1970年	オフセット	98×67.5
103	ヤン・レニツァ	ポーランド・シュルレアリスム展	1970年	オフセット	97×68
104	フランチシェク・スタロヴィェイスキ	ミシェル・ド・ゲルドロード作『赤魔術』	1971年	オフセット	57×81
105	ヴィクトル・グルカ	キャバレー	1973年	オフセット	84×58
106	タデウシュ・ピスコルスキ	ストゥリグロシュ合唱団	1973年	オフセット	95×69
107	エウゲニゥシュ・ゲト・スタンキェヴィチュ	ポーランドの夢占い, テアトルSTU	1973年	オフセット	76×63
108	ヤン・サフカ	出エジプト記, テアトルSTU	1974年	オフセット	98×68
109	ロマン・チェシレヴィチュ	スタニスワヴァ・プシビシェフスカ作『ダントン事件』	1974年	オフセット	96.5×67
110	フランチシェク・スタロヴィェイスキ	アウグスト・ストリンドベリ作『死の舞踏』	1974年	オフセット	96.5×67
111	ヤン・ムウォドジェニェツ	ワルシャワの秋／第19回国際現代音楽フェスティバル	1975年	オフセット	98×67
112	ミェチスワフ・ヴァシレフスキ	戦争か否か？	1975年	オフセット	97.5×66.5
113	エウゲニゥシュ・ゲト・スタンキェヴィチュ	ホテル・アルマトゥル	不詳	オフセット	84×58
114	ヤン・ヤロミル・アレクシュン	テッラ１－国際建設計画展	1975年	オフセット	66.5×93
115	イェジ・チェルニァフスキ	ハムレット研究	1975年	オフセット	67×98
116	フランチシェク・スタロヴィェイスキ	フランツ・カフカ作『ある戦いの記録』	1975年	オフセット	82×57.5
117	ヤン・サフカ	チョーサー作『カンタベリ物語』	1976年	オフセット	83.5×58.5
118	ヴァルデマル・シフィエジ	モリエール作『タルチュフ』	1977年	オフセット	84×59
119	パヴェウ・ウドロヴィェツキ	シェイクスピア作『リチャード三世』	1977年	オフセット	67×98
120	マチェイ・ウルバニェツ	第１回現代肖像作品展	1978年	オフセット	84×58



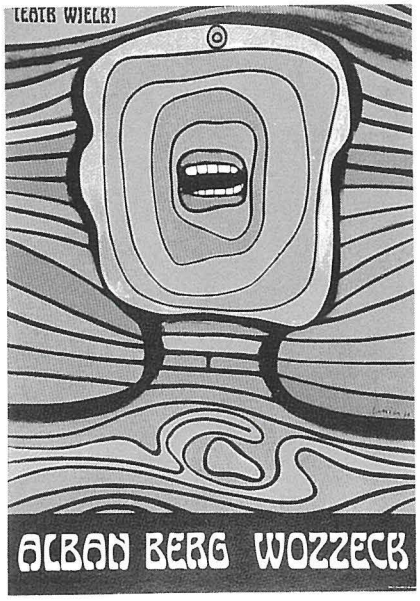
ザクシェフスキ「六カ年計画始まる」



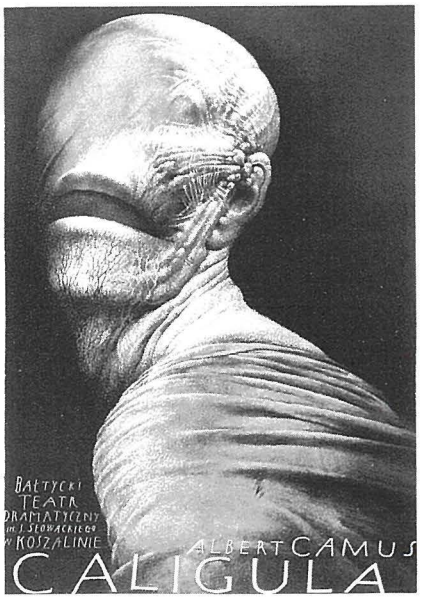
レニツァ「アルバン・ベルク作『ヴォツェック』」

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
121	ヘンリク・トマシェフスキ	マリオネット国際連盟50周年記念	1978年	オフセット	98×66.5
122	アンジェイ・ポンゴフスキ	愛の亡霊	1979年	オフセット	94.5×67
123	ロベルト・クヌト	言語劇／オープン・シアター・センター	1980年	オフセット	68.5×100
124	ヤチェク・チフィクワ	国際障害者年	1980年	オフセット	87×48
125	ヤン・レニツァ	カサノヴァ	1981年	オフセット	85.5×61
126	イェジ・チェルニァフスキ	シェイクスピア作『リア王』	1981年	オフセット	84×60
127	ロマン・チェシレヴィチュ	ヴィトルト・ゴンブロヴィチュ作『ブルゴーニュ公女イヴォンヌ』	1981年	オフセット	58×38
128	ミェチスワフ・グロフスキ	シェイクスピア作『ロミオとジュリエット』	1982年	オフセット	60×40
129	ヤン・ヤロミル・アレクシュン	第11回北ドイツ演劇フェスティバル	1982年	オフセット	84×119
130	ヴォイチェフ・ヴォウィンスキ	スワヴォミール・ムロジェク作『タンゴ』	1982年	オフセット	67.5×96
131	チプリアン・コシチェルニァク	エドヴァルト・ボグスワフスキ／スタニスワ・イグナチ・ヴィトキェヴィチュ作『魔王ソナタ』	1983年	オフセット	66×95
132	ヴィェスワフ・ロソハ	シェイクスピア作『ハムレット』	1983年	オフセット	94×66
133	トマシュ・ボグスワフスキ	アーサー・ミラー作『サレムの魔女』	1984年	オフセット	66.5×94
134	ボグスワフ・バリツキ	クシシュトフ・ディド所蔵ポスター展	1985年	オフセット	60×85
135	トマシュ・シュレツキ	日本漫画に見る現代日本展	1986年	オフセット	66.5×91
136	マリアン・ノヴィンスキ	セルバンテス作『ドン・キホーテ』	1986年	シルクスクリーン	100×70
137	ミェチスワフ・ヴァシレフスキ	鶴は巣に帰る	1986年	オフセット	67×98
138	レシェク・ホウダノヴィチュ	エウロシマ	1986年	オフセット	94×68
139	ヴィクトル・サドフスキ	イザーク・バシャイス・ジンゲル作『ルブリンの魔術師』	1987年	オフセット	97×66.5
140	ヴィクトル・サドフスキ	ブレヒト作『トゥーランドット』	1987年	オフセット	97.5×67
141	グジェゴシュ・マルシャウェク	ヴェルディ作『リゴレット』	1987年	オフセット	96×66
142	ヤン・ムウォドジェニェツ	江戸時代美術展(17－19世紀)，クラクフ国立美術館所蔵	1987年	オフセット	97.5×67
143	ダリウシュ・コモレク	第3回国際空想フェスティバル	1988年	シルクスクリーン	99.5×69.5
144	ロマン・カラルス	ラヴァ・ブルース・フェスティバル	1988年	シルクスクリーン	100×70
145	ヴァルデマル・シフィエジ	チャンドラー映画コレクション／レイモンド・チャンドラー生誕100年	1988年	オフセット	91.5×64
146	ダリウシュ・ビリンカ	トゥヴィム　キャバレー	1990年	オフセット	92.5×130
147	スタシス・エイドリゲヴィチェス	鏡	1990年	オフセット	97×131
148	ヴィェスワフ・ヴァウクスキ	アルベール・カミュ作『カリギュラ』	1990年	オフセット	94.5×66
149	スワフ・シャイボ	ローズマリーの赤ちゃん	1990年	オフセット	98×67.5
150	ヘンリク・トマシェフスキ	ヘンリク・トマシェフスキ・ポスター展	1991年	オフセット	118×82

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべてポーランド国立ポスター美術館蔵



レニツァ「ポーランド・シュルレアリスム展」

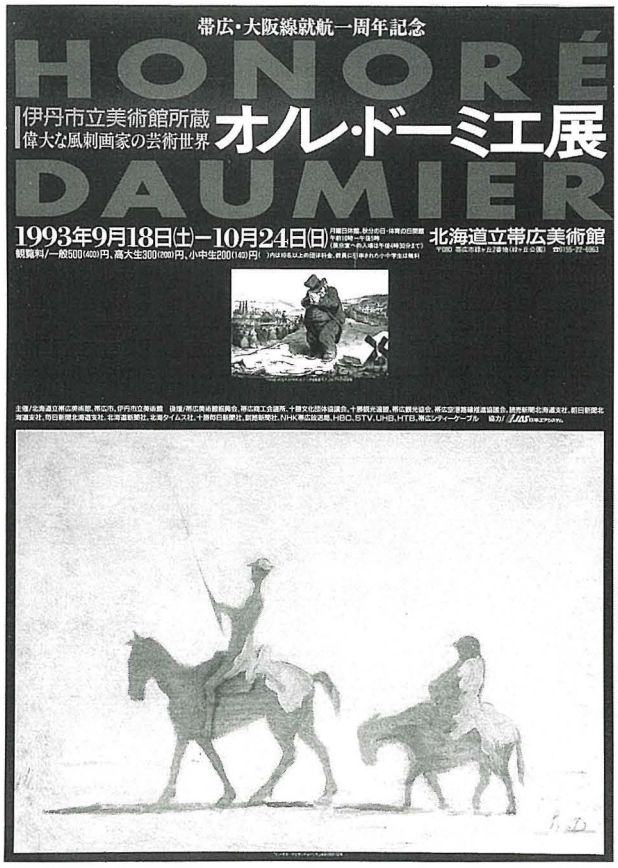


ヴァウクスキ「アルベール・カミュ作『カリギュラ』」

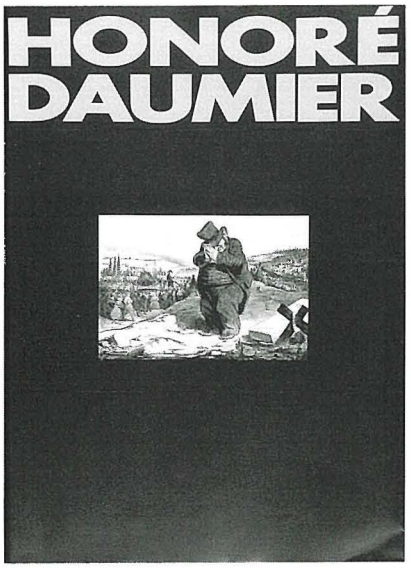
伊丹市立美術館所蔵　オノレ・ドーミエ展

会期＝平成5年9月18日(土)－10月24日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、伊丹市立美術館

後援＝帯広美術館振興会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝観光連盟、帯広観光協会、帯広空港路線推進協議会、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、北海道新聞社、北海タイムス社、十勝毎日新聞社、釧路新聞社、NHK帯広放送局、HBC、STV、UHB、HTB、帯広シティーケーブル
協力＝日本エアシステム



ポスター



図録

関連事業

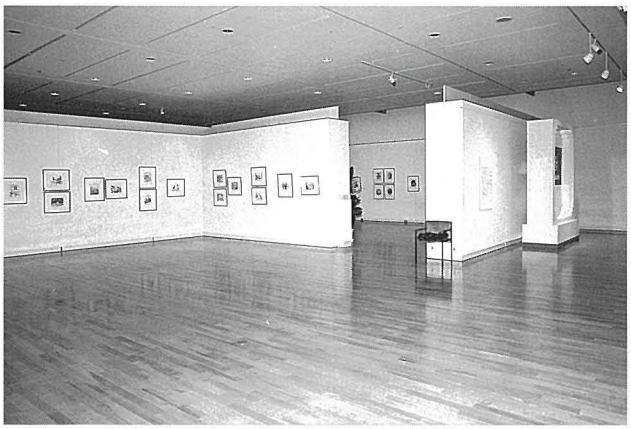
美術講演会
「オノレ・ドーミエの芸術」
講師＝大河内菊雄氏（伊丹市立美術館長）
日時＝９月18日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

特別展セミナー
「風刺の眼――19世紀フランス社会とドーミエ」
講師＝佐藤幸宏（当館学芸員）
日時＝９月25日(土)、10月23日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

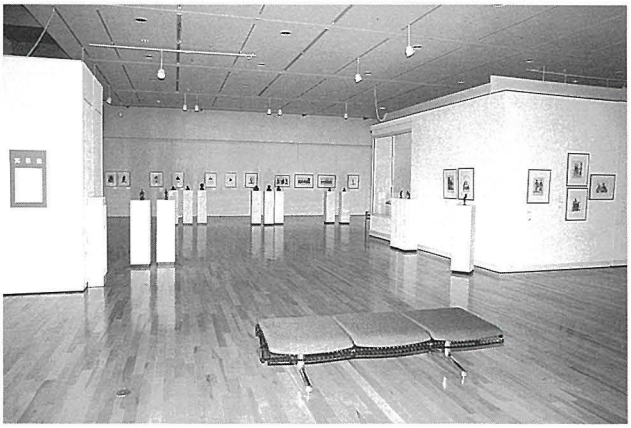
土曜映写室
「自然への情熱」「レアリスムの挑戦」
日時＝10月２日(土)、10月９日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

革命に揺れる激動の19世紀フランスに生まれ、生涯にわたって支配階級の腐敗や貧しい人々の悲惨な生活など、当時の社会の矛盾を鋭い筆法で告発し続けたオノレ・ドーミエ(1808－1879)は、今日、レアリスム絵画の代表的画家として高く評価されている。

本展は、帯広・大阪間の航空路線開航１周年を記念して開催された。大阪空港のある兵庫県伊丹市には、2,000点を越えるドーミエ・コレクションにより国内はもとより国際的にも知られる伊丹市立美術館があるが、その所蔵品から油彩・水彩・彫刻・版画・綴本など234点を選りすぐり、この偉大な風刺画家の芸術世界を紹介するものとなった。同館のドーミエ作品がまとまって公開されたのはこれが初めてである。天性の卓越したデッサン力を駆使し、現代社会にも通ずる人間存在の矛盾を、鋭くもユーモアあふれる眼差しで暴き出したドーミエの芸術の普遍性は多くの人々の関心を呼び、9,283人の観覧者があった。



会場風景



会場風景

出品目録

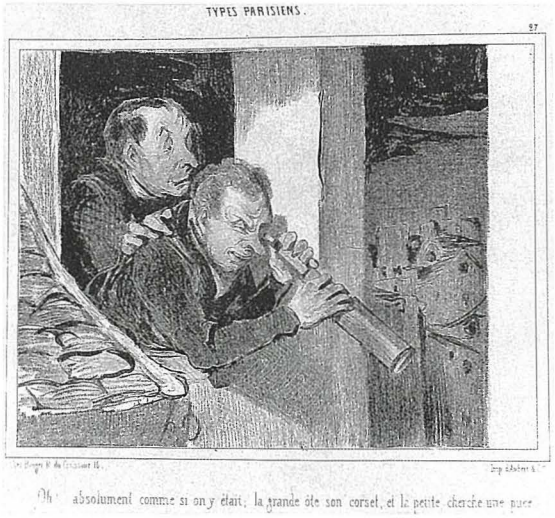
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ドン・キホーテとサンチョパンサ	1850-52年	油彩、板	36.0×51.0
2	弁護中の弁護士	不詳	水彩、紙	20.2×34.2
3	とても謙虚で、とても素直で、とても従順な……そしてとりわけ貧欲な従臣たち	1832年	リトグラフ、紙	20.5×32.0
4	悪夢	1832年	リトグラフ、紙	23.3×29.3
5	1831年の仮面たち	1832年	リトグラフ、紙	21.2×29.0
6	1830年と1833年	1833年	リトグラフ、紙	15.5×30.0
7	えっ！　あんた、印刷機（プレス）（新聞）を相手取ろうだって‼	1833年	リトグラフ、紙	22.5×20.4
8	まず瀉血し、それから下剤、その後完腸	1833年	リトグラフ、紙	29.4×44.2
9	コンスティテュショネル嬢	1834年	リトグラフ、紙	31.0×23.5
10	黒い眼、広い額、浅黒い顔、顎ひげ、頬ひげ……よし！……見分けはつくだろう	1834年	リトグラフ、紙	20.2×27.5
11	従順な有権者へ誠実な報酬	1834年	リトグラフ、紙	22.7×28.6
12	太った強欲者め！	1834年	リトグラフ、紙	28.0×22.0
13	熱意のある住民の間を行く	1834年	リトグラフ、紙	23.6×30.0
14	中国のずんぐり人形（Ch.フィリポン氏の収集品より）	1834年	リトグラフ、紙	21.3×24.1
15	フランスの休息	1834年	リトグラフ、紙	21.8×25.5
16	こいつは釈放してもよい！　もう危険はない	1834年	リトグラフ、紙	22.4×25.5
17	幕を下ろせ、道化芝居は終わった	1834年	リトグラフ、紙	20.0×27.8
18	ぐらつく頭	1834年	リトグラフ、紙	20.8×27.2
19	パンテオンの栄誉	1834年	リトグラフ、紙	22.6×25.7
20	現代のガリレオ ── それでも彼女は進む	1834年	リトグラフ、紙	24.0×27.5
21	政治用マネキン ── この遊びは三日しかもたなかった	1834年	リトグラフ、紙	22.1×26.5
22	さあ、おいで、おいで！……七面鳥たち！	1834年	リトグラフ、紙	21.7×25.3
23	勝利者	1834年	リトグラフ、紙	21.8×24.3
24	誘惑（テニールスの絵のパロディ）	1834年	リトグラフ、紙	21.7×27.8
25	鉄首かせ	1835年	リトグラフ、紙	22.9×27.5
26	どうか哀れなアメリカ人のために	1835年	リトグラフ、紙	21.6×27.8
27	中風と交代にロンドンへ赴く卒中	1835年	リトグラフ、紙	20.8×27.9
28	悪魔は年をとって隠者になった	1835年	リトグラフ、紙	19.7×26.2
29	太ったジャンのビュゾー	1835年	リトグラフ、紙	24.5×21.0
30	お行きなさい、そしてこの11時のブイヨンをお昼に飲んでもらうように	1835年	リトグラフ、紙	19.7×23.5
31	君の卑しきチンピラどもから……	1835年	リトグラフ、紙	20.8×27.2
32	亡霊……	1835年	リトグラフ、紙	27.0×22.0
33	……さあ、君の話す番だ、説明しなさい、君は自由なんだ！	1835年	リトグラフ、紙	20.6×28.1
34	何とまあ汚ない代表者なんだろう！	1835年	リトグラフ、紙	22.8×39.0
35	なるほど手数をかけて俺たちを殺させるだけのことはあったわけだ！	1835年	リトグラフ、紙	21.0×29.0
36	くたばったなラファイエット！……ざまあ見ろ！	1834年	リトグラフ、紙	29.1×42.0

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
37	トランスノナン街、1834年4月15日	1834年	リトグラフ、紙	29.0×44.5
38	客船―ナポレオン号	1848年	リトグラフ、紙	21.0×28.0
39	議会の諸様　1	1849年	リトグラフ、紙	26.0×21.5
40	議会の諸様　3	1849年	リトグラフ、紙	25.4×20.5
41	議会の諸様　5	1849年	リトグラフ、紙	26.2×20.6
42	議会の諸様　6	1849年	リトグラフ、紙	26.5×20.8
43	議会の諸様　16	1849年	リトグラフ、紙	26.0×20.5
44	議会の諸様　27	1850年	リトグラフ、紙	26.4×21.3
45	ギリシャの哀れで小さな王を巡る悲痛な状況	1850年	リトグラフ、紙	21.8×26.0
46	執務室で働くロシア皇帝ニコライ一世	1850年	リトグラフ、紙	20.9×27.0
47	新たなるイカルスたち	1850年	リトグラフ、紙	27.4×21.6
48	いんちき政治屋	1850年	リトグラフ、紙	20.3×27.6
49	12月10日会の仲間は、「皇帝万歳」と叫ぶために範を示そうとしている…蓋付の瓶2本で	1850年	リトグラフ、紙	25.2×22.8
50	12月10日会の元メンバーたち	1850年	リトグラフ、紙	24.5×21.4
51	オーストリア皇帝とプロイセン王は新しい武器で戦うことを決意した	1850年	リトグラフ、紙	20.2×27.0
52	議員の田園詩　2	1850年	リトグラフ、紙	20.9×26.7
53	議員の田園詩　9	1850年	リトグラフ、紙	21.0×28.6
54	議員の田園詩　11	1850年	リトグラフ、紙	20.3×27.3
55	仮の修理	1851年	リトグラフ、紙	20.8×27.4
56	戦いに赴く旧城主たち	1850年	リトグラフ、紙	21.0×28.0
57	政治的クリスパン忠告	1851年	リトグラフ、紙	25.0×22.6
58	何と自分勝手な！……専制君主が登場したというのに眠っているとは！……	1853年	リトグラフ、紙	19.7×26.9
59	あいさつする弁護士	1840-45年頃	ブロンズ	高さ15.4
60	水浴する人々　28	1842年	リトグラフ、紙	20.8×25.7
61	法曹界の人々　8	1845年	リトグラフ、手彩色、紙	24.9×19.7
62	法曹界の人々　16	1846年	リトグラフ、手彩色、紙	18.0×24.5
63	法曹界の人々　17	1846年	リトグラフ、紙	19.0×24.3
64	法曹界の人々　18	1846年	リトグラフ、手彩色、紙	24.3×19.3
65	法曹界の人々　30	1846年	リトグラフ、紙	19.2×24.6
66	法曹界の人々　34	1848年	リトグラフ、紙	23.3×19.2
67	法曹界の人々　35	1848年	リトグラフ、紙	23.9×18.3
68	弁護士と訴訟人　2	1851年	リトグラフ、紙	24.5×19.1
69	パリジャンのタイプ　9	1839年	リトグラフ、紙	16.5×24.3
70	パリジャンのタイプ　13	1839年	リトグラフ、紙	18.1×24.8
71	パリジャンのタイプ　16	1839年	リトグラフ、紙	18.1×25.3
72	パリジャンのタイプ　21	1840年	リトグラフ、紙	18.5×22.7



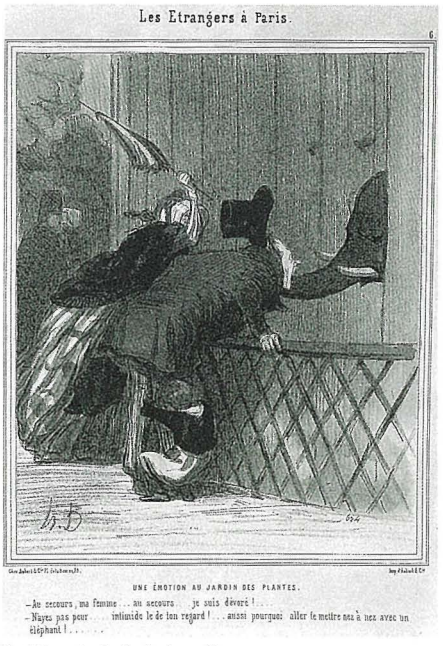
「執務室で働くロシア皇帝ニコライ一世」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
73	パリジャンのタイプ　27	1840年	リトグラフ、紙	18.1×23.2
74	パリジャンのタイプ　34	1839年	リトグラフ、紙	10.0×25.1
75	パリジャンのタイプ　49	1842年	リトグラフ、紙	18.6×22.8
76	夫婦風俗　9	1839年	リトグラフ、紙	22.5×21.7
77	夫婦風俗　10	1839年	リトグラフ、紙	24.8×21.5
78	夫婦風俗　16	1840年	リトグラフ、紙	25.7×21.4
79	夫婦風俗　22	1840年	リトグラフ、紙	24.0×20.5
80	夫婦風俗　25	1840年	リトグラフ、紙	24.5×19.8
81	夫婦風俗　29	1840年	リトグラフ、紙	25.2×23.0
82	夫婦風俗　33	1840年	リトグラフ、紙	24.0×19.8
83	夫婦風俗　40	1842年	リトグラフ、紙	24.8×19.5
84	夫婦風俗　48	1842年	リトグラフ、紙	24.7×21.3
85	夫婦風俗　50	1842年	リトグラフ、紙	24.1×22.4
86	夫婦風俗　55	1842年	リトグラフ、紙	24.3×22.7
87	編執狂　3	1840年	リトグラフ、紙	23.2×19.8
88	パリのボート遊び　7	1843年	リトグラフ、紙	25.3×19.2
89	シャンゼリゼ通りでのお楽しみ　1	1843年	リトグラフ、手彩色、紙	25.2×21.1
90	うるわしき日々　20	1844年	リトグラフ、紙	22.5×22.4
91	うるわしき日々　71	1845年	リトグラフ、紙	22.0×19.5
92	うるわしき日々　95	1846年	リトグラフ、紙	24.0×22.8
93	青鞜派の女性たち　20	1844年	リトグラフ、紙	25.0×20.2
94	青鞜派の女性たち　24	1844年	リトグラフ、紙	23.7×18.2
95	青鞜派の女性たち　39	1844年	リトグラフ、紙	22.0×19.0
96	パリのお上りさん　4	1844年	リトグラフ、紙	22.7×18.9
97	パリのお上りさん　6	1844年	リトグラフ、手彩色、紙	23.9×19.0
98	パリのお上りさん　16	1844年	リトグラフ、紙	21.2×17.7
99	パリのお上りさん　17	1844年	リトグラフ、紙	23.8×20.0
100	パリのお上りさん　18	1844年	リトグラフ、手彩色、紙	21.2×17.5
101	当節の博愛家　6	1844年	リトグラフ、紙	22.7×17.5
102	当節の博愛家　12	1844年	リトグラフ、紙	22.4×17.3
103	先生と悪がき　3	1845年	リトグラフ、紙	25.0×19.6
104	先生と悪がき　11	1846年	リトグラフ、紙	18.6×24.5
105	善良なブルジョワたち　26	1846年	リトグラフ、紙	25.6×23.4
106	善良なブルジョワたち　28	1846年	リトグラフ、紙	24.8×21.0
107	不運な目にあったとき　1	1848年	リトグラフ、紙	26.5×21.3
108	彼女らの美しさに関する議論をして	1852年	リトグラフ、紙	23.5×18.8



「パリジャンのタイプ　27」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
109	パリの飲み物	1852年	リトグラフ、紙	25.4×22.3
110	列車は楽しい　4	1852年	リトグラフ、紙	20.1×27.0
111	列車は楽しい　6	1852年	リトグラフ、紙	19.7×26.1
112	水辺のスケッチ　11	1853年	リトグラフ、紙	19.1×25.4
113	パリ・スッケチ	1853年	リトグラフ、紙	21.8×27.0
114	パリ・スッケチ	1853年	リトグラフ、紙	21.8×27.0
115	パリ・スッケチ	1853年	リトグラフ、紙	21.4×26.8
116	列車　2	1855年	リトグラフ、紙	19.3×25.7
117	夏のスケッチ　19	1857年	リトグラフ、紙	20.6×26.2
118	夏のスケッチ　26	1858年	リトグラフ、紙	19.6×25.6
119	夏のスケッチ　33	1858年	リトグラフ、紙	20.4×25.6
120	おっと、かくまで肥えるとは、絶対に食べすぎね、このご婦人は！	1857年	リトグラフ、紙	21.4×26.3
121	洗濯女たちの新しい旗	1857年	リトグラフ、紙	20.8×27.2
122	マドレーヌ=バスチーユ間	1862年	リトグラフ、紙	24.3×22.0
123	１頭のロバと２人の泥棒	1862年	リトグラフ、紙	22.8×20.2
124	隣村のお祭り	1865年	リトグラフ、紙	15.5×24.4
125	うるわしき日々　15	1844年	リトグラフ、紙	23.0×23.3
126	善良なブルジョワたち　23	1846年	リトグラフ、紙	25.4×22.5
127	アトリエの光景　2	1849年	リトグラフ、紙	23.1×21.6
128	芸術家たち　1	1847年	リトグラフ、紙	25.8×21.8
129	芸術家たち　4	1848年	リトグラフ、紙	24.5×20.2
130	サロンの観衆　1	1852年	リトグラフ、紙	24.8×21.4
131	サロンの観衆　4	1852年	リトグラフ、紙	24.5×21.7
132	サロンの観衆　9	1852年	リトグラフ、紙	25.0×21.4
133	サロンの観衆　10	1852年	リトグラフ、紙	24.3×21.4
134	1859年の展覧会　5	1859年	リトグラフ、紙	21.8×26.8
135	制作中の風景画家たち	1862年	リトグラフ、紙	20.7×26.8
136	ドゥルセール	原型1830-32年	ブロンズ	高さ17.5
137	バンジャマン・ドゥルセール	1833年	リトグラフ、紙	27.5×18.5
138	バンジャマン・ドゥルセール	1838年	リトグラフ、紙	18.0×12.0
139	ケラトリ	原型1830-32年	ブロンズ	高さ12.2
140	ケラトル氏（オーギュスト=イラリオン・ド・ケラトリ）	1833年	リトグラフ、紙	27.8×20.4
141	ガヌロン	原型1830-32年	ブロンズ	高さ17.9
142	ガン…（オーギュスト=イポリット・ガヌロン）	1833年	リトグラフ、紙	14.2×13.2
143	ヴィエネ	原型1830-32年	ブロンズ	高さ20.0
144	ヴィユー・ニエ（老いぼれのアホ）氏（ギョーム・ヴィエネ）	1833年	リトグラフ、紙	23.6×16.1



「パリのお上りさん　６」

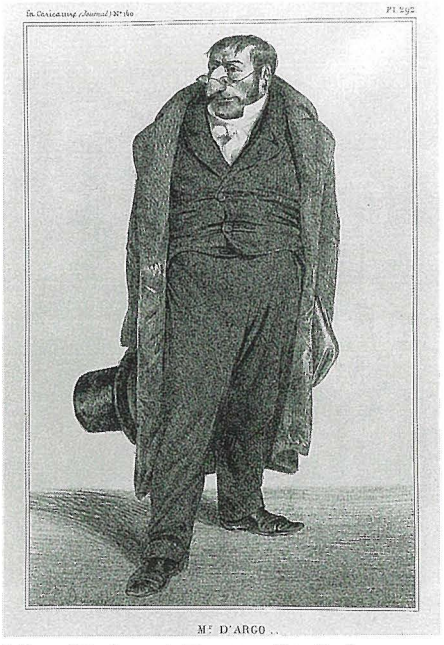
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
145	ヴィユー・ニエ（老いぼれのアホ）氏（ギョーム・ヴィエネ）	1833年	リトグラフ、紙	28.3×15.0
146	フリュシャール	原型1830-32年	ブロンズ	高さ12.7
147	フリュ…氏（ジャン=マリー・フリュシャール）	1833年	リトグラフ、紙	14.0×14.0
148	不詳	原型1830-32年	ブロンズ	高さ13.5
149	ルフェーヴル	原型1830-32年	ブロンズ	高さ19.7
150	立法府の腹－身売りせざる1834年の議会の大臣席の眺め	1834年	リトグラフ、紙	28.0×43.1
151	シュヴァンディエ・ド・ヴァルドローム	原型1830-32年	ブロンズ	高さ18.3
152	シュヴァンディ…（シュヴァンディエ・ド・ヴァルドローム）	1833年	リトグラフ、紙	15.6×13.2
153	セバスティアニ	原型1830-32年	ブロンズ	高さ12.9
154	セバス…氏（オラース・セバスティアニ伯爵）	1833年	リトグラフ、紙	23.5×14.0
155	不詳	原型1830-32年	ブロンズ	高さ12.7
156	精神病院（シャラントン）の内閣－政治的精神病者のさまざまな偏執ぶり	1832年	リトグラフ、手彩色、紙	19.5×50.9
157	ペトー王の宮廷	1832年	リトグラフ、手彩色、紙	24.5×51.2
158	ジロ・ド・ラン／ルソー／ヴェルユエル提督	1835年	リトグラフ、紙	25.0×15.2, 25.0×20.0, 27.0×13.5 (3点組)
159	バイヨ	原型1830-32年	ブロンズ	高さ17.5
160	バイュ…氏（クロード・バイヨ）	1833年	リトグラフ、紙	28.0×19.0
161	ヴァトゥー	原型1830-32年	ブロンズ	高さ19.4
162	ヴァト…（ジャン・ヴァトゥー）	1833年	リトグラフ、紙	13.5×13.0
163	デュボワ	原型1830-32年	ブロンズ	高さ19.2
164	テュ=ボワ（お前は酒飲み）氏（イポリット・アブラアム・デュボワ）	1833年	リトグラフ、紙	21.5×14.0
165	ドゥロール	原型1830-32年	ブロンズ	高さ23.6
166	ドゥ・ロル（ジャック・ドゥロール）	1833年	リトグラフ、紙	29.0×16.0
167	不詳（スールト元帥？）	原型1830-32年	ブロンズ	高さ14.9
169	スー…（スールト元帥）	1832年	リトグラフ、手彩色、紙	27.5×16.0
169	ダルグー	原型1830-32年	ブロンズ	高さ12.9
170	ダルゴ氏（アントワーヌ・ダルグー）	1833年	リトグラフ、紙	28.0×18.4
171	風の中のダルグー一家	1833年	リトグラフ、紙	26.5×20.0
172	アルレ爺（ペール）さん	原型1830-32年	ブロンズ	高さ11.9
173	アルレペール氏	1833年	リトグラフ、紙	26.5×17.9
174	キュナン（キャナン=グリデーヌ）	原型1830-32年	ブロンズ	高さ14.6
175	キュナン=グリ…氏	1833年	リトグラフ、紙	28.5×18.5
176	実業家	1840年頃	ブロンズ	高さ19.4
177	法曹界の人々　27	1846年	リトグラフ、紙、綴本	22.8×18.8
178	プロンプター	1840年頃	ブロンズ	高さ17.4



Artistes en train d'examiner le tableau d'un rival.

「サロンの観衆　9」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
179	社交界の役者　2	1858年	リトグラフ、紙、綴本	21.1×24.9
180	嘲笑する紳士	1850年頃	ブロンズ	高さ18.8
181	パリ情緒　13	1839年	リトグラフ、紙	24.2×19.0
182	ちびのティエールにお年玉をやるモレ爺さん	1850年	リトグラフ、手彩色、紙	26.8×21.9
183	ネクタイを結ぶ代議士	1846-47年頃	ブロンズ	高さ17.6
184	当世スケッチ　27	1849年	リトグラフ、紙、綴本	24.0×20.8
185	恋する男	1848年頃	ブロンズ	高さ18.0
186	お気に召すまま　35	1849年	リトグラフ、紙	26.2×23.1
187	お気に召すまま　36	1849年	リトグラフ、紙	26.3×20.6
188	散歩するブルジョワ	1848年頃	ブロンズ	高さ18.7
189	店子と大家　29	1848年	リトグラフ、手彩色、紙、綴本	23.8×19.5
190	新しきパリ	1862年	リトグラフ、紙	26.8×22.6
191	呑気者	1852年頃	ブロンズ	高さ15.9
192	青鞜派の女性たち　27	1844年頃	リトグラフ、紙	22.5×16.5
193	移民	1871年頃	ブロンズ	34.0×73.0
194	アトリエの光景　4	1850年	リトグラフ、紙	24.9×21.2
195	われわれはみな正直者、肩を抱き合い、それでめでたし	1834年	リトグラフ、紙	21.5×28.8
196	ド・セモンヴィル、ロベール・マケール、レードレール	1835年	リトグラフ、紙	24.6×13.0, 26.0×16.3, 23.1×15.6 (3点組)
197	カリカチュラーナ（ロベール・マケール）	1836年	リトグラフ、手彩色、紙、綴本	35.3×27.5
198	ロベール・マケール（第2シリーズ）　1	1840年	リトグラフ、紙	26.0×20.3
199	ロベール・マケール（第2シリーズ）　2	1841年	リトグラフ、紙	25.5×21.1
200	ロベール・マケール（第2シリーズ）　3	1840年	リトグラフ、紙	23.7×20.4
201	ロベール・マケール（第2シリーズ）　4	1840年	リトグラフ、紙	18.8×24.5
202	ロベール・マケール（第2シリーズ）　5	1841年	リトグラフ、紙	21.8×19.6
203	ロベール・マケール（第2シリーズ）　6	1841年	リトグラフ、紙	23.2×18.0
204	ロベール・マケール（第2シリーズ）　7	1841年	リトグラフ、紙	23.1×20.5
205	ロベール・マケール（第2シリーズ）　8	1841年	リトグラフ、紙	25.2×19.5
206	ロベール・マケール（第2シリーズ）　9	1841年	リトグラフ、紙	23.5×20.8
207	ロベール・マケール（第2シリーズ）　10	1841年	リトグラフ、紙	22.6×20.4
208	ロベール・マケール（第2シリーズ）　11	1841年	リトグラフ、紙	24.3×18.2
209	ロベール・マケール（第2シリーズ）　12	1841年	リトグラフ、紙	24.1×20.9
210	ロベール・マケール（第2シリーズ）　13	1841年	リトグラフ、紙	23.6×19.8
211	ロベール・マケール（第2シリーズ）　14	1841年	リトグラフ、紙	25.4×19.9
212	ロベール・マケール（第2シリーズ）　15	1841年	リトグラフ、紙	22.6×19.6



「ダルゴ氏（アントワーヌ・ダルグー）」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
213	ロベール・マケール（第２シリーズ）　16	1841年	リトグラフ、紙	23.8×18.8
214	ロベール・マケール（第２シリーズ）　17	1841年	リトグラフ、紙	20.3×25.5
215	ロベール・マケール（第２シリーズ）　18	1841年	リトグラフ、紙	25.0×20.3
216	ロベール・マケール（第２シリーズ）　19	1841年	リトグラフ、紙	23.5×18.4
217	ロベール・マケール（第２シリーズ）　20	1842年	リトグラフ、紙	25.0×19.8
218	ラタポワール	1850年頃	ブロンズ	高さ43.5
219	ラタポワールとカスマジュ	1850年	リトグラフ、紙	24.7×21.0
220	ナポレオンの募金	1851年	リトグラフ、紙	25.5×20.3
221	ラタポワールの懇願にさえ耳を貸さずに！	1851年	リトグラフ、紙	26.0×21.1
222	ラタポワールに喧嘩を売る医者	1851年	リトグラフ、紙	18.7×28.5
223	閲兵の日	1851年	リトグラフ、紙	25.3×22.4
224	シャンゼリゼにて	1851年	リトグラフ、紙	26.2×21.5
225	ベリエ殿は12月10日博愛軍事団の勲五等を授けられる	1851年	リトグラフ、紙	26.7×23.4
226	危険な道	1851年	リトグラフ、紙	28.0×22.5
227	カスマジューラタポワール（二人一緒に合唱）	1851年	リトグラフ、紙	25.0×23.0
228	フランス共和国政府造幣局による新５フラン硬貨刻印の計画	1851年	リトグラフ、紙	22.2×22.0
229	もう一度ルビコン川渡りを試みたら、どうなることやら	1851年	リトグラフ、紙	20.9×27.6
230	旦那方、ゲームはやめて下さい…	1851年	リトグラフ、紙	26.2×21.7
231	アンリ・モニエ（ジョゼフ・プリュドムの役）	1852年	リトグラフ、紙	26.0×19.7
232	善良なブルジョワたち　2	1854年	リトグラフ、紙	20.2×26.8
233	パリ・スケッチ　8	1856年	リトグラフ、紙	20.7×25.1
234	香良なオーストリア人たち	1859年	リトグラフ、紙	22.6×26.7

＊　寸法は注記以外は縦×横
＊　作品はすべて伊丹市立美術館蔵



「ロベール・マケール（第２シリーズ）　19」

The New Still-Life　今日のアメリカ写真展

会期＝平成5年11月13日(土)ー12月19日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、社団法人国際芸術文化振興会、北海道新聞社

後援＝文化庁、アメリカ大使館
協力＝日本航空、日本加工製紙株式会社

近年、写真の世界では、写真の持つ新たな可能性に着目し、写真独特の表現世界を積極的に創り上げようとする試みが盛んに行われるようになってきた。目の前の現実や風景を写し撮るのではなく、作家自ら制作したオブジェを撮影したり、現実を再構成することで、新しい世界や新しい物の見方を示そうとする動きがそれである。これらの作品はコンストラクティッド・フォト（構成写真）と呼ばれ、専門の写真家ばかりでなく、絵画や彫刻を制作してきたアーティストもこうした作品に取り組んでいる。彼らは写真によってしか表せない世界があることを発見し、独自の表現手段として写真を選択するようになったのである。

本展は、こうした写真芸術の最新の傾向を伝えるコンストラクティッド・フォトのなかから、メイプルソープ、スコグランド、トレス、グルーバーなど今日のアメリカを代表する作家23名の99点を紹介した展覧会である。当館初の写真展ともなった本展は、現代アメリカの最も尖鋭的な写真の世界に触れるまたとない機会となった。



ポスター



今日のアメリカ写真展

図録



会場風景



会場風景

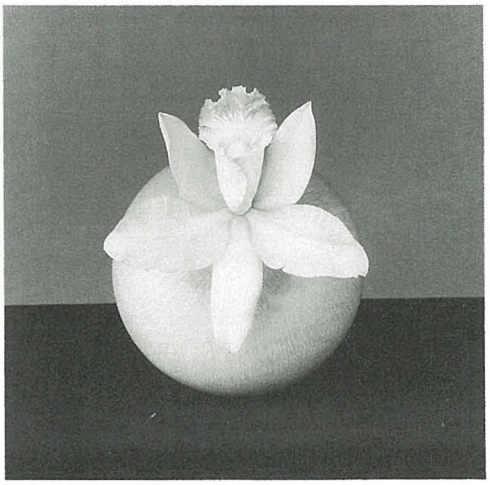
出品目録

№	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ジーク・バーマン	テーブルの習作	1982年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	40.64×50.8
2	ジーク・バーマン	無題	1984年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	40.64×50.8
3	ジーク・バーマン	テーブルの習作	1983年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	40.64×50.8
4	ジーク・バーマン	無題	1985年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	50.8×40.64
5	ジーク・バーマン	無題	1984年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	50.8×40.64
6	ジョ・アン・カリス	無題	1992年	チバクローム・プリント	76.2×101.6
7	ジョ・アン・カリス	無題	1992年	チバクローム・プリント	76.2×101.6
8	ジョ・アン・カリス	無題	1992年	チバクローム・プリント	76.2×101.6
9	ジョ・アン・カリス	無題	1992年	チバクローム・プリント	76.2×101.6
10	ジェーン・カルビン	無題	1987年	エクタカラー・プリント	50.8×60.96
11	ジェーン・カルビン	女性・窓・椅子のシリーズ	1992年	エクタカラー・プリント	50.8×60.96
12	ジェーン・カルビン	女性・窓・椅子のシリーズ	1991年	エクタカラー・プリント	50.8×60.96
13	ジェーン・カルビン	女性・窓・椅子のシリーズ	1992年	エクタカラー・プリント	50.8×60.96
14	ジェーン・カルビン	無題	1987年	エクタカラー・プリント	60.96×50.8
15	ジェーン・カルビン	無題	1987年	エクタカラー・プリント	60.96×50.8
16	ジェームス・カサビア	柵のあるキッチン・ウィンドウ	1987年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	76.2×101.6
17	ジェームス・カサビア	空のボウルと庇	1989年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	101.6×76.2
18	ジェームス・カサビア	ゴールデン・アップル	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	76.2×101.6
19	フランソワ・デシャン	天恵	1992年	木、写真、アクリリック	55.88×45.72
20	フランソワ・デシャン	ジョージ三部作	1991年	木、写真、シルバー	50.8×76.2
21	フランソワ・デシャン	スザンヌの眼、85歳	1992年	木、写真	50.8×45.72
22	フランソワ・デシャン	自然の鉛筆	1985-88年	ポップアウト・エクタカラー・プリント	27.94×35.56
23	フランソワ・デシャン	ドナルドソン家	1985-88年	ポップアウト・エクタカラー・プリント	27.94×35.56
24	フランソワ・デシャン	レッド・アンド・グリーン・ハウス	1985-88年	ポップアウト・エクタカラー・プリント	27.94×35.56
25	リード・エスタブルック	立体幾何学の試作 #4	1981年	エクタカラー・プリント	60.96×76.2
26	リード・エスタブルック	立体幾何学の試作 #8	1982年	エクタカラー・プリント	60.96×76.2
27	リード・エスタブルック	立体幾何学の試作 #3	1981年	エクタカラー・プリント	60.96×76.2
28	ジャン・グルーバー	無題（T081）	1992年	パラディアム・プリント	30.48×50.8
29	ジャン・グルーバー	無題（T049）	1992年	パラディアム・プリント	30.48×50.8
30	ジャン・グルーバー	無題（T100）	1992年	パラディアム・プリント	30.48×50.8
31	ジャン・グルーバー	無題（T102）	1992年	パラディアム・プリント	30.48×50.8
32	バーバラ・カスティン	構成：NYC-20	1984年	チバクローム・プリント	76.2×101.6
33	バーバラ・カスティン	構成：NYC-11	1985年	チバクローム・プリント	101.6×76.2
34	エレン・ランドウェバー	ニューギニアの見張り	1992年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
35	エレン・ランドウェバー	キュベレーと姉妹たち	1992年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
36	エレン・ランドウェバー	ダ・コスタの貝殻学	1986年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
37	エレン・ランドウェバー	ツリウキソウと貝殻とトゲ	1986年	チバクローム・プリント	50.8×40.64
38	エレン・ランドウェバー	アメリカの変容	1992年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
39	デビッド・レヴンソール	無題（カウボーイ・シリーズ）	1989年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
40	デビッド・レヴンソール	無題（カウボーイ・シリーズ）	1989年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8

№	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
41	デビッド・レヴンソール	無題（カウボーイ・シリーズ）	1989年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
42	デビッド・レヴンソール	無題（カウボーイ・シリーズ）	1989年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
43	デビッド・レヴンソール	無題（カウボーイ・シリーズ）	1989年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
44	フランク・マホレ	炎	1990年	チバクローム・プリント	60.96×50.8
45	フランク・マホレ	ラビュリンスのセイレーン	1990年	チバクローム・プリント	60.96×50.8
46	フランク・マホレ	オーケアニス	1990年	チバクローム・プリント	60.96×50.8
47	ロバート・メイプルソープ	芥子	1982年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	50.8×40.64
48	ロバート・メイプルソープ	蘭	1987年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	60.96×50.8
49	ロバート・メイプルソープ	ひな菊	1982年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	50.8×40.64
50	シーラ・メッツナー	マン・レイのチューリップ #2	1988年	フレッソン・プリント	62.23×41.91
51	シーラ・メッツナー	ボルタ	1988年	フレッソン・プリント	60.96×81.28
52	シーラ・メッツナー	ムユ作，原型	1985年	フレッソン・プリント	60.96×81.28
53	シーラ・メッツナー	グレーの花瓶　パンダ蘭	1980年	フレッソン・プリント	62.23×40.91
54	オリビア・パーカー	ザ・ウエスト・ウォール	1985年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
55	オリビア・パーカー	砂	1987年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
56	オリビア・パーカー	変換	1987年	ポラロイド・プリント	60.96×50.8
57	オリビア・パーカー	8217 回転木馬	1982年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	38.1×45.72
58	オリビア・パーカー	8523 その場を離れて	1985年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	38.1×45.72
59	オリビア・パーカー	8220 フレーミング	1982年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	38.1×45.72
60	ダン・パウェル	アーティスト・モデル #6	1990-93年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント、手彩色	55.88×43.18
61	ダン・パウェル	アーティスト・モデル #14	1990-93年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント、手彩色	55.88×43.18
62	ダン・パウェル	アーティスト・モデル #11	1990-93年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント、手彩色	55.88×43.18
63	ダン・パウェル	アーティスト・モデル #7	1990-93年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント、手彩色	55.88×43.18
64	ルーカス・サマラス	意匠	1983.3.24	ポラロイド・プリント	20.32×25.4
65	ルーカス・サマラス	スティル・ライフ	1983.4.18	ポラロイド・プリント	20.32×25.4
66	ルーカス・サマラス	スティル・ライフ	不明	ポラロイド・プリント	20.32×25.4
67	ルーカス・サマラス	スティル・ライフ	1983.4.22	ポラロイド・プリント	20.32×25.4
68	ビクター・シュレイガー	無題	1987年	エクタカラー・プリント	152.4×101.6
69	ビクター・シュレイガー	解剖学的に完全	1989年	エクタカラー・プリント	152.4×101.6
70	ビクター・シュレイガー	パーク・テスト	1989年	エクタカラー・プリント	152.4×101.6
71	ビクター・シュレイガー	ワット・マダム・ニュー	1989年	エクタカラー・プリント	152.4×101.6
72	サンディ・スコグランド	ハンガー	1979年	チバクローム・プリント	71.12×88.9
73	サンディ・スコグランド	ゴールドフィッシュの復讐	1981年	チバクローム・プリント	71.12×88.9
74	サンディ・スコグランド	細菌はどこにでもいる	1986年	チバクローム・プリント	66.04×81.28
75	イバン・ストリートマン	ピスガの眺め	1983年	チバクローム・プリント	101.6×76.2
76	イバン・ストリートマン	石と矢車草	1983年	チバクローム・プリント	60.96×50.8
77	イバン・ストリートマン	ドリーム・リバーIII	1983年	チバクローム・プリント	76.2×60.96
78	イバン・ストリートマン	高地からの眺め	1991年	チバクローム・プリント	76.2×60.96
79	ルース・ソーントムセン	ニオベ	1987年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
80	ルース・ソーントムセン	ネペンテス	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16

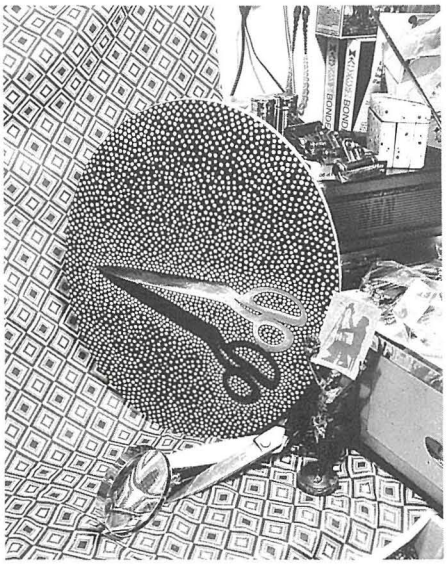


デシャン「スザンヌの眼、85歳」

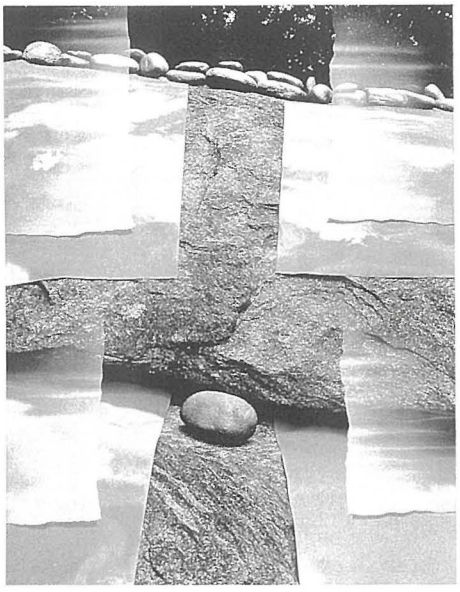

メイプルソープ「蘭」

No	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
81	ルース・ソーントムセン	入道雲	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
82	ルース・ソーントムセン	レダ	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
83	ルース・ソーントムセン	ハーレクイン・ヘッド	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
84	ルース・ソーントムセン	捩頭	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
85	ルース・ソーントムセン	セニョーラ・フローラ	1986年	ブラック・アンド・ホワイト・シルバープリント	12.7×10.16
86	カール・トース	磁気／実験室／刈る	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
87	カール・トース	磁気／実験室／刈る	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
88	カール・トース	磁気／実験室／刈る	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
89	カール・トース	トゥリーハウス／ウォーターテーブル／バードバス	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
90	カール・トース	トゥリーハウス／ウォーターテーブル／バードバス	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
91	カール・トース	トゥリーハウス／ウォーターテーブル／バードバス	1988年	ゼロックス、コラージュ	63.5×96.52
92	アーサー・トレス	限りある流れの中のユリ／花で彩られた夢の中で太陽を吸収する／ニューハンプシャー州ピーターボロー	1989年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
93	アーサー・トレス	「野生の叫び」遠吠えが丘に響き渡り／一匹狼が仲間に合図を送る／この広々と開けた土地で／孤独こそが彼の願いかもしれない／ニューヨーク州プラシッド湖	1989年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
94	アーサー・トレス	虫たちの静かな羽音のメドレーを聴け／つぎつぎに増やしていく彼らの音楽がわたしたちを圧倒する／ニューヨーク州ジェイ	1989年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
95	アーサー・トレス	けれどある日広々とした野原に立つ／日常のすべてが消え去る／ただ静かに見つめるだけだ／ねらいをつけた的が向かうであろう方角を／ニューヨーク，セントラル・パーク	1988年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
96	アーサー・トレス	産卵する魚のように／顔を上気させたナイトと気取り屋／アトランティスの王子が／熱帯の恋人に求愛する／フロリダ州セント・ジョージ島	1989年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
97	アーサー・トレス	「ゴルファー」ゴルフの優勝者は生真面目に力をふりしぼり，大酋長の草原にホールインワンする／ニューハンプシャー州ピーターボロー	1988年	チバクローム・プリント	40.64×50.8
98	ドン・ワース	アンスリウムとラリック・ボウル，ミル・バレー	1985年	チバクローム・プリント	88.9×111.76
99	ドン・ワース	蘭とカラジウム，ミルバレー	1984年	チバクローム・プリント	111.76×88.9

＊　寸法は縦×横



サマラス「意匠」

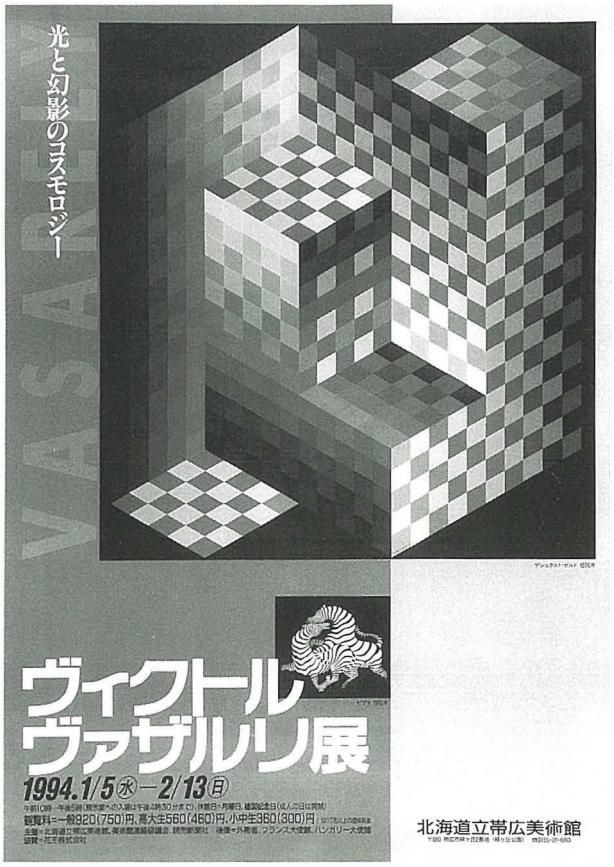


ストリートマン「ピスガの眺め」

光と幻影のコスモロジー　ヴィクトル・ヴァザルリ展

会期＝平成6年1月5日(水)－2月13日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、美術館連絡協議会、
読売新聞社

後援＝外務省、フランス大使館、ハンガリー大使館
協賛＝花王株式会社



ポスター

関連事業

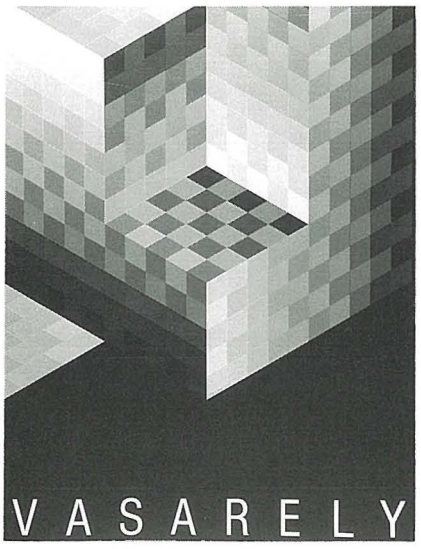
特別展セミナー
「ヴァザルリの造形世界－初期から今日まで」
講師＝光岡幸治（当館学芸員）
日時＝１月15日(土)、２月12日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

土曜映写室
「視覚美術館－ふしぎな錯覚の世界」
日時＝１月８日(土)、１月29日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

1908年ハンガリーに生まれたヴィクトル・ヴァザルリは、幾何学的な図形を規則的に配列することによって光やうねりや運動を見る者に感じさせるオプティカル・アートによって、国際的に活躍している美術家である。故国で構成主義やバウハウスの芸術理念を学んだ後、1930年パリに出てデザインの仕事に携わり、40年代に入ってから本格的に絵画制作に取り組んだ。以後、モニュメンタルな立体造形や建築デザインなどにも積極的に関わり、今日に至るまで多彩な作品を生み出している。

本展は、ブダペストのヴァザルリ美術館、ブダペスト国立美術館の所蔵作品をはじめ世界各地の所蔵家のコレクションによって構成された日本では初の本格的な回顧展である。

これまであまり知られていなかったシュルレアリスムの影響を示す戦前の絵画や、戦後まもない頃の抽象絵画なども展示されるなど、この画家の造形的探求の軌跡が代表作によって紹介された。展示作品は油彩画、素描、コラージュのほか立体作品など計71点、現代美術の巨匠の視覚世界を鑑賞するまたとない機会となった。



図録



会場風景

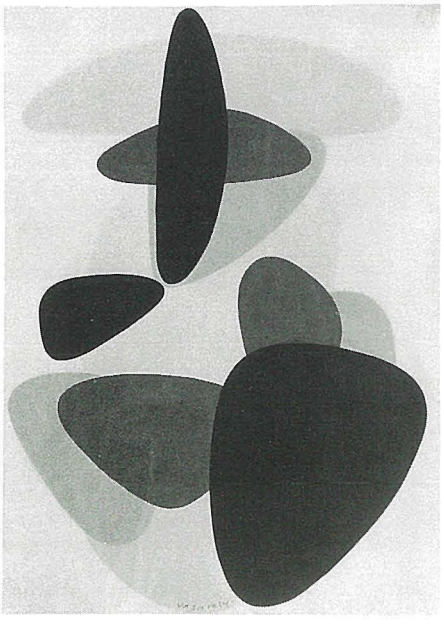


会場風景

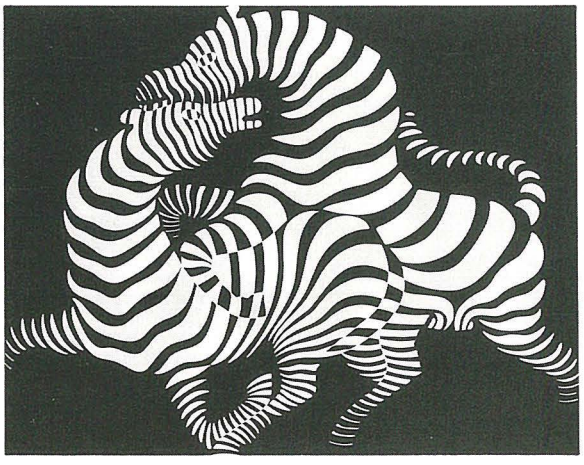
出品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	道化	1938年	油彩、キャンバス	114×71	個人蔵
2	囚人たち	1939年	鉛筆、紙	59×39	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
3	釣り	1939年	グアッシュ、クレヨン、厚紙	50×60	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
4	自画像	1941年	混合技法、紙	45×33.5	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
5	ジャズ	1942年	油彩、ファイバーシート	64×59	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
6	サーカス	1942年	油彩、ボード	72×66	個人蔵
7	水	1942年	インク、厚紙	49×59	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
8	メリーゴーラウンド	1942年	油彩、ボード	39×58	個人蔵
9	人間	1943年	油彩、ファイバーシート	115×130	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
10	荒廃	1943年	鉛筆、紙	33×51	ピエール・ヴァザルリ、フランス
11	裸婦	1943年	鉛筆、紙	33×24	ピエール・ヴァザルリ、フランス
12	ヌード	1944年	パステル、厚紙	26×40	個人蔵、アメリカ
13	地下室	1946年	油彩、キャンバス	62×51	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
14	オウム	1946年	油彩、テンペラ、ボード	48×33	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
15	天体の蝕	1946年	油彩、ファイバーシート	98×128	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
16	家	1946年	混合技法、厚紙	36.5×29	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
17	躍動	1947年	油彩、キャンバス	60×65	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
18	コンポジション	1948年	油彩、キャンバス	94×100	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
19	バンゴール	1950年	グアッシュ、紙	66×44	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
20	ルール	1950年	油彩、キャンバス	114×195	アーリン・ネービ・コレクション、オスロ、ノルウェー

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
21	ホッカイドウ	1950-55-58年	油彩、キャンバス	163×102	ブダペスト国立美術館、ハンガリー
22	ワット	1951年	油彩、キャンバス	129.5×96	ラウミエール・ギャラリー、パリ、フランス
23	ヤブラ	1951年	アクリリック、キャンバス	162×130	個人蔵、ブリュッセル、ベルギー
24	アム・ダリア	1951年	グアッシュ、厚紙	15×20	個人蔵
25	イラム	1951年	グアッシュ、厚紙	26×20	ピエール・ヴァザルリ、フランス
26	イオス	1952年	グアッシュ、厚紙	25×28	個人蔵
27	斜面	1952年	油彩、キャンバス	150×190	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
28	アミル	1953年	油彩、ファイバーシート	140×180	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
29	ロム=ラン=2	1953年	油彩、ボード	155×95	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
30	マレーヴィチ	1953年	アクリリック、キャンバス	130×194.5	個人蔵
31	ガンツ	1954年	油彩、キャンバス	180×110	ヴァザルリ美術館、ブダペスト、ハンガリー
32	ゼブラ	1950年	油彩、キャンバス	87.5×111.5	個人蔵、ブリュッセル、ベルギー
33	起源	1950年	インク、紙	37.5×27.5	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
34	起源	1950年	インク、紙	27.5×37.5	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
35	リウ=キウA	1955年	アクリリック、キャンバス	80×146	個人蔵
36	ビトリンコ	1956年	アクリリック、キャンバス	194.5×129.5	個人蔵
37	ボラ=MI	1956年	アクリリック、キャンバス	198×105.5	個人蔵、ニューヨーク、アメリカ
38	ビネール	1956年	アクリリック、キャンバス	197×199	個人蔵
39	オイテ	1956-58年	油彩、キャンバス	194×130	ラウミエール・ギャラリー、パリ、フランス
40	ゴタ=ネグ	1958-78年	アクリリック、キャンバス	195×130	北海道立近代美術館
41	カノープス	1959-65年	アクリリック、キャンバス	200×100	ラウミエール・ギャラリー、パリ、フランス
42	アンドロメダ=ネグ	1960年	アクリリック、キャンバス	173×111.5	個人蔵
43	ツィトラ・正方形	1960年	アクリリック、キャンバス	100×100	ピエール・ヴァザルリ、フランス
44	ヘリオスK	1960年	アクリリック、キャンバス	160×112.5	Dr. シモニ・コレクション、アメリカ
45	ビ=シュペル・ノヴァ	1961年	アクリリック、キャンバス	193×114.5	個人蔵
46	ビ=フォルム	1955/64年	シルクスクリーン、プレクシグラス、ステンレススティール	68×16×62	作者、フランス



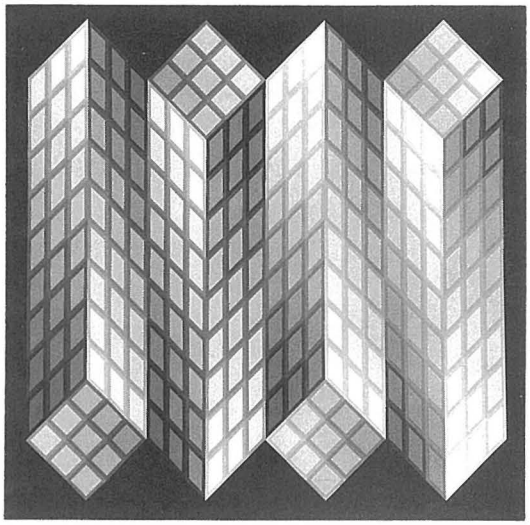
「バンゴール」



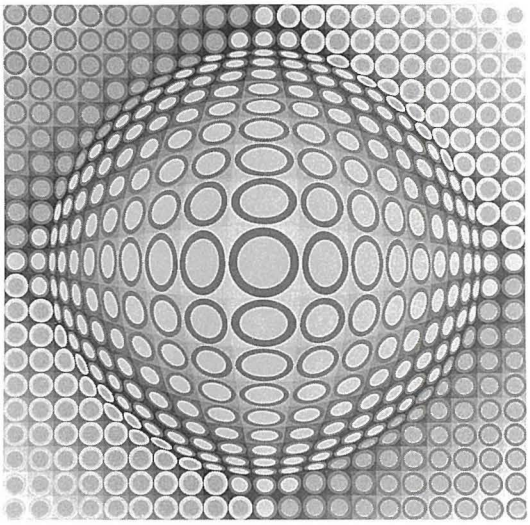
「ゼブラ」

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
47	トリンコ	1955/64年	シルクスクリーン、プレクシグラス、ステンレススティール	68×16×62	作者、フランス
48	ヘジース	1964年	コラージュ	67×67	北海道立近代美術館
49	ベラトリックス=PYR	1964-67年	彩色した木	125×125	イヴォラル・ヴァザルリ、パリ、フランス
50	オリオン=灰色	1969年	アクリリック、キャンバス	199.5×199.5	個人蔵
51	ヘクラ=紫	1969年	アクリリック、キャンバス	201.5×192	A.ザポーネ、ニース、フランス
52	トロニ=ノジ	1969年	アクリリック、キャンバス	199×199	J.ソロモン、サークル・ギャラリー、アメリカ
53	トリディムK	1969年	アクリリック、キャンバス	192×115	個人蔵
54	トロニ	1970年	アクリリック、キャンバス	180×90	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
55	ウールヴェグヌ	1970年	アクリリック、キャンバス	150×150	個人蔵
56	アクソ=KS	1971年	アクリリック、キャンバス	159×159	個人蔵、アメリカ
57	シンパッド	1973-75年	コラージュ	102×102	個人蔵、フランス
58	イドム・ムルチ	1975年	アクリリック、キャンバス	199.5×99	Dr.シモニ・コレクション、アメリカ
59	ゲシュタルト=ゼルド	1976年	アクリリック、キャンバス	238×223.5	A.サポーネ、ニース、フランス
60	ヴォナル=ストリ	1975年	アクリリック、キャンバス	199.5×199	J.ソロモン、サークル・ギャラリー、アメリカ
61	ヴェガ200	1968年	アクリリック、キャンバス	199.5×200	ミシェル・ヴァザルリ、パリ、フランス
62	バトール	1977年	アクリリック、キャンバス	157×85	北海道立近代美術館
63	シルト=MCB	1977年	アクリリック、キャンバス	154.5×156	ピエール・ヴァザルリ、フランス
64	ゲシュタルト=ルゴ	1978年	アクリリック、キャンバス	230×138	J.ソロモン、サークル・ギャラリー、アメリカ
65	ブー	1978年	アクリリック、キャンバス	199×199	個人蔵
66	モウ	1980年	アクリリック、キャンバス	200×200	個人蔵
67	テケルス=MC	1981年	アクリリック、キャンバス	201.5×236	個人蔵、フランス
68	アトモス	1982年	アクリリック、キャンバス	238.5×238.5	北海道立近代美術館
69	ラヴァ	1984年	アクリリック、キャンバス	240×240	イヴォラル・ヴァザルリ、パリ、フランス
70	テル=UR	1984年	アクリリック、キャンバス	239.5×240	イヴォラル・ヴァザルリ、パリ、フランス
71	オスロポックII	1985年	アクリリック、キャンバス	130×151	個人蔵

＊　寸法は縦×横、または幅×奥行×高さ



「トロニ=ノジ」

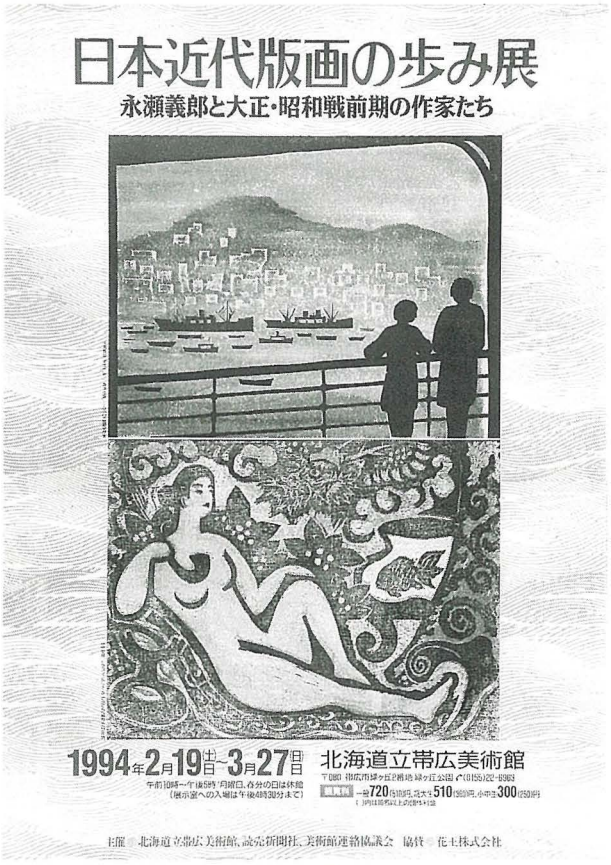


「ヴェガ200」

日本近代版画の歩み展　永瀬義郎と大正・昭和戦前期の作家たち

会期＝平成6年2月19日(土)－3月27日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝花王株式会社



ポスター

関連事業

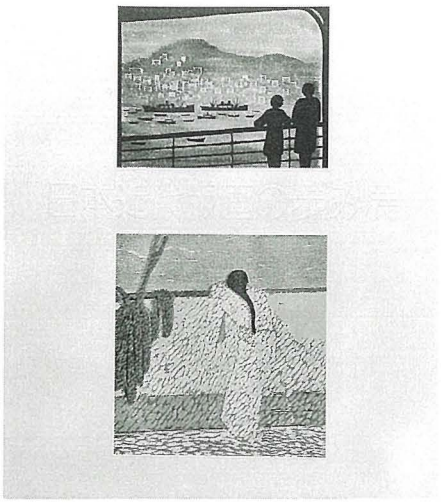
美術講演会
「夫・永瀬義郎の思い出」
講師＝永瀬照子氏（版画家）
日時＝２月19日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

土曜映写室
「“彫る”棟方志功の世界」
日時＝２月26日(土)、３月26日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

浮世絵版画に代表される日本の伝統版画は、明治以降、社会の大きな変革により次第に衰退していった。その中で版画の世界に新風を吹き込んだのが、近代版画を生み出した創作版画運動である。従来の伝統版画は絵師が下絵を描き、それをもとに彫師が版を作り、摺師が紙に写すという三者分業で行われたが、創作版画は、自画・自刻・自摺を基本にして制作から完成までを一貫させ、作家の個性的表現や独自の感受性を画面に表わしたのである。

また版画雑誌の創刊、技法書などにより、それまで一部の職人たちの手にあった版画を広く一般の人々に開放したことも創作版画運動の大きな功績である。現在、日本の版画界は隆盛を極め、海外のコンクールでも多くの賞を受けるに至っているが、その礎ともなったのが近代の創作版画運動である。

本展は、大正、昭和を通じ、創作版画運動の中心人物の一人として多彩な版画表現に挑み、また版画の普及にも尽力して、棟方志功、谷中安規、斎藤清らに多大な影響を与えた永瀬義郎（1891～1978）と、同時代の優れた版画家たちの作品を紹介した展覧会である。新発見の版画を含む永瀬の作品38点に加え、大正・昭和戦前期の代表的版画家61名の作品221点が展観された。


図録



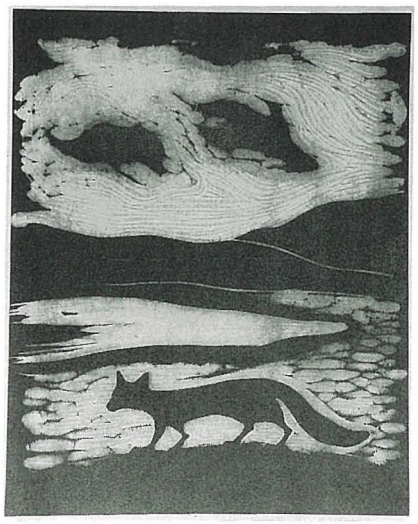
会場風景


会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	永瀬　義郎	母の愛	1914(大正３)年	木版、紺紙金摺	20.0×18.5	
2	永瀬　義郎	抱擁	1915(大正４)年	木版、紙	29.6×21.1	
3	永瀬　義郎	風景	1916(大正５)年	木版、紙	21.5×15.5	
4	永瀬　義郎	貌	1916(大正５)年	木版、紙	24.0×22.5	
5	永瀬　義郎	母と子	1920(大正９)年	木版、紺紙金摺	28.4×21.1	
6	永瀬　義郎	哀(ひ)	1921(大正10)年頃	木版、紺紙金摺	34.5×24.5	
7	永瀬　義郎	風景	1921(大正10)年頃	木版、紙	17.0×24.0	茨城県近代美術館
8	永瀬　義郎	裸婦	1922(大正11)年	木版、紺紙金摺	30.3×27.1	
9	永瀬　義郎	池畔	1922(大正11)年	木版、紙	15.0×21.0	
10	永瀬　義郎	沈鐘	1922(大正11)年	木版、紙	13.7×10.7	
11	永瀬　義郎	花－二つの性	1922(大正11)年	木版、紙	13.5×10.5	
12	永瀬　義郎	鯨の最後(宇野浩二著『天と地の出来事』挿画)	1924(大正13)年	木口木版、紙	13.0×8.5	
13	永瀬　義郎	母と子(『HANGA』第１輯)	1927(昭和２)年	木版、紙	25.0×21.0	
14	永瀬　義郎	髪	1927(昭和２)年	木版、紺紙金摺	32.3×23.0	茨城県近代美術館
15	永瀬　義郎	風景(芦の湖)	1927(昭和２)年	木版、紙	20.5×28.0	茨城県近代美術館
16	永瀬　義郎	風景(河口湖)	1927(昭和２)年	木版、紙	15.6×19.9	茨城県近代美術館
17	永瀬　義郎	風景	1927(昭和２)年	木版、紙	20.7×24.0	
18	永瀬　義郎	四季四態「濃艶」春	1927(昭和２)年	木版、紙	39.0×20.0	
19	永瀬　義郎	四季四態「力」夏	1927(昭和２)年	木版、紙	39.0×20.0	
20	永瀬　義郎	四季四態「収穫」秋	1927(昭和２)年	木版、紙	39.0×20.0	
21	永瀬　義郎	四季四態「神秘」冬	1927(昭和２)年	木版、紙	39.0×20.0	
22	永瀬　義郎	花	1928(昭和３)年	木版、紙	24.8×19.0	
23	永瀬　義郎	花	1928(昭和３)年	木版、紙	34.0×21.0	茨城県近代美術館
24	永瀬　義郎	ある日の草人	1928(昭和３)年	木版、紙	39.0×20.0	
25	永瀬　義郎	裸婦(ともしび)	1929(昭和４)年	木版、紺紙金摺	21.7×17.9	
26	永瀬　義郎	東洋の旅１「上海所見」	1929(昭和４)年	木版、紙	30.0×22.5	
27	永瀬　義郎	東洋の旅２「香港夜景」	1930(昭和５)年	木版、紙	23.7×30.3	
28	永瀬　義郎	東洋の旅３「マレー美人」	1930(昭和５)年	木版、紙	33.0×23.7	
29	永瀬　義郎	東洋の旅４「シバの踊り(インド回想)」	1930(昭和５)年	木版、紙	33.0×24.2	
30	永瀬　義郎	東洋の旅５「スエズの日没」	1930(昭和５)年	木版、紙	22.5×30.0	
31	永瀬　義郎	東洋の旅６「ピラミッド」	1930(昭和５)年	木版、紙	21.5×30.4	
32	永瀬　義郎	Paris序曲(ノートルダム)	1930(昭和５)年	木版、紙	21.4×30.5	
33	永瀬　義郎	Paris朝(エッフェル塔)	1930(昭和５)年	木版、紙	30.7×21.2	
34	永瀬　義郎	若い男の像	1932(昭和７)年	木版、紙	33.0×25.2	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
35	永瀬　義郎	サーカス	1938(昭和13)年	雑版(捺擦版)、紙	31.0×23.0	茨城県近代美術館
36	永瀬　義郎	SEIKÔ　表紙	不詳	木版、紙	19.0×13.5	
37	永瀬　義郎	SEIKÔ　作品1	不詳	木版、紙	19.0×13.5	
38	永瀬　義郎	SEIKÔ　作品2	不詳	木版、紙	19.0×13.5	
創作版画の黎明(『方寸』の画家たち)						
39	平福　百穂	碇泊(『方寸』第2巻第6号)	1908(明治41)年刊	石版、紙	23.6×14.7	宮城県美術館
40	平福　百穂	塩釜(『日本風景版画』第三集　東北之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.5×24.0	郡山市立美術館
41	平福　百穂	鳴子(『日本風景版画』第三集　東北之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.5×24.0	郡山市立美術館
42	平福　百穂	笠島(『日本風景版画』第三集　東北之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.5×24.0	郡山市立美術館
43	森田　恒友	梳髪(『方寸』第3巻第7号)	1909(明治40)年刊	石版、紙	23.8×15.2	宮城県美術館
44	森田　恒友	若松城跡(『日本風景版画』第二集　会津之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.5×23.9	郡山市立美術館
45	森田　恒友	阿賀川(『日本風景版画』第二集　会津之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.5×23.9	郡山市立美術館
46	森田　恒友	川上温泉(『日本風景版画』第二集　会津之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.6×24.0	郡山市立美術館
47	倉田　白羊	水車の修復(『方寸』第4巻第2号)	1910(明治43)年刊	ジンク版、紙	22.3×14.3	宮城県美術館
48	小杉　未醒	上州から来た小守(『方寸』第4巻第7号)	1910(明治43)年刊	木版、ジンク版、紙	20.9×10.8	宮城県美術館
49	小杉　未醒	漫湖(『日本風景版画』第七集　琉球之部)	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.2×23.7	郡山市立美術館
50	小杉　未醒	首里古城(『日本風景版画』第七集　琉球之部)	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.6×23.9	郡山市立美術館
51	小杉　未醒	普天満附近(『日本風景版画』第七集　琉球之部)	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.4×23.8	郡山市立美術館
52	山本　　鼎	漁夫(『明星』明治37年7月号)	1904(明治37)年	木版、紙	16.4×11.2	和歌山県立近代美術館
53	山本　　鼎	真昼(『方寸』第3巻第4号)	1909(明治42)年刊	木版、紙	20.5×16.7	宮城県美術館
54	山本　　鼎	デッキの一隅	1912(大正元)年	木版、紙	17.7×17.0	上田市山本鼎記念館
55	山本　　鼎	ブルトンヌの水浴	1912(大正元)年	木版、紙	14.5×20.7	北海道立近代美術館
56	山本　　鼎	ブルターニュの小湾	1913(大正2)年	木版、紙	14.9×21.5	上田市山本鼎記念館
57	山本　　鼎	水浴	1918(大正7)年	木版、紙	32.3×23.8	上田市山本鼎記念館
58	織田　一磨	東京風景　待乳山から隅田川	1916(大正5)年	石版、紙	28.0×41.4	兵庫県立近代美術館
59	織田　一磨	東京風景　目白坂下	1916(大正5)年	石版、紙	45.5×25.5	兵庫県立近代美術館
60	織田　一磨	大阪風景　浮世小路	1918(大正7)年	石版、紙	43.2×28.3	茨城県近代美術館
61	織田　一磨	大阪風景　築港	1919(大正8)年	石版、紙	30.0×45.0	茨城県近代美術館
62	石井　柏亭	道哲(『方寸』第1巻第2号)	1907(明治40)年刊	エッチング、紙	16.0×11.2	宮城県美術館
63	石井　柏亭	木場	1914(大正3)年	木版、紙	24.0×17.5	練馬区立美術館
64	石井　柏亭	能登和倉温泉(『日本風景版画』第一集　北陸之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.3×24.0	郡山市立美術館
65	石井　柏亭	能登宇出津港(『日本風景版画』第一集　北陸之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.1×23.8	郡山市立美術館
66	石井　柏亭	加賀山中温泉(『日本風景版画』第一集　北陸之部)	1917(大正6)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	24.2×17.0	郡山市立美術館
67	坂本繁二郎	干しもの(『方寸』第4巻第3号)	1910(明治43)年刊	ジンク版、紙	20.0×15.6	宮城県美術館
68	坂本繁二郎	榎寺神社(『日本風景版画』第六集　筑紫之部)	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	17.1×23.7	郡山市立美術館
69	坂本繁二郎	水縄山(『日本風景版画』第六集　筑紫之部)	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	16.9×23.7	郡山市立美術館
70	坂本繁二郎	神の湊(『日本風景版画』第六集　筑紫之部	1918(大正7)年	木版、紙、伊上凡骨(刻)	16.8×23.7	郡山市立美術館



永瀬義郎「四季四態　神秘　冬」

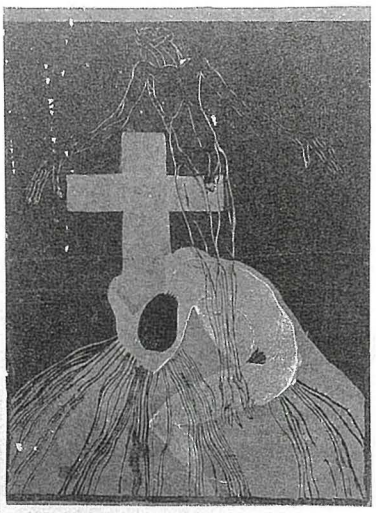


山本鼎「漁夫」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
制作版画の黎明(明治末－大正初期の状況)						
71	戸張　孤雁	千住大橋の雨	1912(大正元)年	木版、紙	45.5×32.0	
72	戸張　孤雁	稲村の秋	1912(大正元)年	木版、紙	23.3×35.6	
73	戸張　孤雁	臥裸婦	1917(大正６)年	木版、紙	30.0×43.0	
74	戸張　孤雁	女学生	1920(大正９)年	木版、紙	37.8×24.2	
75	南　　薫造	風景	1912(大正元)年頃	木版、紙	14.4×16.8	福島県立美術館
76	南　　薫造	漁船の七夕	不詳	木版、紙	21.8×10.5	和歌山県立近代美術館
77	竹久　夢二	あきつ(『櫻さく國・白風の巻』口絵)	1911(明治44)年	木版、紙	38.5×26.6	竹久夢二美術館
78	竹久　夢二	長崎六景　出島	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
79	竹久　夢二	長崎六景　灯篭流し	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
80	竹久　夢二	長崎六景　眼鏡橋	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
81	竹久　夢二	長崎六景　浦上天主堂	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
82	竹久　夢二	長崎六景　青い酒	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
83	竹久　夢二	長崎六景　丘の青楼	1920(大正９)年頃	木版、紙	36.0×26.2	
84	竹久　夢二	戀三題(『婦人グラフ』大正13年８月号第１巻第４号)	1924(大正13)年	木版、紙	32.3×22.3	竹久夢二美術館
85	竹久　夢二	摩利耶観音(『婦人グラフ』大正13年11月第１巻第７号)	1924(大正13)年	木版、紙	26.1×11.8	竹久夢二美術館
86	小林徳三郎	経業１	1912(大正元)年	木版、紙	13.8×7.5	東京都美術館
87	小林徳三郎	経業２	1912(大正元)年	木版、紙	12.0×7.5	東京都美術館
88	小林徳三郎	港のみえる風景	不詳	木版、紙	29.8×23.1	広島県立美術館
98	小林徳三郎	港	不詳	木版、紙	23.1×33.0	広島県立美術館
90	太田　三郎	カフェーの女	1914(大正３)年	木版、紙	20.6×11.1	和歌山県立近代美術館
91	太田　三郎	女湯	1914(大正３)年	木版、紙	21.5×15.0	和歌山県立近代美術館
92	萬　鉄五郎	太陽と道	1912(明治45)年頃	木版、紙	17.1×22.9	萬鉄五郎記念館
93	萬　鉄五郎	羅布かづく人	1924(大正13)年	木版、紙	17.1×12.6	平塚市美術館
94	富本　憲吉	ねはん	1912(大正元)年	木版、紙	31.2×32.0	宮城県美術館
95	富本　憲吉	壺(竹林月夜)	1920(大正９)年頃	木版、紙	23.0×26.0	和歌山県立近代美術館
96	岡本　帰一	夕の街路	1914(大正３)年	木版、紙	14.0×15.1	和歌山県立近代美術館
97	岡本　帰一	風景	1914(大正３)年	木版、紙	12.9×15.4	和歌山県立近代美術館
98	硲　伊之助	ふした女	1928(昭和３)年頃	木版、紙	26.5×38.7	北海道立近代美術館
99	硲　伊之助	フランスの田舎娘	1930(昭和５)年	木版、紙	36.5×27.8	北海道立近代美術館
『假面』『月映』の活動(『假面』の画家たち)						
100	広島新太郎	夕暮小景	1916(大正５)年頃	木版、紙	23.1×18.3	千葉市美術館開設準備室
101	広島新太郎	泊船	1916(大正５)年頃	木版、紙	18.1×21.0	千葉市美術館開設準備室
102	広島新太郎	暮景	1916(大正５)年頃	木版、紙	20.5×26.0	千葉市美術館開設準備室
103	広島新太郎	曲芸の女	1916(大正５)年頃	木版、紙	13.3×14.5	千葉市美術館開設準備室
104	広島新太郎	岩上小禽	1916(大正５)年頃	木版、紙	23.0×18.0	千葉市美術館開設準備室
105	長谷川　潔	風(イエーツの詩に寄す)	1915(大正４)年	木版、紙	37.0×26.5	



長谷川潔「風（イエーツの詩に寄す)」



恩地孝四郎「キリストとマリア」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
106	長谷川　潔	僧院の畑	1916(大正５)年	木版、紙	19.2×28.2	
107	長谷川　潔	函館港	1917(大正６)年	木版、紙	24.0×30.0	
108	長谷川　潔	赤い月	1917(大正６)年	木版、紙	22.0×26.5	
109	長谷川　潔	ムードンの陸橋	1921(大正10)年	木版、紙	20.4×25.3	
110	長谷川　潔	日夏耿之介定本詩集一　轉身の頌	1927(昭和２)年刊	エッチング、冊子	25.5×21.0×2.3	宮城県美術館
111	長谷川　潔	日夏耿之介定本詩集二　黒衣聖母	1926(昭和元)年刊	エッチング、冊子	25.5×21.0×2.6	宮城県美術館
112	長谷川　潔	日夏耿之介定本詩集三　黄眠帖	1927(昭和２)年刊	エッチング、冊子	25.5×21.0×2.0	宮城県美術館
	『假面』『月映』の活動(『月映』の画家たち)					
113	藤森　静雄	妹は病みぬ(公刊『月映』II)	1914(大正３)年	木版、紙	19.6×9.0	和歌山県立近代美術館
114	藤森　静雄	夜のピアノ(公刊『月映』II)	1914(大正３)年	木版、紙	14.7×15.0	和歌山県立近代美術館
115	藤森　静雄	灯のまえ	1914(大正３)年	木版、紙	23.7×15.8	
116	藤森　静雄	二の心(私輯『月映』IV)	1914(大正３)年	木版、紙	17.0×11.9	和歌山県立近代美術館
117	藤森　静雄	丘	1925(大正14)年	木版、紙	16.3×21.2	和歌山県立近代美術館
118	藤森　静雄	雪の駿河台(『大東京十二景』十二月)	1932(昭和７)年	木版、紙	28.3×46.8	和歌山県立近代美術館
119	恩地孝四郎	ただよえるもの(公刊『月映』Ｉ)	1914(大正３)年	木版、紙	19.5×13.5	
120	恩地孝四郎	裸形のくるしみIII(公刊『月映』III)	1914(大正３)年	木版、紙	20.0×8.0	
121	恩地孝四郎	うかむ種子(公刊『月映』III)	1914(大正３)年	木版、紙	19.0×12.0	
122	恩地孝四郎	キリストとマリア(公刊『月映』IV)	1915(大正４)年	木版、紙	24.0×17.5	
123	恩地孝四郎	抒情五種のうち 太陽額に照る(公刊『月映』V)	1915(大正４)年	木版、紙	14.3×12.5	和歌山県立近代美術館
124	恩地孝四郎	抒情五種のうち　あかるい時(公刊『月映』V)	1915(大正４)年	木版、紙	13.6×9.8	和歌山県立近代美術館
125	恩地孝四郎	貌	1915(大正４)年	木版、紙	15.0×11.3	和歌山県立近代美術館
126	恩地孝四郎	壺	1929(昭和４)年	木版、紙	20.7×14.9	和歌山県立近代美術館
127	香山　小鳥	(みつめる)	不詳	木版、紙	18.0×11.7	和歌山県立近代美術館
128	香山　小鳥	風景(『密室』６)	1913(大正２)年	木版、紙	12.3×8.5	和歌山県立近代美術館
129	田中　恭吉	ひそめるもの(公刊『月映』II)	1914(大正３)年	木版、紙	20.5×15.1	和歌山県立近代美術館
130	田中　恭吉	そこにのみかがやくひかり(公刊『月映』II)	1914(大正３)年	木版、紙	9.1×9.1	和歌山県立近代美術館
131	田中　恭吉	去勢者と緋罌粟(公刊『月映』III)	1914(大正３)年	木版、紙	18.6×13.9	和歌山県立近代美術館
132	田中　恭吉	冬蟲夏草(公刊『月映』III)	1914(大正３)年	木版、紙	15.6×13.0	和歌山県立近代美術館
133	田中　恭吉	あをそら(公刊『月映』V)	1914(大正３)年	木版、紙	15.6×10.9	和歌山県立近代美術館
	創作版画の展開					
134	吉田　　博	東京拾二題　亀井戸	1927(昭和２)年	木版、紙、自摺	37.5×24.7	
135	吉田　　博	東京拾二題　中里之雪	1928(昭和３)年	木版、紙、自摺	51.5×36.8	
136	ワルワラ・ブブノワ	二人	1928(昭和３)年頃	石版、紙	32.7×28.8	和歌山県立近代美術館
137	ワルワラ・ブブノワ	アンナの肖像	1933(昭和８)年	石版、紙	43.5×29.0	和歌山県立近代美術館
138	石井　鶴三	窟の湯	1922(大正11)年	木版、紙	18.7×22.0	
139	石井　鶴三	水泳	1931(昭和６)年	木版、紙	22.4×30.8	
140	前川　千帆	雪かき人夫	1923(大正12)年	木版、紙	20.5×14.5	兵庫県立近代美術館
141	前川　千帆	手踊	1935(昭和10)年	木版、紙	18.2×19.5	兵庫県立近代美術館
142	前川　千帆	雪の余呉湖	昭和前期	木版、紙	20.0×23.0	須坂版画美術館
143	小泉癸巳男	春の銀座夜景	1935(昭和10)年	木版、紙	28.5×37.2	北海道立近代美術館
144	小泉癸巳男	冬の猿橋(『新日本百景』山梨県)	1939(昭和14)年	木版、紙	22.6×30.0	須坂版画美術館
145	古川　龍生	昆虫戯画巻　平和篇　緑陰労働	1933(昭和８)年	木版、紙	35.6×35.3	栃木県立美術館
146	古川　龍生	昆虫戯画巻　平和篇　豊年万作	1933(昭和８)年	木版、紙	24.5×35.0	栃木県立美術館
147	古川　龍生	昆虫戯画巻　争闘篇　昆虫合戦	1933(昭和８)年	木版、紙	25.0×35.5	栃木県立美術館
148	古川　龍生	昆虫戯画巻　争闘篇　群虫密議	1933(昭和８)年	木版、紙	25.4×35.6	栃木県立美術館
149	川西　　英	曲馬	1928(昭和３)年	木版、紙	28.7×47.0	兵庫県立近代美術館
150	川西　　英	古道具屋	1941(昭和16)年	木版、紙	45.5×60.0	兵庫県立近代美術館
151	逸見　　亨	幸福な海女の群れ	1919(大正８)年	木版、紙	19.5×15.2	和歌山県立近代美術館
152	逸見　　亨	夜汽車	1928(昭和３)年	木版、紙	16.5×13.5	和歌山県立近代美術館
153	川上　澄生	春の伏兵	1924(大正13)年	木版、紙	23.7×33.0	栃木県立美術館
154	川上　澄生	異国春光	1924(大正13)年	木版、紙	22.7×32.0	栃木県立美術館
155	川上　澄生	水妖精	1925(大正14)年頃	木版、紙	18.0×23.0	栃木県立美術館
156	川上　澄生	的(三連作のうち)	1928(昭和３)年	木版、紙	22.0×31.5	栃木県立美術館
157	平塚　運一	兵営附近Ｂ	1925(大正14)年	木口木版、紙	19.5×23.5	須坂版画美術館
158	平塚　運一	平壌牡丹台(『新日本百景』朝鮮)	1940(昭和15)年	木版、紙	22.5×30.1	須坂版画美術館
159	深沢　素一	代々木風景(『HANGA』第一輯)	1925(大正14)年	木版、紙	22.3×24.6	宮城県美術館
160	深沢　素一	花瓶と花	1925(大正14)年	木版、紙	27.8×20.9	宮城県美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
161	山口　源	石垣いちご	1942(昭和17)年	木版、紙	42.0×69.6	
162	山口　源	蛍(『一木集』第一巻)	1943(昭和18)年	木版、紙	37.0×39.0	
163	谷中　安規	ムッテルショウス(『白と黒』第31号)	1933(昭和8)年	木版、紙、冊子	20.6×17.3	兵庫県立近代美術館
164	谷中　安規	春夜(『白と黒』第35号)	1933(昭和8)年	木版、紙、冊子	15.0×10.5	兵庫県立近代美術館
165	谷中　安規	一族の長(『白と黒』第41号)	1933(昭和8)年	木版、紙	17.0×22.5	
166	谷中　安規	蝶を吐く人(『白と黒』第41号)	1933(昭和8)年	木版、紙、冊子	15.8×20.0	兵庫県立近代美術館
167	谷中　安規	ドラゴンズドリーム	1939(昭和14)年頃	木版、紙	21.7×28.0	
168	大月　文一	おどる神輿	1925(大正14)年	木版、紙	29.9×18.7	和歌山県立近代美術館
169	大月　文一	朝鮮所見(『HANGA NO IE』第7輯)	1925(大正14)年	木版、紙	18.0×12.1	町田市立国際版画美術館
170	平川　清蔵	風景B	1926(大正15)年	木版	20.5×26.9	和歌山県立近代美術館
171	平川　清蔵	女とマンドリン	1926(昭和元)年	木版、紙	32.8×23.6	和歌山県立近代美術館
172	山口　進	異郷	1922(大正11)年	木版、紙	23.5×33.0	町田市立国際版画美術館
173	山口　進	静物	1926(昭和元)年	木版、紙	23.7×16.3	町田市立国際版画美術館
174	料治　熊太	印度更紗(『白と黒』第25号)	1932(昭和7)年	木版、紙、冊子	21.5×14.2	兵庫県立近代美術館
175	料治　熊太	鉢と朝顔	不詳	木版、紙	24.4×33.5	須坂版画美術館
176	旭　正秀	キリストとマリア	1923(大正12)年	木版、紙	32.0×24.0	和歌山県立近代美術館
177	旭　正秀	冬のエッフェル塔	1933(昭和8)年	木版、紙	24.1×16.0	和歌山県立近代美術館
178	亀井藤兵衛	キネマ女優十二時予告	1931(昭和6)年	木版、紙	27.3×10.4	
179	亀井藤兵衛	湯上り	1931(昭和6)年	木版、紙	21.0×14.9	
180	稲垣　知雄	関東大震災直後の如水館	1924(大正13)年	木版、紙	20.0×29.5	
181	稲垣　知雄	無線塔の見える風景	1925(大正14)年	木版、紙	12.1×17.1	
182	畦地梅太郎	橋のある風景	1929(昭和4)年	木版、紙	36.0×42.5	須坂版画美術館
183	畦地梅太郎	給油所	1935(昭和10)年	木版、紙	28.5×38.0	須坂版画美術館
184	徳力富吉郎	道頓堀の夜景(『新日本百景』大阪市)	1938(昭和13)年	木版、紙	22.5×30.0	須坂版画美術館
185	徳力富吉郎	静物	1943(昭和18)年	木版、紙	19.4×25.6	須坂版画美術館
186	棟方　志功	『版画集　星座の花嫁』				棟方志功記念館
-1		貴女等箒星を観る	1931(昭和6)年	木版、紙	15.4×16.5	
-2		聖堂に並ぶ三人貴女	1931(昭和6)年	木版、紙	8.8×19.5	
-3		貴女等聖堂を出づる	1931(昭和6)年	木版、紙	17.0×10.8	
-4		星座の絵	1931(昭和6)年	木版、紙	17.9×18.2	
-5		貴婦人と蝶々	1931(昭和6)年	木版、紙	9.7×12.8	
-6		花か蝶々か	1931(昭和6)年	木版、紙	21.3×21.5	
-7		貴女行路	1931(昭和6)年	木版、紙	12.0×16.0	
-8		ベチレヘムに聖星を観る	1931(昭和6)年	木版、紙	15.8×22.0	
-9		貴女裳を引く	1931(昭和6)年	木版、紙	19.2×25.6	
-10		蔵書票	1931(昭和6)年	木版、紙	6.2×8.6	
187	棟方　志功	『観音経版画巻(観音経曼荼羅)』				㈱日本民藝館
-1		本身の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-2		毘沙門の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-3		優婆塞の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-4		宰官女の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-5		婆羅門女の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-6		夜叉の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-7		魔睺羅の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
-8		執金剛の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	41.5×50.5	
188	勝平　得之	雪国の村里	1931(昭和6)年	木版、紙	28.5×37.2	北海道立近代美術館
189	勝平　得之	りんご	1940(昭和15)年	木版、紙	27.2×37.7	北海道立近代美術館
190	前田藤四郎	婦人帽子店	1930(昭和5)年	リノカット、紙	21.0×36.0	大阪府立現代美術センター
191	前田藤四郎	時計	1932(昭和7)年	リノカット、紙	27.3×35.0	和歌山県立近代美術館
192	関野準一郎	東京の窓「朝の太陽が」(『書窓版画十連聚』其五)	1942(昭和17)年	エッチング、紙、冊子	18.0×14.9	宮城県美術館
193	関野準一郎	東京の窓「東京の港へ」(『書窓版画十連聚』其五)	1942(昭和17)年	エッチング、紙、冊子	17.9×14.8	宮城県美術館
194	加藤　太郎	作品1	1936(昭和11)年頃	木版、紙	36.3×27.3	兵庫県立近代美術館
195	加藤　太郎	作品2	1938(昭和13)年頃	木版、紙	36.2×23.5	兵庫県立近代美術館
196	加藤　太郎	作品	1944(昭和19)年	木版、紙	26.0×17.2	
197	蓬田兵衛門	煙突	1930(昭和5)年頃	木版、紙	19.7×29.5	
198	蓬田兵衛門	水練場	昭和前期	木版、紙	21.3×29.8	和歌山県立近代美術館
199	蓬田兵衛門	東京近郊	昭和前期	木版、紙	22.5×30.2	和歌山県立近代美術館
200	武藤　完一	山羊	1932(昭和7)年頃	木版、紙	29.0×37.5	須坂版画美術館
201	武藤　完一	桟橋	不詳	木版、紙	21.2×27.5	須坂版画美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
202	柴　秀夫	青年	不詳	木版、紙	42.5×37.7	須坂版画美術館
203	柴　秀夫	横たわる男	不詳	木版、紙	19.0×31.7	須坂版画美術館
204	斎藤　清	郷の稚児	1938(昭和13)年	木版、紙	36.0×27.8	福島県立美術館
205	斎藤　清	少女	1938(昭和13)年	木版、紙	62.4×47.9	福島県立美術館
206	斎藤　清	鏡	1938(昭和13)年頃	木版、紙	26.4×16.5	福島県立美術館
207	斎藤　清	少女	1938(昭和13)年頃	木版、紙	35.5×28.7	福島県立美術館
208	武藤　六郎	清洲橋	1932(昭和７)年	木版、紙	21.0×30.0	北海道立近代美術館
209	武藤　六郎	永代橋	不詳	木版、紙	23.3×31.2	北海道立近代美術館
210	小野　忠重	病院待合室	1933(昭和８)年頃	木版、紙	32.5×23.0	神奈川県立近代美術館
211	小野　忠重	街角	1937(昭和12)年	木版、紙	49.5×61.5	神奈川県立近代美術館
212	宇治山哲平	秋酣	1935(昭和10)年	木版、紙	26.2×33.1	須坂版画美術館
213	宇治山哲平	裸木と山	1936(昭和11)年	木版、紙	36.0×48.5	和歌山県立近代美術館
214	藤牧　義夫	給油所	1933(昭和８)年	木版、紙	42.8×61.4	館林市資料館
215	藤牧　義夫	小品３種				
		「作品１」	1933(昭和８)年	木版、紙	6.0×5.5	
		「作品２」	1933(昭和８)年	木版、紙	4.5×5.3	
		「作品３」	1933(昭和８)年	木版、紙	4.3×5.4	
216	藤牧　義夫	鉄の橋(『新版画』第10号)	1933(昭和８)年	木版、紙	16.5×18.5	
217	藤牧　義夫	鉄	不詳	木版、紙	26.5×29.6	
218	藤牧　義夫	赤陽	1934(昭和９)年	木版、紙	48.0×26.2	東京国立近代美術館
219	水船　六洲	裸婦	昭和初期	木版、紙	19.7×28.2	和歌山県立近代美術館
220	清水　正博	橋	昭和前期	木版、紙	25.5×37.1	和歌山県立近代美術館
221	清水　正博	酒場	昭和前期	木版、紙	32.3×45.3	和歌山県立近代美術館

＊　寸法は縦×横



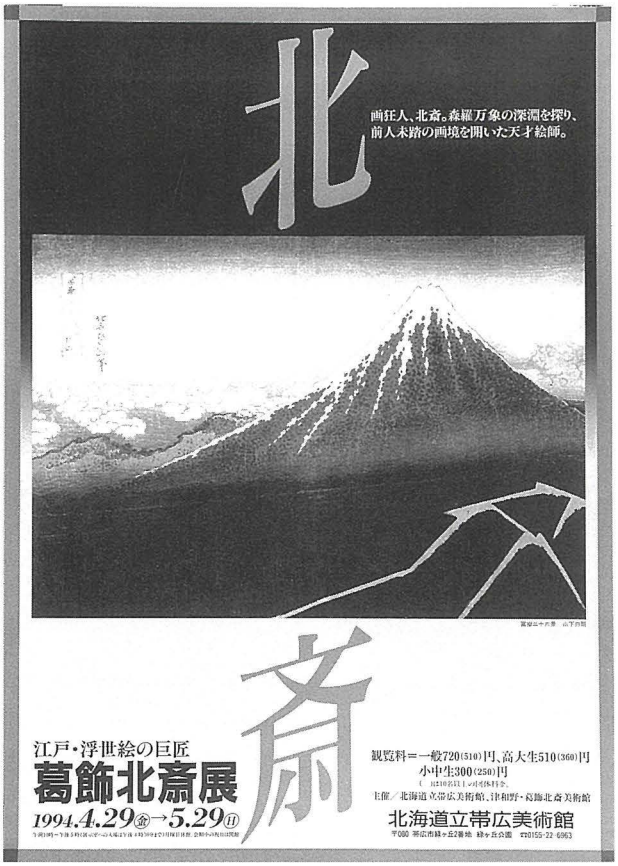
川上澄生「春の伏兵」



棟方志功『観音経版画巻』より「夜叉の柵」

江戸・浮世絵の巨匠　葛飾北斎展

会期＝平成6年4月29日(金)―5月29日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、津和野・葛飾北斎美術館



ポスター

関連事業

美術講演会
「葛飾北斎――その人と芸術」
講師＝永田生慈氏（津和野・葛飾北斎美術館長）
日時＝5月14日(土)　午後2時～3時30分
会場＝当館講堂

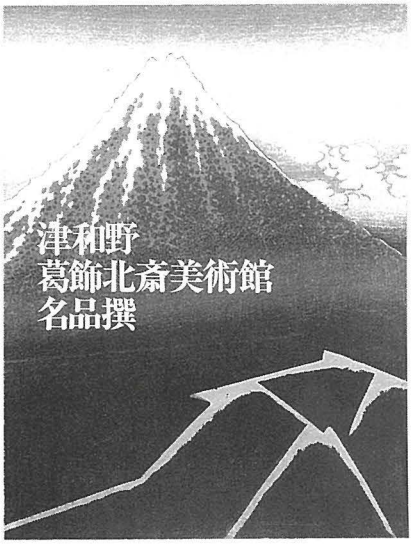
特別展セミナー
「江戸・浮世絵芸術の精華」
講師＝光岡幸治（当館学芸員）
日時＝5月7日(土)、5月21日(土)　午後2時～3時
会場＝当館講堂

土曜映写室
「冨嶽三十六景」「東海道五十三次」
日時＝4月30日(土)、5月28日(土)　午後2時～3時
会場＝当館講堂

江戸末期に活躍した浮世絵師・葛飾北斎（1760～1849）は、90歳で没するまでの長い画業を通して、常に作風を変えながら肉筆画、浮世絵版画、版本などさまざまな分野にすぐれた作品を数多く残した。中でも洋風版画、「冨嶽三十六景」などの風景画、「北斎漫画」などの絵本、肉筆画などには優品が数多い。その卓抜な構想と生気あふれる表現は多くの絵師に多大な感化を与えるとともに、また、ヨーロッパの印象派などその後の美術に少なからぬ影響を及ぼしたことでも知られている。

本展は、島根県津和野町の葛飾北斎美術館所蔵の肉筆画、摺物、版画、版本のほか、北斎の門人の作品および資料も加えた114点の作品により、日本の美術に独自の画境を示した巨匠・北斎の偉大な画業を紹介したものである。

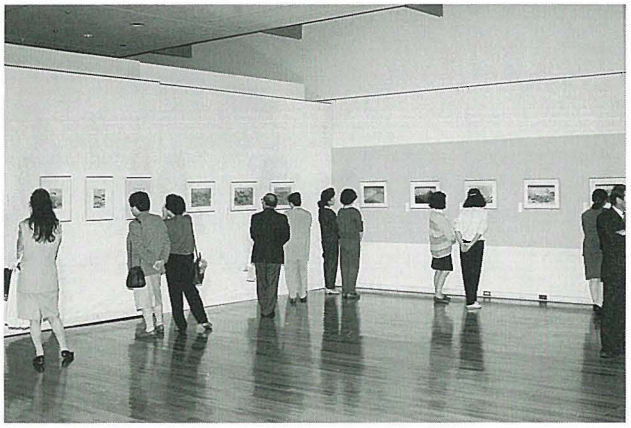
よく知られた「富嶽三十六景・凱風快晴」「富嶽三十六景・山下白雨」など版画の名品のほか、「婦女風俗図」「新造図」「赤壁の曹操図」などの肉筆画に大きな関心が集まり、会期中の観覧者総数は10,690人を数えた。道東地域で初めて開催された浮世絵作家の個展として市内外からの反響も大きく、プリントアートを柱とする当館にとって、意義深い展覧会となった。



図録



会場風景



会場風景

出品目録

肉筆画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
1	葛飾　北斎	婦女風俗図		紙本二幅	(右)107.0×52.5(左)106.8×52.7
2	葛飾　北斎	布袋図		紙本扇面一枚	16.7×47.8
3	葛飾　北斎	新造図		紙本一幅	98.2×27.0
4	葛飾　北斎	福助図		紙本一幅	26.3×42.6
5	葛飾　北斎	東方朔と美人図		紙本一幅	37.2×37.8
6	葛飾　北斎	二股大根と大黒図		紙本一幅	58.4×25.0
7	葛飾　北斎	江口の君図		絹本一面	26.9×21.4
8	葛飾　北斎	猿図		紙本一幅	37.4×25.0
9	葛飾　北斎	花魁図（画稿）		紙本一幅	114.2×54.0
10	葛飾　北斎	牧童図		紙本一幅	21.1×29.5
11	葛飾　北斎	雀とはさみ図		紙本一幅	25.0×29.8
12	葛飾　北斎	月みる虎図		紙本一幅	96.2×29.0
13	葛飾　北斎	赤壁の曹操図		絹本一幅	115.0×34.2

摺　物

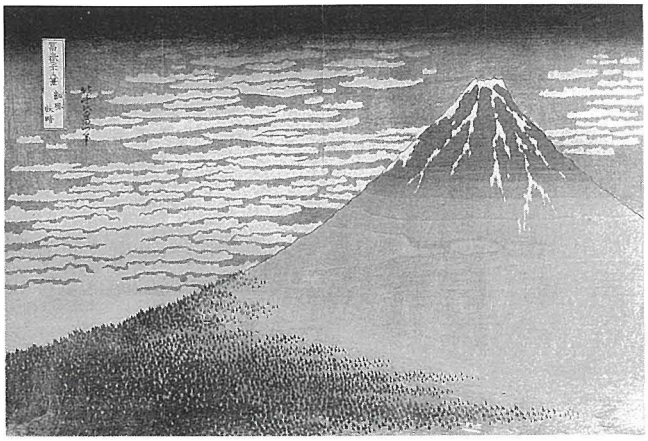
No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
14	葛飾　北斎	元結造り図	寛政 8 (1796)年	一枚	18.9×18.0
15	葛飾　北斎	亀図	寛政10(1798)年	一枚	17.8×16.3
16	葛飾　北斎	見立所作事尽図	享和～文化初年頃	一枚	22.3×58.0
17	葛飾　北斎	山吹に桜図	文化 2 (1805)年	一枚	21.5×57.0
18	葛飾　北斎	東海道　戸塚･平塚･吉原･江尻･府中･金谷･日坂･白須賀･鳴海		九枚	各約12.6×17.2
19	葛飾　北斎	鏡美人図	文化中期頃	二枚	各約20.3×7.1
20	葛飾　北斎	人形図	文化中期頃	一枚	19.8×51.0
21	葛飾　北斎	子供遊び図	文化中期頃	一枚	38.5×53.2
22	葛飾　北斎	西王母図	文化 3 (1806)年	一枚	19.3×27.4
23	葛飾　北斎	寿老人図	文化13(1816)年	一枚	38.3×52.0
24	葛飾　北斎	駒鳥図	文政 5 (1822)年	一枚	21.0×18.6
25	葛飾　北斎	馬尽　相馬焼	文政 5 (1822)年	一枚	20.6×18.9
26	葛飾　北斎	馬尽　轡町	文政 5 (1822)年	一枚	20.8×18.2

浮世絵版画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
27	葛飾　北斎	市川ゑび蔵かけきよ図	寛政４(1792)年	細判一枚	
28	葛飾　北斎	新板浮絵両国喬夕涼花火見物之図		大判一枚	
29	葛飾　北斎	江都両国橋夕涼花火之図		大判一枚	
30	葛飾　北斎	新板浮絵金龍山二王門之図		大判一枚	
31	葛飾　北斎	浮絵一ノ谷合戦坂落之図		大判一枚	
32	葛飾　北斎	五月の部　三番叟の所作だて		中判一枚	
33	葛飾　北斎	九月　じとうのおとりやたい		中判一枚	
34	葛飾　北斎	風流見立狂言　すゑ広		中判一枚	
35	葛飾　北斎	王子		大判一枚	
36	葛飾　北斎	今戸川		大判一枚	
37	葛飾　北斎	磯通		大判一枚	
38	葛飾　北斎	渡し舟図			16.5×30.5
39	葛飾　北斎	新板浮絵忠臣蔵		間判十一枚揃	
40	葛飾　北斎	新板浮絵神田明神御茶の水ノ図		大判一枚	
41	葛飾　北斎	新板浮絵亀井戸天満宮之図		大判一枚	
42	葛飾　北斎	新板浮絵日本橋肴市繁昌之図		大判一枚	
43	葛飾　北斎	風流東都八景　品川の帰帆・上野の晩鐘		中判二枚	
44	葛飾　北斎	新板近江八景　矢橋の帰帆・瀬田の夕照		中判二枚	
45	葛飾　北斎	東海道　袋井・舞坂・亀山		中判三枚	
46	葛飾　北斎	しん坂くミあけとふろふゆやしんミセのづ		大判五枚揃	
47	葛飾　北斎	風流源氏うたかるた		大判四枚揃	
48	葛飾　北斎	かなてほんちうしんくら　六段目ミうり		中判一枚	
49	葛飾　北斎	ゴゼ図		中判一枚	
50	葛飾　北斎	冨嶽三十六景　凱風快晴		大判一枚	
51	葛飾　北斎	冨嶽三十六景　神奈川沖浪裏		大判一枚	
52	葛飾　北斎	冨嶽三十六景　山下白雨		大判一枚	
53	葛飾　北斎	冨嶽三十六景　下目黒		大判一枚	
54	葛飾　北斎	冨嶽三十六景　青山円座峠		大判一枚	
55	葛飾　北斎	諸国瀧廻り　和州吉野義経馬洗滝		大判一枚	
56	葛飾　北斎	琉球八景　長虹秋霽		大判一枚	
57	葛飾　北斎	文鳥　辛夷花		中判一枚	
58	葛飾　北斎	下手の毬図		中判一枚	
59	葛飾　北斎	孟宗図		中判一枚	
60	葛飾　北斎	百物語　しうねん		中判一枚	
61	葛飾　北斎	百人一首うはかゑとき　僧正遍照		大判一枚	
62	葛飾　北斎	唐土名所之絵	天保11(1840)年	大々判一枚	



葛飾北斎「江口の君図」



葛飾北斎「冨嶽三十六景　凱風快晴」

版本＜狂歌絵本＞

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
63	葛飾　北斎	春興帖		大本一冊	
64	葛飾　北斎	東遊	寛政11(1799)年刊	大本一冊	
65	葛飾　北斎	画本東都遊	享和 2 (1802)年刊	大本三冊	
66	葛飾　北斎	春の戯うた		横中本一冊	
67	葛飾　北斎	潮来絶句集	享和 2 (1802)年刊か	中本二冊	
68	葛飾　北斎	画本狂歌　山満多山	享和 4 (1804)年刊	大本三冊	
69	葛飾　北斎	東都勝景一覧		大本二冊	
70	葛飾　北斎	絵本隈田川　両岸一覧		大本三冊	
71	葛飾　北斎	女一代栄花集	天保 2 (1831)年刊	半紙本一冊	

版本＜読本＞

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
72	葛飾　北斎	椿説弓張月　前・後編	文化 4・5 (1807･08)年刊	半紙本十二冊	
73	葛飾　北斎	国字鵺物語	文化 5 (1808)年刊	半紙本五冊	
74	葛飾　北斎	忠孝潮来府志	文化 6 (1809)年刊	半紙本五冊	
75	葛飾　北斎	山桝太夫栄枯物語	文化 6 (1809)年刊	半紙本五冊	

版本＜絵本・絵手本＞

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
76	葛飾　北斎	北斎写真画譜	文化11(1814)年刊か	大本一帖	
77	葛飾　北斎	北斎漫画　初･二･五･七･八･九･十一･十二･十四編		半紙本九冊	
78	葛飾　北斎	北斎画式	文政 2 (1819)年刊	大本一冊	
79	葛飾　北斎	良美灑筆	文政 3 (1820)年刊か	大本一冊	
80	葛飾　北斎	冨嶽百景	天保 5 (1834)年より刊	半紙本三冊	
81	葛飾　北斎	北斎画苑　初編	天保14(1843)年刊	半紙本一冊	

版本＜その他版本＞

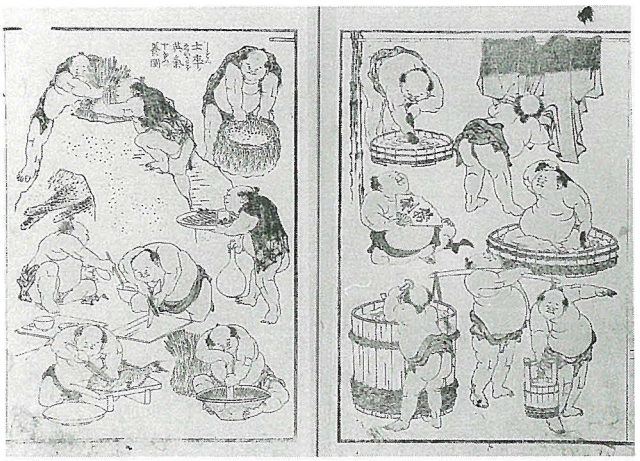
No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
82	葛飾　北斎	書名不明	文政11(1828)年刊	中本一冊	
83	葛飾　北斎	花吹雪縁栅	天保 3 (1832)年刊	中本四冊	
84	葛飾　北斎	出世奴小万之伝	天保 4 (1833)年刊	中本二冊	

府川家資料

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
85		百人一首乳母かゑとき　光孝天皇		板下絵一枚	15.9×27.0
86		百人一首姥か衛登喜　壬生忠見		板下絵一枚	16.0×27.2
87		五返舎半九宛北斎書簡		一通	14.5×25.2
88		府川北嶺宛葛飾北斎死亡通知（葛飾栄書）		一通	14.9×21.8
89		府川一則筆画帖		紙本一帖	



葛飾北斎「文鳥　辛夷花」



葛飾北斎「北斎漫画　九編」

資　料

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
90		嵩山房宛北斎受取証		一枚	22.9×15.4
91		北斎画料受取証（宛名不明）		一通	26.8×4.9
92		扇と桜花（校合摺及び下絵）		一枚	20.7×26.0

門人肉筆画

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
93	二代葛飾戴斗	虎図		絹本一幅	34.5×55.0
94	魚屋　北溪	鮭とねずみ図		絹本一幅	29.0×21.4
95	魚屋　北溪	鷲図		紙本一幅	22.5×48.8
96	蹄斎　北馬	ほととぎすを見返る芸妓図		絹本一幅	103.3×41.5
97	蹄斎　北馬	芥子図		紙本扇一本	14.5×43.5
98	柳々居辰斎	柳図		紙本扇一本	16.5×45.8
99	二代目葛飾北斎	万歳図		絹本一幅	98.8×35.6
100	北亭　為直	関羽図		紙本一幅	122.0×58.7
101	北亭　如連	美人聞香図		紙本一幅	66.4×31.0
102	大山　北季	花魁図		紙本一幅	66.6×20.9
103	抱亭　五清	六歌仙図		絹本一幅	49.3×63.4
104	高井　鴻山	妖怪図		紙本一幅	162.0×95.8

門人摺物

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
105	魚屋　北溪	梅に鶯		一枚	13.5×27.0
106	蹄亭　秋鯉	屠蘇図		一枚	17.6×17.4

門人浮世絵版画

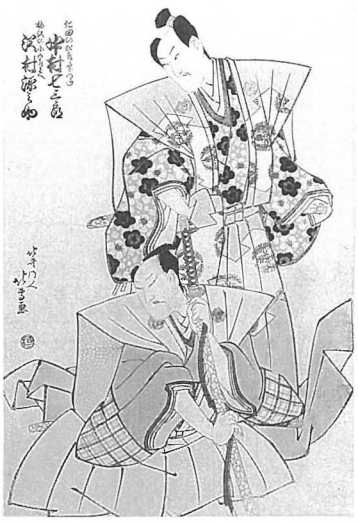
No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
107	葛飾　北専	中村七三郎　沢村源之助		大判一枚	
108	清水　為斎	英勇誉絵説　熊谷次郎直実		大判一枚	
109	清水　為斎	英勇誉絵説　平山武者季重		大判一枚	
110	かつしか北洋	新町中折屋　花月太夫		大判一枚	

門人版本

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
111	葛飾　応為	女重宝記	弘化４(1847)年刊	大本一冊	
112	岳亭　春信	一老画譜		半紙本一冊	
113	魚屋　北溪他	十符のすがごも	天保７(1836)年刊	半紙本一冊	
114	市川　甘斎	葛飾真艸画譜	明治23(1890)年刊	大本二帖	

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべて津和野・葛飾北斎美術館蔵


魚屋北溪「鮭とねずみ図」


葛飾北専「中村七三郎　沢村源之助」

描かれた世紀末ファッション　麗しの女性たち展　ルノワール、ティソ、サージェント…

会期＝平成6年6月4日(土)－7月10日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

後援＝外務省、文化庁、アメリカ大使館、フランス大使館
協力＝日本航空



ポスター

関連事業

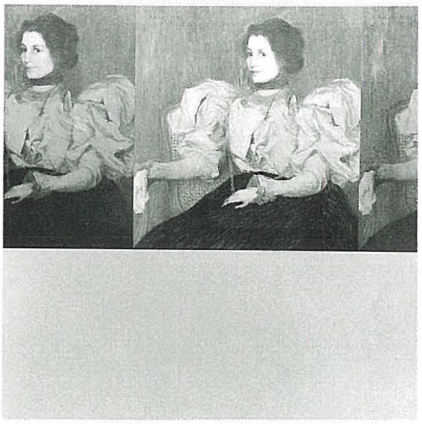
特別展セミナー
「美の花嫁 ── 描かれた女性たち」
講師＝寺嶋弘道（当館学芸課長）
日時＝６月11日(土)、７月９日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

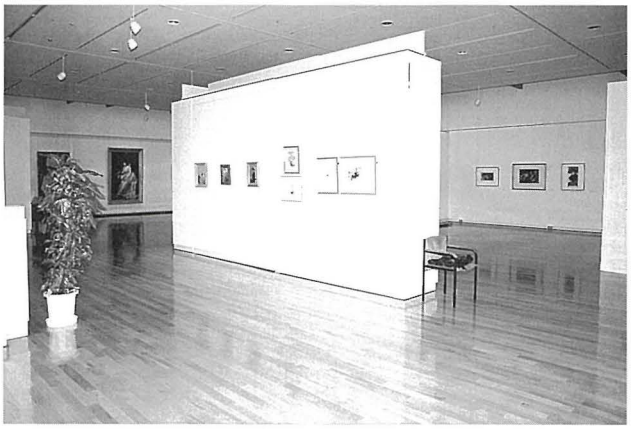
土曜映写室
「近代彫刻の展開」「広がるアール・ヌーヴォー」（６月４日）
「色彩の探求」「楽園への夢」（６月18日）
「美の革命」「二十世紀へのかけ橋」（７月２日）
日時＝６月４日(土)、６月18日(土)、７月２日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

1880年代から第一次大戦が終結する1919年頃までの時代を、西欧では「ベル・エポック（よき時代）」と呼んでいる。この時代は産業や資本主義が飛躍的に発展を遂げ、大量生産による消費社会を誕生させ、今日の私たちの生活様式を準備した時期にあたる。

女性の社会進出がめざましくなるのもこの時代で、流行のファッションに身をつつんだ女性たちが街や郊外にあふれ、レジャーや外国旅行を楽しむようになった。そうした女性たちのモードやライフスタイルは、当時の画家たちの格好の題材となり、肖像画や風俗画など多くの作品に女性が登場するようになった。

本展では、主にフランスやアメリカの画家たちの作品に焦点をあて、美術の世界で新たな主題となったベル・エポック期の女性像が56作家の作品85点により紹介された。会期中、7,985人の観覧者があり、華やかな時代を生きた女性たちの姿に魅了されていた。


図録



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	オーギュスト・トゥールムーシュ	少女と薔薇	1879年	油彩、キャンバス	62.2×45	S&F・クラーク美術研究所
2	アンリ・ソム	女と鯉	不詳	ドライポイント(第5版)	31.5×45.6	個人蔵
3	メアリー・カサット	オペラ・ボックスIII(劇場にて)	1880年	エッチング、ドライポイント	35.5×27	ミネアポリス美術研究所
4	ジェームス・ティソ	冬の散歩	1880年	エッチング、ドライポイント	61.8×44	ミネアポリス美術研究所
5	ジェームス・ティソ	夏の夕暮れ	1881年	エッチング、ドライポイント(第2版)	36.4×55.8	ミネアポリス美術研究所
6	ウィリアム・メリット・チェイス	中国風のローブ(部屋着)を着けた女	1881年	油彩、キャンバス	49.2×39.1	モンゴメリー美術館
7	アルベール・ベナール	赤い着物を着たトランタム夫人	1881年	油彩、パネル	74×35	リュシル・オドゥイ
8	ジェームス・ティソ	公園のベンチ	1883年	メゾチント	56.1×77	ミネアポリス美術研究所
9	ジャン・ベロー	海岸のカフェ	1884年	油彩、キャンバス	55×33.5	S&F・クラーク美術研究所
10	マルセラン=ジルベール・デブータン	アルドンス・トリーブ婦人の肖像	1885年	油彩、キャンバス	50×36	ニース美術館
11	ノルベール・グヌット	窓の前の画家の妹	1886年	油彩、キャンバス	114×70	プティ・パレ美術館
12	ジュリアン・オールデン・ウイア	ミニチュア(アンナ・ベイカー・ウイアの肖像)	1888年	油彩、キャンバス	59.5×48.6	ヘクシャー美術館
13	エミール・フリアン	セムール夫人	1889年	油彩、パネル	28.5×18.7	S&F・クラーク美術研究所
14	ジェームス・ティソ	回復期の病人(ニュートン夫人)	1881-82年	油彩、キャンバス	90.2×68.3	マルタン男爵美術館
15	アンリ・ソム	魚釣りをする女	1882年頃	エッチング	22.8×25.3	個人蔵
16	アンリ・ソム	綱渡りの綱	1885年頃	インク素描	19.2×27.2	個人蔵
17	ポール=セザール・エリュ	フラッドベリーのジョン・シンガー・サージェントの家のエリュ夫人	1889年頃	油彩、キャンバス	54×73	リチャード・グリーン
18	アンリ・ソム	レッスン	1889年頃	インク素描	25.5×20	個人蔵
19	アルベール・ベナール	絵を描くシャルロット	1889年頃	油彩、キャンバス	37×26	リュシル・オドゥイ
20	エルネスト=アンジュ・デュエ	田舎へのお出かけ	1880年頃	水彩	50×53	リュシル・オドゥイ
21	アンリ・ジェルヴェクス	花市の女たち	1880年代	油彩、キャンバス	81×60	リュシル・オドゥイ
22	エルネスト=アンジュ・デュエ	海岸にて	1880年代	リトグラフ	50×55	リュシル・オドゥイ
23	エルネスト=アンジュ・デュエ	アトリエにて	不詳	パステル	59×47	リュシル・オドゥイ
24	エルネスト=アンジュ・デュエ	海岸の岩のうえで	不詳	油彩、キャンバス	49.5×72.4	ギュンター&スーザン・ウォルター
25	ジャック=エミール・ブランシュ	エウヘニア・ユイシ・デ・エラズリス夫人	1890年	パステル、紙	163.8×97.8	個人蔵
26	アルベール・オーブレ	扇を持つ女	1890年	油彩、キャンバス	25×15	ニース美術館
27	ロバート・ヘンライ	ピンクの服を着た浜辺の女	1893年	油彩、キャンバス	45.8×61	ハンター美術館
28	ウイリアム・メリット・チェイス	ある婦人の肖像	1893年	油彩、キャンバス	43.8×53.6	スパニアマン画廊
29	ルイ・ロジェ	ヴェネツィアの女	1895年	油彩、キャンバス	104×60	シェレ美術館
30	フランク・ベンソン	秋と春	1895年	油彩、キャンバス	75.5×132.5	ロード・アイランド・デザイン学校
31	ピエール・オーギュスト・ルノワール	レースの帽子を被った少女	1891年頃	油彩、キャンバス	55×45	個人蔵
32	ピエール・オーギュスト・ルノワール	ピンで留めた帽子	1898年	カラー・リトグラフ(第2版)	75.5×62.7	ミネアポリス美術研究所
33	ジョン・シンガー・サージェント	灯火(カミンズ・カー夫人)	1890年代	油彩、キャンバス	64.4×50.7	J.B.スピード美術館
34	トマス・ウィルマー・デューイング	青い服の女性(ミニー・クラーク嬢の肖像)	1892年頃	油彩、キャンバス	50.1×42.8	ミシガン大学美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
35	アルベール・オーブレ	一日の終わり,ドーヴィルにて	1892年頃	油彩、キャンバス	35×27.5	アレクサンドル・ド・ボデュリ・パトリ伯
36	メアリー・カサット	バンジョーの練習	1893年頃	ドライポイント	39.4×25.3	ミネアポリス美術研究所
37	アボット・ハンダーソン・セア	花嫁	1895年頃	油彩、キャンバス	53.3×43.4	アメリカ美術博物館 (スミソニアン・インスティテュート)
38	ベンジャマン・コンスタン	シェーニング男爵夫人	1890-95年	油彩、キャンバス	82×70	ニース美術館
39	エドモン=フランソワ・アマン=ジャン	B夫人の肖像	1896年頃	油彩、キャンバス	92.5×84	リュシル・オドゥイ
40	アルベール・ベナール	椿姫(a)(b)	1896年頃	グワッシュ、水彩	37×26	リュシル・オドゥイ
41	アントニオ・デ・ラ・ガンダラ	レースの袖飾り	1890年頃	パステル	62×47	リュシル・オドゥイ
42	マドレーヌ・ルメール	ドゥフォルジュ夫人	不詳	油彩、キャンバス	189×112	ニース美術館
43	ポール=セザール・エリュ	ダンスの後のエリュ夫人	不詳	チョーク素描	67×54	リチャード・グリーン
44a	ポール=セザール・エリュ	黒い衣装を着けてソファに座るエリュ夫人	1888年頃	ドライポイント	28×19	ジェーン・アブディ
44b	ポール=セザール・エリュ	黒い首輪式カラーを着けた美しい髪の婦人	1900年頃	ドライポイント	28×24	ジェーン・アブディ
44c	ポール=セザール・エリュ	ルイ15世様式のベットで休む少女	1900年頃	ドライポイント	32×42	ジェーン・アブディ
44d	ポール=セザール・エリュ	ヴェルサイユ宮でパラソルをもつエリュ婦人	1905年頃	ドライポイント	31×25	ジェーン・アブディ
44e	ポール=セザール・エリュ	ルイ15世様式のソファで横たわる女	1905年頃	ドライポイント	29×32	ジェーン・アブディ
44f	ポール=セザール・エリュ	毛皮のフードを被った美しい女	不詳	ドライポイント	53.3×33	ジーン・ケリー夫人
45	ポール=イポリト・フランドラン	小さい彫刻	1900年	油彩、キャンバス	62×52	シェレ美術館
46	フランク・ベンソン	ベンジャミン・ソー夫人と 息子アレクサンダー・ブレア・ソー3世	1900年	油彩、キャンバス	153.8×101.3	ベリー・ヒル画廊
47	エドマンド・チャールズ・ターベル	ホレイショ・ネルソン・スレイター夫人とその子供たち	1901年	油彩、キャンバス	229.8×177.6	ベリー・ヒル画廊
48	エドモン=フランソワ・アマン=ジャン	打ち明け話	1930年	油彩、キャンバス	276.9×162.2	個人蔵
49	アンリ・ジェルヴェクス	メゾン・パキンの5時	1906年	油彩、キャンバス	113×172.5	イヴォ・ボウマン
50	エドガー・シャイーヌ	ビアンカ	1907年	ドライポイント	46.4×33	個人蔵
51	テオバル・シャルトラン	ジュリア・ジロードン・カーンの肖像(アンリ・カーン夫人)	1907年	油彩、キャンバス	95×60	ニース美術館
52	ロバート・リード	帽子の女	1900年頃	油彩、キャンバス	92×76	クライスラー美術館
53	ウォルター・マキューアン	1810年の美人	1900-01年頃	油彩、キャンバス	189.2×85.9	テルフェア・アカデミー
54	ジャン=フランソワ・ラファエリ	花嫁に付き添う少女	1901年頃	油彩、キャンバス	251.5×115.2	テルフェア・アカデミー
55	フランソワ・フラマン	婦人洋装店にて	1900-05年頃	油彩、キャンバス	67×54.5	ジェーン・アブディ
56	フレドリック・ウォレン・フリア	海辺の婦人	不詳	油彩、キャンバス	101.8×77.8	モンゴメリー美術館
57	フレドリック・ウォレン・フリア	ハンモック	不詳	油彩、キャンバス	56.2×69.2	モンゴメリー美術館
58	フレドリック・ウォレン・フリア	青い服の婦人	不詳	油彩、キャンバス	43.9×53.3	モンゴメリー美術館
59	スーサン・ワトキンズ・サーベル	黄色い服の婦人(エリナー・リーヴズ)	1905年頃	油彩、キャンバス	113×90	クライスラー美術館
60	ルイ・ルグラン	画家とモデル	1905年頃	パステル	70×93	プティ・パレ美術館



ティソ「回復期の病人（ニュートン夫人)」



ルノワール「レースの帽子を被った少女」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
61	アントニオ・デ・ラ・ガンダラ	アメリカ人画家ロメーヌ・ブルックスの肖像	1905年頃	油彩、キャンバス	230×144	リュシル・オドゥイ
62	マドレーヌ・カルバンティエ	白い服の若い女性	1907年頃	油彩、キャンバス	86×72	カストゥル美術館
63	ロバート・リード	白いパラソル	1907年頃	油彩、キャンバス	91.4×76.2	アメリカ美術博物館(スミソニアン・インスティテュート)
64	ギュスタヴ=アドルフ・モッサ	ソファの女(画家の最初の妻シャルロット=アンドレ・ノーダン)	1908年頃	油彩、キャンバス	97.5×113	ニース美術館
65	アントニオ・デ・ラ・ガンダラ	マリー=テレーズ・ピエラの肖像(画家の妻)	1908年頃	油彩、キャンバス	193.7×97	シックマン画廊
66	ルイ・ルグラン	D(ドレフュス)夫人	1909年頃	油彩、キャンバス	65×50	プティ・パレ美術館
67	アルフレッド=フィリップ・ロル	散歩	1910年以前	油彩、キャンバス	61×46	カストゥル美術館
68	ルイ・ルグラン	散歩する夫妻	1910年頃	油彩、キャンバス	100×71	プティ・パレ美術館
69	ロバート・リード	鏡	1910年頃	油彩、キャンバス	94.9×77	アメリカ美術博物館(スミソニアン・インスティテュート)
70	ガストン・ラ・トゥーシュ	電話	1910年頃	油彩、パネル	78×57	ジェーン・アブディ
71	ヘンリー・セイラム・ハベル	木陰	1900-10年頃	油、板に貼ったキャンバス	58.4×41.9	スパニアマン画廊
72a	エドガー・シャイーヌ	アメリカン・バー	1900年	ドライポイント	41×29	ジョージ・ブレディ
72b	エドガー・シャイーヌ	羽毛の襟巻(アダ・ヴィセンティーニ)	1902年	ドライポイント	42×27.5	ジョージ・ブレディ
72c	エドガー・シャイーヌ	日除け(カプリン)帽	1903年	ドライポイント	34.7×25.3	ジョージ・ブレディ
72d	エドガー・シャイーヌ	エルヴィア	1905年	ドライポイント	36.6×50	ジョージ・ブレディ
72e	エドガー・シャイーヌ	ジャヌ・アヴリル	1907年	ドライポイント	54.8×43.9	ジョージ・ブレディ
73	セシリア・ボー	画家の従姉妹	不詳	木炭	49.4×34.2	メアリー・ストロート
74	ルイ・ルグラン	劇場の二人	1910年	油彩、キャンバス	73×100	プティ・パレ美術館
75	ピエール=オーギュスト・ルノワール	ガブリエル	1910年	油彩、キャンバス	23×20	プティ・パレ美術館
76	マニュエル・ロブ	モデル	1906年頃	アクアティント、ドライポイント	49.5×33	ジーン・ケリー夫人
77	フェリックス・ヴァロットン	見繕い	1911年	油彩、キャンバス	81×116	プティ・パレ美術館
78	セシリア・ボー	アディソン・クレイ・ハリスの肖像	1917年	油彩、キャンバス	39.5×105.3	インディアナポリス美術館
79	フレドリック・カール・フリーザク	肘かけ椅子に座る女	1910年頃	油彩、キャンバス	50.8×63.5	スパニアマン画廊
80	チャールズ・W・ホーソーン	少女と花瓶	1910年頃	油彩、キャンバス	76.2×63.5	スパニアマン画廊
81	エミール・フリアン	若い女性の肖像	1920年頃	油彩、パネル	43×29.8	J.P.スピード美術館
82	ルイス・リットマン	早朝の陽	1910年代	油彩、キャンバス	91.3×74.2	スパニアマン画廊
83	ウィリアム・マクレガー・パクストン	手鏡を持つ少女	1915年頃	油彩、キャンバス	63.5×76.2	リーディング美術館
84	フレドリック・カール・フリーザク	化粧台の女	1919年頃	油彩、キャンバス	101.6×101.6	クライスラー美術館
85	ウィリアム・マクレガー・パクストン	最後の一瞥	不詳(推定1924年)	油彩、キャンバス	46.9×39.3	スパニアマン画廊

＊　寸法は縦×横



フリア「青い服の婦人」



パクストン「手鏡を持つ少女」

近代版画の革命　ドイツ表現主義の版画展

会期＝平成6年7月16日(土)－8月14日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝花王株式会社

関連事業

美術講演会

「ドイツ表現主義における生命の形――世紀末の自然科学と芸術」

講師＝前田富士男氏（慶応義塾大学教授）

日時＝８月６日(土)　午後２時～３時30分

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「偉大なる精神の王国へ――青い騎手（ブラウエ・ライター）の木版画」

講師＝佐藤幸宏（当館学芸員）

日時＝７月30日(土)、８月13日(土)　午後２時～３時

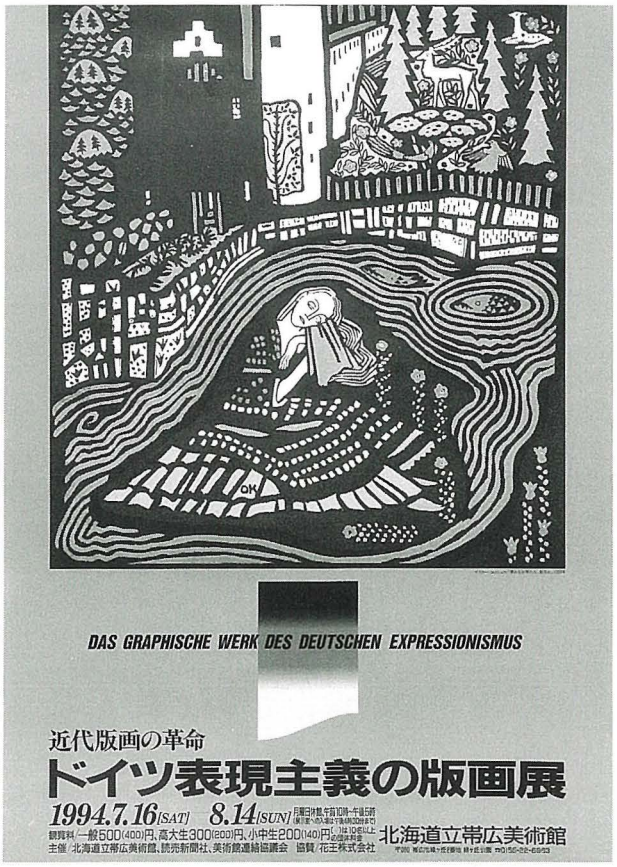
会場＝当館講堂

土曜映写室

「カンディンスキー　形態から精神へ」

日時＝７月23日(土)　午後２時～３時

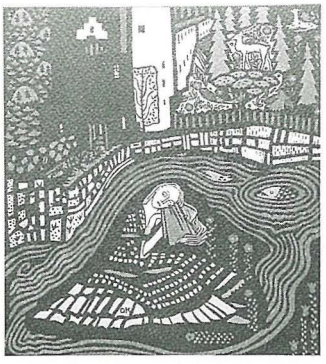
会場＝当館講堂



ポスター

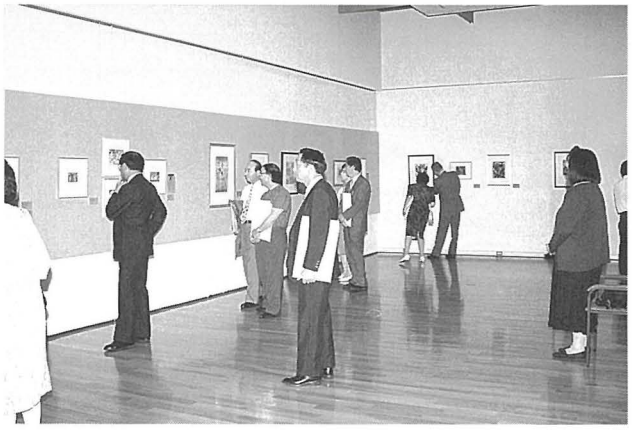
20世紀初頭、ドイツを中心に起こった表現主義の運動は、美術だけでなく文学、音楽、演劇、映画など、さまざまなジャンルで広く展開した芸術運動である。内面の表現を重んじ、人間の本質に鋭いまなざしを向けたその芸術は、今世紀の美術の流れにも大きな影響を与えた。特に版画では、長い間忘れられていた木版画を復活させ、中世美術や原始美術を思わせる素朴で力強い表現を生み出すなど、新しい表現を切り開いた。

本展は、「ブリュッケ（橋）」や「ブラウエ・ライター（青い騎手）」など第一次大戦前の代表的芸術家グループから、戦争の悲劇や敗戦後の社会の矛盾を告発した「ノイエ・ザッハリッヒカイト（新即物主義）」など戦後の画家たちにいたる29作家176点の作品により、ヨーロッパ版画史上一時代を画したこのドイツ表現主義の版画芸術を紹介したものである。出品作品はすべて日本国内のコレクションから選ばれ、そのなかには第二次世界大戦前に日本に将来された歴史的作品も含まれるなど、日本と表現主義との浅からぬ関係をも示す興味深い展観となった。会期中3,776人の観覧者があり、これまでまとまって紹介される機会の少なかったドイツ表現主義の版画芸術に触れる絶好の機会となった。





図録



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	オットー・ミューラー	自画像	1921-22年	リトグラフ、紙	39.3×30.0	三重県立美術館
2	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	三婦人	1907年	木版、紙	36.5×33.8	三重県立美術館
3	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	カール・シュテルンハイムの肖像	1916年	リトグラフ、紙	31.0×20.8	宮城県美術館
4	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ドルリー	1917年	木版、紙	51.0×40.5	新潟県立近代美術館
5	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	アブサロムとその忠告者	1918年	木版、紙	43.0×39.0	新潟県立近代美術館
6	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ダーヴィト・ミューラーの肖像	1919年	木版、紙	34.0×29.4	宮城県美術館
7	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	脱穀する人	1922年	木版、紙	49.3×64.0	町田市立国際版画美術館
8	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	『影のいのち』(ゲオルク・ハイム著)	1924年	木版、紙、挿絵本	22.9×15.5	京都国立近代美術館
9	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	『エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナーの素描』(ヴィル・グローマン著)	1925年	木版、紙、挿絵本	26.7×21.5	宮城県美術館
10	マックス・ペヒシュタイン	祭日の焼肉を射る	1911年	木版、水彩、紙	22.5×26.0	個人蔵
11	マックス・ペヒシュタイン	水浴する人々	1912年	木版、紙	19.8×22.4	個人蔵
12	マックス・ペヒシュタイン	三美神	不詳	エッチング、紙	25.2×25.5	個人蔵
13	マックス・ペヒシュタイン	女の頭部	1917年	リトグラフ、紙	35.0×40.0	秀友画廊
14	マックス・ペヒシュタイン	版画集『われらの父(主禱文)』:扉絵	1921年	木版、紙	39.7×29.6	高知県立美術館
15	マックス・ペヒシュタイン	版画集『われらの父(主禱文)』:天にいますわれらの父よ	1921年	木版、紙	39.8×29.8	高知県立美術館
16	マックス・ペヒシュタイン	版画集『われらの父(主禱文)』:御名があがめられますように	1921年	木版、紙	39.9×29.7	高知県立美術館
17	マックス・ペヒシュタイン	版画集『われらの父(主禱文)』:私たちの日毎の食物を、今日もお与えください	1921年	木版、紙	40.0×29.6	高知県立美術館
18	マックス・ペヒシュタイン	版画集『われらの父(主禱文)』:私たちを試みに会わせないで	1921年	木版、紙	39.9×29.5	高知県立美術館
19	マックス・ペヒシュタイン	髭の漁師の頭部	1922年頃	木版、紙	40.1×32.0	宮城県美術館
20	エーリヒ・ヘッケル	祈る女	1908年	木版、紙	42.2×22.4	岐阜県美術館
21	エーリヒ・ヘッケル	疲れ	1913年	木版、紙	45.9×33.7	愛知県美術館
22	エーリヒ・ヘッケル	少女の頭部	1913年	木版、紙	25.9×17.2	宮城県美術館
23	エーリヒ・ヘッケル	『11点組木版画集1912-1919』:二人の負傷者	1914年	木版、紙	42.4×27.8	高知県立美術館
24	エーリヒ・ヘッケル	『11点組木版画集1912-1919』:平原の男	1917年	木版、紙	37.5×25.7	高知県立美術館
25	エーリヒ・ヘッケル	『11点組木版画集1912-1919』:若い男	1917年	木版、紙	35.8×29.8	高知県立美術館
26	エーリヒ・ヘッケル	『11点組木版画集1912-1919』:海辺の少女	1918年	木版、紙	45.8×32.4	高知県立美術館
27	エーリヒ・ヘッケル	『11点組木版画集1912-1919』:海岸の女たち	1919年	木版、紙	46.0×32.5	高知県立美術館
28	エーリヒ・ヘッケル	馬鹿	1917年	木版、紙	35.8×27.2	宮城県美術館
29	エーリヒ・ヘッケル	男の肖像	1919年	リトグラフ、紙	38.0×32.5	岐阜県美術館
30	カール・シュミット=ロットルフ	海辺で悲しむ女たち	1914年	木版、紙	39.5×49.8	個人蔵
31	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:扉絵	1918年	木版、紙	50.2×39.8	岐阜県美術館
32	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:愛の接吻	1918年	木版、紙	50.2×39.2	岐阜県美術館
33	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:キリスト	1918年	木版、紙	50.3×39.0	岐阜県美術館
34	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:エマウスへの道	1918年	木版、紙	39.5×50.0	岐阜県美術館
35	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:いちじくの木を非難するキリスト	1918年	木版、紙	50.0×39.8	岐阜県美術館
36	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:漁をするペテロ	1918年	木版、紙	39.0×50.0	岐阜県美術館
37	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:キリストと姦淫の女	1918年	木版、紙	39.8×50.0	岐阜県美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
38	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:マリア	1918年	木版、紙	50.2×39.8	岐阜県美術館
39	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:キリストとユダ	1918年	木版、紙	39.8×50.2	岐阜県美術館
40	カール・シュミット=ロットルフ	『シュミット=ロットルフ9点組木版画集』:使徒	1918年	木版、紙	50.5×40.5	岐阜県美術館
41	ヴァシリー・カンディンスキー	年刊誌『ブラウエ・ライター』:表紙絵	1911年	木版、紙、挿絵本	27.9×21.1	秀友画廊
42	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:赤の前の二人の騎手	1911年	木版、紙	10.5×15.7	徳島県立近代美術館
43	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:コンポジションII	1911年	木版、紙	14.9×21.0	徳島県立近代美術館
44	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:抒情的	1911年	木版、紙	14.5×21.7	徳島県立近代美術館
45	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:月景の中の二人の女	1911年	木版、紙	8.8×11.9	徳島県立近代美術館
46	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:「即興25」からのモチーフ	1911年	木版、紙	21.8×22.0	徳島県立近代美術館
47	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:東洋的	1911年	木版、紙	12.4×19.0	徳島県立近代美術館
48	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:赤と青と黒の中の三人の騎手	1911年	木版、紙	22.0×22.2	徳島県立近代美術館
49	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:白い響き	1911年	木版、紙	8.8×9.7	徳島県立近代美術館
50	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:ボート漕行	1911年	木版、紙	22.0×22.1	徳島県立近代美術館
51	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:山々	1911年	木版、紙	11.9×17.7	徳島県立近代美術館
52	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:最後の審判	1912年	木版、紙	16.4×21.2	徳島県立近代美術館
53	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:万聖節	1911年	木版、紙	19.8×24.1	徳島県立近代美術館
54	ヴァシリー・カンディンスキー	詩画集『クレンゲ(響き)』:大復活	1911年	木版、紙	21.9×21.8	徳島県立近代美術館
55	アルフレート・クビーン	騎士ローラント	1921年	リトグラフ、紙	26.3×20.6	宮城県美術館
56	アルフレート・クビーン	エレミヤ	1921年	リトグラフ、紙	14.0×11.4	神奈川県立近代美術館
57	アルフレート・クビーン	アルプス高原の雌牛	1921年	リトグラフ、紙	25.0×21.5	神奈川県立近代美術館
58	フランツ・マルク	動物伝説	1912年	木版、紙	19.8×24.1	宮城県美術館
59	フランツ・マルク	水を飲む馬	1912年	木版、紙	22.2×8.3	神奈川県立近代美術館
60	フランツ・マルク	蜥蜴	1912年	木版、紙	8.6×8.4	神奈川県立近代美術館
61	フランツ・マルク	馬たちの誕生	1913年	木版、紙	21.6×14.5	神奈川県立近代美術館
62	フランツ・マルク	創世記 I	1914年	木版、紙	24.2×19.8	宮城県美術館
63	アウグスト・マッケ	あいさつ	1912年	木版、紙	23.9×20.0	宮城県美術館
64	ハインリヒ・カンペンドンク	少女と獣たち	1916年	木版、紙	28.0×21.0	神奈川県立近代美術館

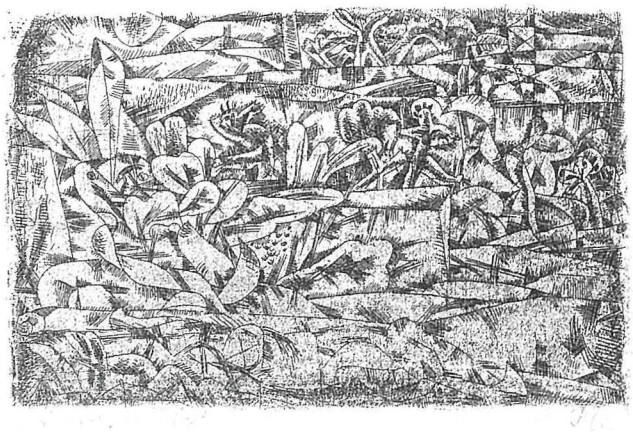


キルヒナー「脱穀する人」



カンディンスキー「詩画集『クレンゲ(響き)』:赤と青と黒の中の三人の騎手」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
65	ハインリヒ・カンペンドンク	無題	1921年	木版、紙	15.3×17.8	神奈川県立近代美術館
66	ハインリヒ・カンペンドンク	農場の裸婦	1921年頃	木版、紙	22.0×21.8	宮城県美術館
67	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキー	頭部	1921年	リトグラフ、紙	17.8×12.4	神奈川県立近代美術館
68	ライオネル・ファイニンガー	緑の橋	1910-11年	エッチング、紙	32.1×24.0	新潟県立近代美術館
69	ライオネル・ファイニンガー	門	1912年	エッチング、ドライポイント、紙	26.9×19.8	福岡市美術館
70	ライオネル・ファイニンガー	市庁舎　ツォッテルシュテット2	1918年	木版、紙	25.8×31.7	新潟県立近代美術館
71	ライオネル・ファイニンガー	カテドラル(バウハウス宣言書)	1919年	凸版、紙	30.5×18.7	広島県立美術館
72	パウル・クレー	喜劇役者(インヴェンション4)	1904年	エッチング、アクアチント、紙	15.2×16.8	愛知県美術館
73	パウル・クレー	情熱の園	1913年	エッチング、紙	9.7×14.6	北九州市立美術館
74	パウル・クレー	内なる光の聖女	1921年	リトグラフ、紙	30.8×17.3	横浜美術館
75	パウル・クレー	ホフマン風の風景	1921年	リトグラフ、紙	31.6×23.0	宮城県美術館
76	パウル・クレー	馬鹿騒ぎ	1922年	リトグラフ、紙	19.5×15.6	町田市立国際版画美術館
77	パウル・クレー	綱渡り師	1923年	リトグラフ、紙	43.3×26.8	宮城県美術館
78	クリスティアン・ロールフス	踊る二人	1913年頃	リノカット、紙	28.6×30.0	宮城県美術館
79	エミール・ノルデ	騎士	1906年	木版、紙	28.9×22.8	愛知県美術館
80	エミール・ノルデ	肖像(アダ・ノルデ)	1906年	エッチング、アクアチント、紙	19.3×15.3	三重県立美術館
81	エミール・ノルデ	男の頭部(自画像)	1907年	リトグラフ、紙	44.5×32.0	三重県立美術館
82	エミール・ノルデ	アリス	1907年	リトグラフ、紙	33.5×21.5	池田20世紀美術館
83	エミール・ノルデ	跪く少女	1907年	エッチング、ドライポイント、アクアチント、紙	32.8×24.0	新潟県立近代美術館
84	エミール・ノルデ	ハンブルク港	1910年	エッチング、アクアチント、紙	30.5×40.5	三重県立美術館
85	エミール・ノルデ	引き舟	1910年	エッチング、紙	19.8×27.9	三重県立美術館
86	エミール・ノルデ	おしゃべり	1917年	木版、紙	23.9×31.3	愛知県美術館
87	エミール・ノルデ	讃美	1922年	エッチング、アクアチント、紙	32.5×25.0	池田20世紀美術館
88	エミール・ノルデ	奇妙な生き物	1922年	エッチング、アクアチント、紙	24.6×31.8	宮城県美術館
89	エルンスト・バルラッハ	『神の変容7点組木版画集』:第1日	1920-21年	木版、紙	25.7×35.9	秀友画廊
90	エルンスト・バルラッハ	『神の変容7点組木版画集』:大聖堂	1920-21年	木版、紙	25.5×36.0	秀友画廊
91	エルンスト・バルラッハ	『神の変容7点組木版画集』:神の乞食	1920-21年	木版、紙	25.5×35.8	秀友画廊

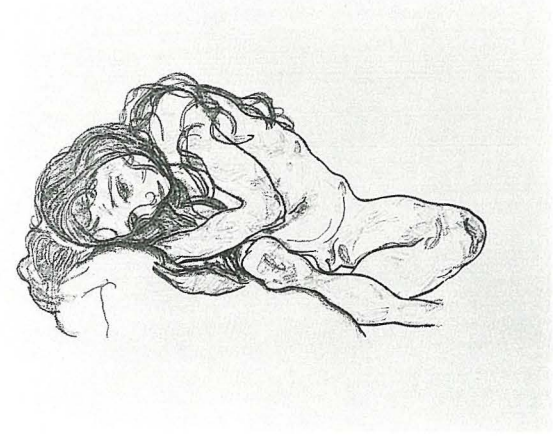


クレー「情熱の園」



バルラッハ「『神の変容7点組木版画集』:第1日」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
92	エルンスト・バルラッハ	『神の変容７点組木版画集』:死の舞踏２	1920-21年	木版、紙	25.0×36.0	秀友画廊
93	エルンスト・バルラッハ	『神の変容７点組木版画集』:神の腹	1920-21年	木版、紙	25.7×35.8	秀友画廊
94	エルンスト・バルラッハ	『神の変容７点組木版画集』:岩山	1920-21年	木版、紙	25.7×35.8	秀友画廊
95	エルンスト・バルラッハ	『神の変容７点組木版画集』:第７日	1920-21年	木版、紙	25.5×35.8	秀友画廊
96	エルンスト・バルラッハ	自画像	1928年	リトグラフ、紙	32.0×41.0	秀友画廊
97	パウラ・モーダーゾーン=ベッカー	驚鳥番の少女	1899-1900年	エッチング、アクアチント、紙	25.1×20.3	国立西洋美術館
98	パウラ・モーダーゾーン=ベッカー	森の中の盲目の女(ピアノを弾いている女)	1900年頃	エッチング、アクアチント、紙	15.4×13.3	岐阜県美術館
99	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:表紙絵	1908年	リトグラフ、紙	9.9×7.4	神奈川県立近代美術館
100	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:扉絵	1908年	リトグラフ、紙	10.4×8.9	神奈川県立近代美術館
101	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:眠る女	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
102	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:帆船	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
103	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:船乗りが呼ぶ	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
104	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:遠い島	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
105	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:語らう男女	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
106	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:眠る人々	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
107	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:目覚める人々	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
108	オスカー・ココシュカ	版画集『夢みる少年たち』:少女リーと私	1908年	リトグラフ、紙	24.0×29.0	神奈川県立近代美術館
109	オスカー・ココシュカ	版画集『おお永遠よ-汝恐ろしき言葉』:自画像-製図用鉛筆を持つ胸像	1914年	リトグラフ、紙	45.5×30.5	高知県立美術館
110	オスカー・ココシュカ	版画集『おお永遠よ-汝恐ろしき言葉』:嘆願する女	1914年	リトグラフ、紙	41.1×27.7	高知県立美術館
111	オスカー・ココシュカ	版画集『おお永遠よ-汝恐ろしき言葉』:死の道を行く男女	1914年	リトグラフ、紙	38.1×30.0	高知県立美術館
112	オスカー・ココシュカ	エミー・ハイム	1916年	リトグラフ、紙	79.0×52.5	神奈川県立近代美術館
113	オスカー・ココシュカ	マックス・ラインハルト(胸像)	1919年	リトグラフ、紙	62.5×47.3	神奈川県立近代美術館
114	オスカー・ココシュカ	画家の父グスタフ・ココシュカ	1918年	リトグラフ、紙	55.3×47.2	秀友画廊
115	エゴン・シーレ	男性裸像(自画像)Ⅰ	1912年	リトグラフ、紙	42.0×23.5	宮城県美術館
116	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』:少女	1918年	リトグラフ、紙	21.0×37.5	兵庫県立近代美術館
117	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』:パリス・フォン・ギュータースローの肖像	1918年	リトグラフ、紙	26.4×30.2	兵庫県立近代美術館
118	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』:うずくまる少女	1914年	ドライポイント、紙	48.3×32.1	兵庫県立近代美術館



シーレ「版画集『エゴン・シーレの版画』:少女」



コルヴィッツ「カール・リープクネヒト追悼」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
119	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』：悲しみ	1914年	ドライポイント、紙	48.3×32.1	兵庫県立近代美術館
120	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』：アルトゥール・レスラーの肖像	1914年	ドライポイント、紙	24.1×32.1	兵庫県立近代美術館
121	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』：フランツ・ハウアーの肖像	1914年	ドライポイント、紙	13.9×11.3	兵庫県立近代美術館
122	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』：自画像	1914年	ドライポイント、紙	13.0×11.1	兵庫県立近代美術館
123	エゴン・シーレ	版画集『エゴン・シーレの版画』：男の肖像	1914年	ドライポイント、紙	12.4×10.5	兵庫県立近代美術館
124	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：鋤をひく人	1906年	エッチング、アクアチント、紙	31.4×45.3	伊丹市立美術館
125	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：凌辱	1907年	エッチング、ステンシル、紙	30.8×52.8	伊丹市立美術館
126	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：鎌を研ぐ	1905年	エッチング、ステンシル、紙	29.8×29.8	伊丹市立美術館
127	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：アーチの下での武装	1906年	エッチング、ステンシル、紙	49.7×32.9	伊丹市立美術館
128	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：突撃	1903年	エッチング、アクアチント、布のステンシル、紙	50.7×59.2	伊丹市立美術館
129	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：戦場	1907年	エッチング、ステンシル、紙	41.2×52.9	伊丹市立美術館
130	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『農民戦争』：囚われた人々	1908年	エッチング、布のステンシル、紙	32.7×42.3	伊丹市立美術館
131	ケーテ・コルヴィッツ	カール・リープクネヒト追悼	1919-20年	木版、紙	35.0×50.0	中山妙子氏
132	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『戦争』：寡婦Ⅰ	1922-23年	木版、紙	37.0×22.0	中山妙子氏
133	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『戦争』：母たち	1922-23年	木版、紙	34.0×40.0	中山妙子氏
134	ケーテ・コルヴィッツ	版画集『戦争』：民衆	1922-23年	木版、紙	36.0×30.0	中山妙子氏
135	マックス・ベックマン	版画集『年の市』：呼び込み(自画像)	1921年	ドライポイント、紙	33.5×25.7	広島県立美術館
136	マックス・ベックマン	版画集『年の市』：舞台裏	1921年	ドライポイント、紙	20.2×29.9	広島県立美術館
137	マックス・ベックマン	版画集『年の市』：大男	1921年	ドライポイント、紙	29.7×20.3	広島県立美術館
138	マックス・ベックマン	版画集『年の市』：黒人	1921年	ドライポイント、紙	27.8×25.1	広島県立美術館
139	マックス・ベックマン	版画集『年の市』：メリー・ゴーラウンド	1921年	ドライポイント、紙	31.0×27.5	広島県立美術館
140	マックス・ベックマン	版画集『ベルリンへの旅』：ホテルでの自画像	1922年	リトグラフ、紙	68.3×54.0	徳島県立近代美術館
141	マックス・ベックマン	版画集『ベルリンへの旅』：夜	1922年	リトグラフ、紙	68.5×53.7	徳島県立近代美術館
142	マックス・ベックマン	版画集『ベルリンへの旅』：貧しい人々	1922年	リトグラフ、紙	68.7×54.3	徳島県立近代美術館
143	マックス・ベックマン	版画集『ベルリンへの旅』：大衆酒場	1922年	リトグラフ、紙	68.5×54.5	徳島県立近代美術館
144	マックス・ベックマン	版画集『ベルリンへの旅』：煙突掃除夫	1922年	リトグラフ、紙	68.7×53.7	徳島県立近代美術館
145	ルートヴィヒ・マイトナー	使徒パウロの幻想(『新ベルリン芸術』より)	不詳	リトグラフ、紙、挿絵本	24.5×19.6	宮城県美術館
146	オットー・ディックス	版画集『戦争』：負傷兵(1916年秋、バポーム)	1924年	エッチング、アクアチント、紙	19.7×29.0	町田市立国際版画美術館
147	オットー・ディックス	版画集『戦争』：ランゲマルク近郊(1918年2月)	1924年	エッチング、ドライポイント、紙	24.7×29.3	町田市立国際版画美術館
148	オットー・ディックス	版画集『戦争』：壊された塹壕	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	30.0×24.4	町田市立国際版画美術館
149	オットー・ディックス	版画集『戦争』：毒ガスの中を前進する突撃部隊	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	19.6×29.1	町田市立国際版画美術館
150	オットー・ディックス	版画集『戦争』：鉄条網の中の屍体(フランドル)	1924年	エッチング、アクアチント、紙	30.0×24.3	町田市立国際版画美術館
151	オットー・ディックス	版画集『戦争』：死の舞踏 西暦1917年(死者たちの丘)	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	24.5×30.0	町田市立国際版画美術館
152	オットー・ディックス	版画集『戦争』：死にゆく兵士	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	19.8×14.8	町田市立国際版画美術館
153	オットー・ディックス	版画集『戦争』：ワイトスハーテ平野の夕暮(1917年11月)	1924年	エッチング、アクアチント、紙	24.6×30.0	町田市立国際版画美術館
154	オットー・ディックス	版画集『戦争』：髑髏	1924年	エッチング、紙	25.7×19.5	町田市立国際版画美術館
155	オットー・ディックス	版画集『戦争』：爆撃されるランスの街	1924年	エッチング、ドライポイント、紙	29.8×24.6	町田市立国際版画美術館
156	オットー・ディックス	版画集『戦争』：ブリュッセルに来た前線の兵士	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	19.7×29.0	町田市立国際版画美術館
157	オットー・ディックス	版画集『戦争』：爆弾投下で破壊された家(トゥルネ)	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	29.8×24.4	町田市立国際版画美術館
158	オットー・ディックス	版画集『戦争』：ピルケムあたりで食糧をあさる人たち	1924年	エッチング、アクアチント、紙	24.5×29.8	町田市立国際版画美術館
159	オットー・ディックス	版画集『戦争』：防空壕	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	19.8×29.0	町田市立国際版画美術館
160	オットー・ディックス	版画集『戦争』：ヴォー要塞に眠る人々(毒ガスで殺されて)	1924年	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	24.8×29.8	町田市立国際版画美術館
161	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：神は共にあり	1919年	リトグラフ、紙	30.2×42.9	新潟県立近代美術館
162	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：ドイツの権利、ドイツの道徳のために(ドイツ人は敗北しドイツ主義が勝利者となる—"最前線に来たドイツ人")	1919年	リトグラフ、紙	38.0×31.3	新潟県立近代美術館
163	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：終業(ミュンヘンのお告げの祈り—"私は奉仕した")	1919年	リトグラフ、紙	38.7×29.9	新潟県立近代美術館
164	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：労働者の光と風(自由、平等、博愛、労働者の休日)	1919年	リトグラフ、紙	34.9×29.7	新潟県立近代美術館
165	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：加持祈禱師(精密科学の勝利—閉塞と闘うドイツ人医師)	1919年	リトグラフ、紙	31.6×29.6	新潟県立近代美術館
166	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：死の女衒	1919年	リトグラフ、紙	30.2×42.9	新潟県立近代美術館
167	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：完成された民主主義(朕は国家なり-"民主主義にとって安全な世界")	1919年	リトグラフ、紙	44.5×30.3	新潟県立近代美術館
168	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：共産主義者は倒れ、標語ばかりが声高に(飢饉を粉砕せよ!-血は最高のソース)	1919年	リトグラフ、紙	44.5×30.3	新潟県立近代美術館
169	ジョージ・グロッス	版画集『神は共にあり』：その件では誰も我々の真似はできない(悪しき思いを抱くものに災いあれ—"ドイツ産")	1919年	リトグラフ、紙	30.2×42.9	新潟県立近代美術館
170	カール・ホーファー	巣	1921年	リトグラフ、紙	34.6×26.0	宮城県美術館
171	カール・ホーファー	ダンサー	1921年	リトグラフ、紙	22.0×16.0	神奈川県立近代美術館
172	アレクサンダー・カーノルト	クラウゼン	1922年	リトグラフ、紙	28.5×23.5	宮城県美術館
173	リヒャルト・ゼーヴァルト	街	1921年	木版、紙	24.1×29.7	神奈川県立近代美術館
174	リヒャルト・ゼーヴァルト	牧人	1921年	木版、水彩、紙	24.0×17.8	宮城県美術館
175	ゲオルク・シュリンプフ	二人の女と子供	1923年	リトグラフ、紙	24.0×17.5	神奈川県立近代美術館
176	コンラート・フェリックスミュラー	恋人たち	1923年	木版、紙	22.8×15.7	神奈川県立近代美術館

＊　寸法は縦×横

紅型 ── 琉球衣装の美　かたち舞い、色うたう。

会期＝平成6年8月20日(土)ー9月18日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、札幌テレビ放送



ポスター

関連事業

美術講演会

「紅型の世界 ── 伝統の美」
講師＝長崎巌氏（東京国立博物館工芸課染織室長）
日時＝８月20日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

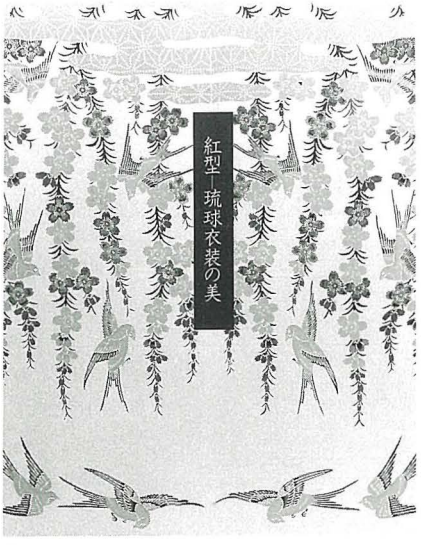
特別展セミナー

「紅型と染色工芸の美」
講師＝光岡幸治（当館学芸員）
日時＝８月27日(土)、９月17日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

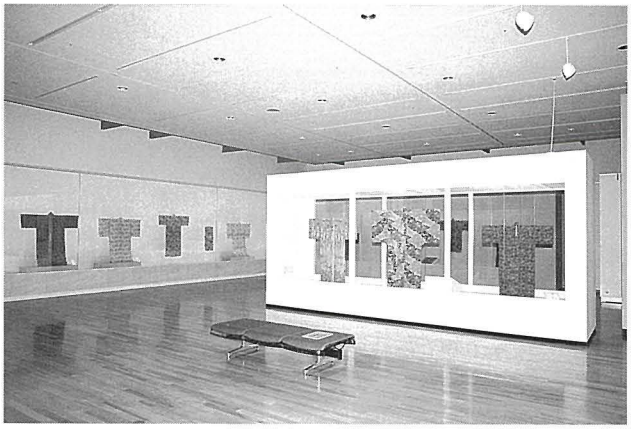
沖縄の代表的な染色「紅型(びんがた)」は、琉球王朝の第二尚氏王朝の時代に育まれ、江戸時代の中頃に高度に洗練された多色の型染である。王府の庇護のもとに高度に洗練され、大家や貴族、士族の衣装として発展してきた。多様な模様と大胆な構成のうちに色彩がひびきあうその力強い表現には、沖縄の風土が色濃く反映されている。

明治維新後は次第に衰えてゆき、また第二次世界大戦によって大きな打撃を受けたが、戦後に復興を果たし、沖縄を代表する工芸のひとつとして現代にその技術が受け継がれ、多くの人びとを魅了している。その技法や文様は日本本土の染織文化との関連のほか、中国や東南アジアからの影響もうかがわせる。

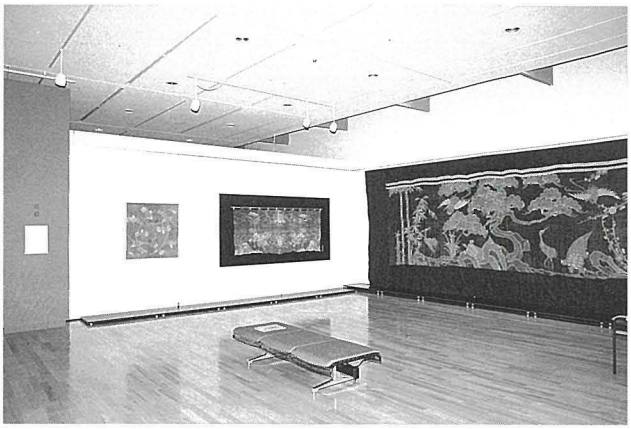
本展では、琉球王国時代の優品を中心に戦後の再興紅型を加え、衣装、風呂敷、幕に型紙をふくめて総合的にその魅力が紹介された。会期中に一部展示替えを行い、前期73点、後期66点を展示、北海道では初めて本格的に紅型の美に触れる展覧会となった。当館の運営のテーマとしているプリントアートに関わる展覧会として話題を集め、会期中に5,279人が観覧。作品の細部をくいるように見つめる入場者の姿がめだち、南海の島沖縄に花開いた華麗で生命感あふれる染色文化の粋に、会場は静かな興奮に包まれた。



図録



会場風景



会場風景

出品目録

衣　装

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
1	木綿黄色地雲に牡丹尾長鳥と菊模様衣装	19世紀	129.1×58.2	東京国立博物館	前期
2	麻浅地笠に藤と流水に蛇篭桜葵菖蒲小鳥模様衣装	19世紀	124.0×49.5	沖縄県立図書館	前・後期
3	麻白地霞に山松枝垂桜雁模様衣装	19世紀	134.0×63.0	日本民藝館	前期
4	木綿浅地霞に松藤菊と燕遠山流水菊薄模様衣装	19世紀	135.4×59.8	神山佐和子氏	後期
5	麻浅地雲に雁遠山紅葉流水松模様衣装	19世紀	128.8×57.0	東京国立博物館	後期
6	麻浅地流水に菊葦雁模様衣装	19世紀	134.0×64.6	東京国立博物館	後期
7	木綿白地牡丹唐草幾何学模様衣装	19世紀	121.0×60.0	沖縄県立博物館	前・後期
8	麻浅地波頭に松梅紅葉模様衣装	19世紀	120.2×62.0	東京国立博物館	後期
9	木綿浅地霞に稲妻松窓絵散らし模様衣装	19世紀	147.4×60.8	沖縄県立博物館	前期
10	木綿灰色地葦繋に波笹舟若松模様衣装	19世紀	118.5×62.5	沖縄県立博物館	前・後期
11	木綿紺地菱繋に小花模様袷衣装 ／(裏) 木綿緋色地絣模様	19世紀	122.5×61.5	東京国立博物館	後期
12	麻紺地梅模様衣装	19世紀	127.0×68.0	日本民藝館	前・後期
13	木綿紺地花織に絣袷衣装 ／(裏) 木綿緑地水草小花模様	19世紀	114.0×63.0	日本民藝館	前・後期
14	木綿黄色地波に桜椿菊銀杏結び緒模様袷衣装 ／(裏) 木綿紺地杢糸格子に絣	19世紀	118.0×63.0	日本民藝館	前・後期
15	木綿浅地波に千鳥桜模様袷衣装 ／(裏) 木綿浅地流水に梅紅葉模様	19世紀	121.5×61.0	沖縄県立博物館	前・後期
16	麻浅地霞に鳳凰牡丹笹模様衣装	19世紀	119.5×59.0	東京国立博物館	前期
17	木綿白地流水に蛇籠桜葵菖蒲小鳥模様衣装	19世紀	124.0×49.5	沖縄県立博物館	前・後期
18	木綿浅地霞に枝垂桜模様衣装	19世紀	127.5×66.0	沖縄県立博物館	前期
19	木綿白地牡丹模様衣装	19世紀	115.0×63.6	東京国立博物館	後期
20	麻白地雪持笹梅鶴小鳥模様衣装	19世紀	133.0×65.0	東京国立博物館	前期
21	木綿染分地山水楼閣模様衣装	19世紀	133.2×74.0	東京国立博物館	前期
22	麻浅地桜菊貝模様衣装	19世紀	128.5×64.0	沖縄県立博物館	前・後期
23	木綿浅地花紅葉鳥貝模様衣装	19世紀	105.3×55.2	東京国立博物館	後期
24	麻白地稲妻に花の丸模様胴衣	19世紀	91.5×59.5	沖縄県立博物館	前・後期
25	木綿黄色地松皮菱繋に扇菊と桧扇団扇牡丹模様胴衣	19世紀	86.5×64.0	沖縄県立博物館	前・後期
26	絹黄色地霞に枝垂桜と流水に蛇籠桜葵菖蒲小鳥模様袷衣装	19世紀	135.0×61.0	鐘紡繊維美術館	前・後期
27	木綿花色地葦繋に遠山松梅鶴模様袷衣装 ／(裏) 木綿灰色地流水に花千鳥模様	19世紀	119.0×58.0	日本民藝館	前・後期
28	木綿花色地斜格子に橘梅扇文箱葵紅葉菊模様衣装	19世紀	112.0×53.0	沖縄県立博物館	前・後期
29	木綿花色地鉄線蝶模様袷衣装 ／(裏) 木綿紺地	19世紀	130.5×64.5	沖縄県立博物館	前・後期
30	桐板紺地貝藻に桜紅葉羽模様衣装	19世紀	122.0×63.0	日本民藝館	前・後期
31	麻浅地毬竹紅葉模様衣装	19世紀	129.5×70.3	東京国立博物館	前期
32	麻浅地松草花模様衣装	19世紀	133.0×57.0	東京国立博物館	後期
33	絹浅地籬に桜菊萩模様胴衣	19世紀	86.5×74.5	沖縄県立博物館	前期
34	麻浅地流水に梅草花模様衣装	19世紀	128.5×64.0	沖縄県立博物館	前・後期
35	麻浅地霞に松竹梅鶴亀模様衣装	19世紀	126.0×57.5	沖縄県立博物館	前・後期

衣　装

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
36	木綿白地流水に桜草花貝模様衣装	19世紀	124.0×65.0	東京国立博物館	前期
37	麻白地小花貝模様絣衣装	19世紀	100.5×60.0	東京国立博物館	前期
38	麻白地鶴千鳥貝藻模様衣装	19世紀	125.0×62.0	沖縄県立博物館	前・後期
39	木綿白地霞に鶴松竹梅模様衣装	19世紀	119.0×66.5	沖縄県立博物館	後期
40	木綿白地松皮菱青海波雲流水松梅桜菊鶴模様踊衣装	19世紀	80.5×16.5	沖縄県立博物館	前・後期
41	木綿染分地山波柴垣椿梅桜菖蒲菊模様衣装	19世紀	151.0×70.5	沖縄県立博物館	前期
42	絹染分地流水に松梅桜鶴雁模様袷踊衣装 ／(裏) 木綿緋色地	19世紀	84.0×24.5	沖縄県立博物館	前・後期
43	木綿染分地霞に遠山流水菊模様胴衣	19世紀	93.0×63.0	沖縄県立博物館	前・後期

染見本

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
44	染見本　木綿紅型五十九柄	19世紀	730.0×19.0	日本民藝館	前・後期
45	染見本　木綿紅型四十四柄	19世紀	1037.0×39.0	日本民藝館	前・後期
46	染見本　木綿藍型三十八柄	19世紀	580.0×33.5	日本民藝館	前・後期

筒　描

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
47	麻紺地松竹梅菖蒲鶴亀模様舞台幕	19世紀	197.0×692.0	沖縄県立博物館	前・後期
48	麻浅地玉取り獅子に牡丹唐草菖蒲模様幔幕	19世紀	96.0×243.0	沖縄県立博物館	前・後期
49	麻紺地巴紋熨斗柳模様風呂敷	19世紀	155.0×150.0	日本民藝館	前・後期
50	麻紺地牡丹唐草模様風呂敷	19世紀	160.0×160.0	日本民藝館	前・後期
51	麻浅地熨斗菖蒲模様風呂敷	19世紀	99.5×99.0	日本民藝館	前・後期
52	麻紺地丁字巴紋牡丹模様風呂敷	19世紀	164.0×150.0	日本民藝館	前・後期

現　代

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
53	知念　績弘	花色地雲龍文紅型袷踊衣装　縮緬	昭和56(1981)年	147.5×66.5	沖縄県立博物館	前・後期
54	知念　績弘	黄色地松竹梅鶴亀文様風呂敷　木綿　苧麻	昭和51(1976)年	175.0×182.0	沖縄県立博物館	前・後期
55	城間　栄喜	石垣に芭蕉と高倉糸干しの段文様紅型　芭蕉布	昭和43(1968)年	154.0×64.5	城間栄順氏	前・後期
56	城間　栄喜	琉球春村に瑞華文様紅型　縮緬	昭和42(1967)年	159.0×69.7	城間栄順氏	前・後期
57	渡嘉敷貞子	緑地胡蝶文様衣装　芭蕉布	昭和39(1964)年	153.0×62.0	個人蔵	前・後期
58	渡嘉敷貞子	段染胡蝶文様衣装　芭蕉布	昭和39(1964)年	152.0×62.0	個人蔵	前・後期
59	大城　貞成	重型葡萄地草花に紅葉市松文様衣装　縮緬	昭和52(1977)年	175.5×70.0	沖縄県立芸術大学	前・後期
60	大城　貞成	重型花色地桜に団扇文様衣装　縮緬	昭和52(1977)年	151.0×63.0	作者	前・後期
61	屋宜　元六	苧麻地両面紅入藍型着物　蝶文	昭和47(1972)年	162.0×64.5	作者	前・後期
62	屋宜　元六	芭蕉布地両面紅入藍型着物　松竹梅散らし文	昭和60(1985)年	168.2×62.8	作者	前・後期

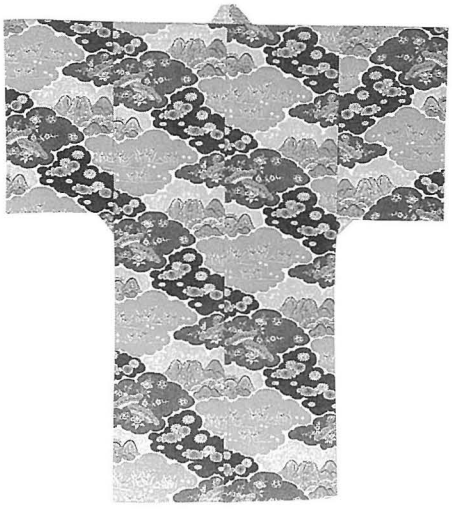


「絹黄色地霞に枝垂桜と流水に蛇籠桜葵菖蒲小鳥模様袷衣装」

型　紙

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
63	型紙　白地型雲に牡丹模様	19世紀	27.0×42.6	沖縄県立芸術大学	前期
64	型紙　白地型牡丹尾長鳥模様	19世紀	54.5×42.4	沖縄県立芸術大学	前期
65	型紙　白地型笠に藤模様	19世紀	42.2×37.3	沖縄県立博物館	前・後期
66	型紙　染地型稲妻に松窓絵散らし模様	19世紀	13.9×40.0	沖縄県立博物館	前期
67	型紙　白地型雲龍火焔宝珠模様	19世紀	56.6×39.9	沖縄県立芸術大学	前・後期
68	型紙　白地型雲鳳凰扇牡丹模様	19世紀	55.2×42.2	沖縄県立芸術大学	前・後期
69	型紙　白地型流水に蛇篭桜葵菖蒲小鳥模様	19世紀	58.0×40.6	沖縄県立芸術大学	前・後期
70	型紙　白地型霞に枝垂桜模様	19世紀	52.6×39.4	沖縄県立博物館	前・後期
71	型紙　白地型牡丹模様	19世紀	22.5×39.2	沖縄県立博物館	前・後期
72	型紙　白地型雪持笹梅小鳥模様	19世紀	42.0×52.8	沖縄県立芸術大学	前・後期
73	型紙　白地型雪持笹梅鶴小鳥模様	1868年	41.5×26.9	沖縄県立芸術大学	前・後期
74	型紙　白地型山水楼閣模様	1826年	19.0×42.0	沖縄県立芸術大学	前・後期
75	型紙　白地型流水に菊魚籠桜と網干松紅葉紫陽花模様	19世紀	56.2×42.5	沖縄県立芸術大学	前・後期
76	型紙　白地型梅蝶模様	19世紀	27.7×42.1	沖縄県立芸術大学	前・後期
77	型紙　染地型波に鯉模様	19世紀	55.0×42.5	沖縄県立芸術大学	前・後期
78	型紙　染地型波頭に鳥貝藻模様	19世紀	56.6×42.2	沖縄県立芸術大学	前・後期
79	型紙　白地型斜格子に桜梅貝模様	19世紀	26.9×41.8	沖縄県立博物館	前・後期
80	型紙　白地型稲妻に花の丸模様	19世紀	44.6×41.8	沖縄県立芸術大学	前・後期
81	型紙　白地型斜格子に橘梅扇文箱葵紅葉模様	19世紀	47.8×40.3	沖縄県立博物館	前・後期
82	型紙　染地型山波柴垣椿梅桜菖蒲菊模様	19世紀	58.6×42.0	沖縄県立芸術大学	前期

＊　寸法は縦×横
＊　展示期間のうち、前期は８月20日(土)から９月４日(日)まで、後期は９月６日(火)から９月19日(日)まで



「木綿染分地山波柴垣椿梅桜菖蒲菊模様衣装」



城間栄喜「琉球春村に瑞華模様紅型」

幻想と神話と自然と人間　ナンシー美術館名作展

会期＝平成6年9月23日(金)ー10月23日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社、ナンシー美術館名作展実行委員会

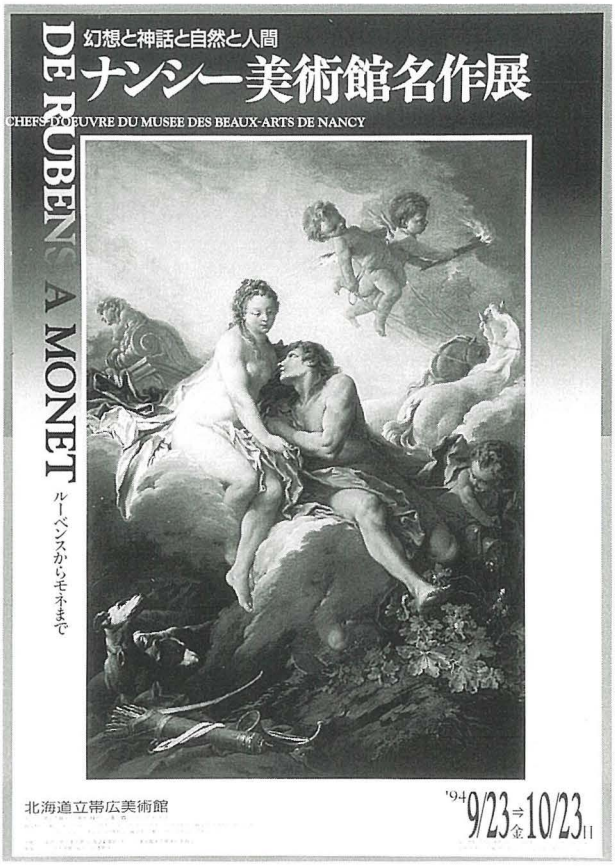
後援＝フランス大使館
協力＝日本航空

関連事業

美術講演会
「絵画主題の移り変わり ── 聖なるものから俗なるものへ」
講師＝勝國興氏（同志社大学教授）
日時＝10月15日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

特別展セミナー
「ヨーロッパ絵画の黄金時代 ── バロックとロココ」
講師＝佐藤幸宏（当館学芸員）
日時＝９月24日(土)、10月８日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂

土曜映写室
「肖像画の系譜」「神話の世界」（10月１日）
「理想郷への憧れ」「物との対話」（10月22日）
日時＝10月１日(土)、10月22日(土)　午後２時～３時
会場＝当館講堂



ポスター


図録

ナンシーは、フランス北東部にあるロレーヌ地方の中心都市として発展してきた町である。中世以来の美しい町並みを今なお誇り、またアール・ヌーヴォー芸術が栄えた町としても知られている。

市の中心部スタニスラフ広場に面して建つナンシー美術館は、1793年にフランス革命政府が創設した地方美術館のひとつで、フランスでも最も歴史のある美術館である。当時の収蔵品は主に政府が教会や貴族から没収した美術品が中心であったが、その後ヨーロッパ各国・各時代の作品が精力的に集められ、なかでもイタリア絵画とフランス絵画は充実したコレクションを誇っている。

本展は、このナンシー美術館が所蔵する17世紀バロックから19世紀の印象派にいたるイタリア・フランス・ネーデルラント（現在のオランダ、ベルギー）絵画を、宗教、神話、肖像、静物などのテーマ別に紹介したものである。ティントレット、ルーベンス、ヴァン・ダイク、フラゴナール、マネ、モネなど、ヨーロッパ絵画の黄金時代を築いた巨匠72作家の油彩86点が展示され、16,175人の観覧者があった。



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法(cm)
1	ヤーコポ・ロブスティ（通称ティンレット）	キリスト哀悼	油彩、キャンバス	104×137
2	フェデリコ・バロッチ	受胎告知	油彩、キャンバス	300×176
3	ドメニコ・フェッティ	メランコリー	油彩、キャンバス	195×130
4	ヨハン・ウルリヒ・ロート	エサウを狩猟に出すイサク	油彩、キャンバス	183×132
5	バルダッサーレ・フランチェスキーニ（通称ヴォルテラーノ）	大天使	油彩、キャンバス	108×78
6	ドメニコ・ガルジウロ（通称ミッコ・スパダーロ）	エリエゼルとリベカ	油彩、キャンバス	115×151
7	ルーカ・ジョルダーノ	ダマスカスへの道で回心する聖パウロ	油彩、キャンバス	76×102
8	ヴァレリオ・カステッロ	墓の中のキリスト	油彩、キャンバス	178×210
9	バルトロメオ・ビスカイノ（推定）	神殿への奉献	油彩、キャンバス	93×75
10	ジェノヴァの画家	聖アンナと聖ヨアキムの間の聖母子	油彩、キャンバス	147×198
11	ナポリの画家	ピエタ	油彩、キャンバス	190×143
12	カルロ・チニャーニ	川から救われたモーゼ	油彩、キャンバス	110×150
13	ニコラ・プーサン（推定）	キリストのエルサレム入城	油彩、キャンバス	98×134
14	フィリップ・ド・シャンパーニュ	愛徳	油彩、キャンバス	157×132
15	ピエール・ミニャール（推定）	聖母子	油彩、キャンバス	98×87
16	シャルル・ル・ブラン	聖母子	油彩、キャンバス	103×81.5
17	シャルル・ドーファン	神殿から商人を追い払うキリスト	油彩、キャンバス	135×96.5
18	ノエル・コワペル（父）	キリスト降誕	油彩、キャンバス	180×131
19	アントワーヌ・ブゾネ・ステラ	エリエゼルとリベカ	油彩、キャンバス	97×127
20	アブラハム・ブロマールト	聖ヨハネの宣教	油彩、キャンバス	125×191
21	ピーテル=パウル・ルーベンス	海上を歩くイエス	油彩、板	77×77
22	ヘラルト・セーヘルス	むち打たれた後のキリスト	油彩、キャンバス	113×173
23	ヤン・ブリューゲル2世（息子）	庭師キリスト	油彩、キャンバス	157.5×213.5
24	アントーン・ヴァン・ダイクの工房	聖母子	油彩、キャンバス	145×105
25	シモン・ヴエ	アモールの矢に打たれるニンフ	油彩、キャンバス	187×137
26	ジャック・ブランシャール	バッカス祭	油彩、キャンバス	138×115
27	ジャック・ブランシャール	眠るアンティオーペ	油彩、キャンバス	108×144
28	サミュエル・マッセ	アイネイアスの艦隊を殲滅するようアイオロスに命じるユノー	油彩、キャンバス	128×188
29	ジャン=フランソワ・ド・トロワ	ディアーナの憩い	油彩、キャンバス	130×196
30	フランソワ・ルモワーヌ	スキピオの寛容	油彩、キャンバス	147×207
31	フランソワ・ルモワーヌ	ヘシオネを救出するヘラクレス	油彩、キャンバス	86×115
32	フランソワ・ブーシェ	アウロラとケファロス	油彩、キャンバス	250×175
33	ジャン・オノレ・フラゴナール	聖ルイ王の神化	油彩、キャンバス	64×54
34	フランソワ=ギヨーム・メナジョ	父の遺体を馬車で轢くトゥリア	油彩、キャンバス	113×146
35	シモーネ・ピニョーニ	プロセルピナの略奪	油彩、キャンバス	88×134
36	ルーカ・ジョルダーノ（推定）	巫女トゥシア	油彩、キャンバス	140×148.5

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法(cm)
37	ピエトロ・ダンディーニ	ディドとアイネイアス	油彩、キャンバス	120×167
38	グレゴリオ・グリエルミ	昼、またはアポロンの勝利（トロイアの建設）	油彩、キャンバス	81×130(楕円)
39	グレゴリオ・グリエルミ	日の出	油彩、キャンバス	75×61(楕円)
40	グレゴリオ・グリエルミ	日没	油彩、キャンバス	79×61(楕円)
41	パオロ・フィアミンゴ（パウエルス・フランク）	狩りをするディアーナ	油彩、キャンバス	98×86
42	テオドール・ファン・トゥルデン	アンドロメダを救うペルセウス	油彩、キャンバス	100×116
43	クロード・ジュレ（通称ル・ロラン）	牧歌的風景	油彩、キャンバス	49×39
44	フィリップ・ムニェ	テラスのあるギャラリー	油彩、キャンバス	150×200
45	ピエール=アントワーヌ・ド・マシ	古代の廃墟	油彩、キャンバス	100×76
46	ニコラ・ボーデソン	花かご	油彩、キャンバス	116×90
47	ジャン=バティスト・モノワイエ	花と綴れ織り	油彩、キャンバス	113×125
48	ジャン=バティスト・クロード	花瓶	油彩、キャンバス	125×146
49	ジャック=シャルル・ウードリ	鶏の闘い	油彩、キャンバス	88×115
50	ジャック=シャルル・ウードリ	狩猟犬と死んだ獲物	油彩、キャンバス	88×115
51	ニコラ=アンリ・ジョラ・ド・ベルトリ	ヴァニタス	油彩、キャンバス	72×91
52	ジャン=バティスト・クロード	田園風景	油彩、キャンバス	95.7×131.5
53	ジャン=バティスト・クロード	網を吊るす	油彩、キャンバス	97.5×130.5
54	ジャン=バティスト・クロード	廃墟の宮殿	油彩、キャンバス	97×130
55	パオロ・ポルポラ	静物：亀と蟹	油彩、キャンバス	61×76
56	ジュゼッペ・レッコ	魚とザリガニのある静物	油彩、キャンバス	94×119.5
57	ベネデット・フィオラヴァンティ(工房または周辺の画家)	綴れ織りと金銀細工：小さな犬のいる静物	油彩、キャンバス	144×165
58	ジョヴァンニ・ブーランジェ（推定）	廃墟とニンフと女性：古代の廃墟の中でのバッカス祭	油彩、キャンバス	98×74
59	ジョヴァンニ・ブーランジェ（推定）	廃墟とニンフと女性:古代の廃墟の中でのディアーナへの捧げ物	油彩、キャンバス	98×74
60	ゲラルド・ポリと息子（1715頃生）	サビヌ女の略奪の彫刻のある幻想の建築	油彩、キャンバス	116×87
61	ゲラルド・ポリと息子（1715頃生）	ヴィーナスの誕生の彫刻のある幻想の建築	油彩、キャンバス	116×87
62	ゲラルド・ポリと息子（1715頃生）	雷挺を持つユピテルの彫刻のある幻想の建築	油彩、キャンバス	116×87
63	アレッサンドロ・マニャスコ	巡礼	油彩、キャンバス	95×72(楕円)
64	アレッサンドロ・マニャスコ	鳥刺し	油彩、キャンバス	94×72(楕円)



ルーベンス「海上を歩くイエス」



フラゴナール「聖ルイ王の神化」

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法(cm)
65	フランチェスコ・カサノヴァ	出漁	油彩、キャンバス	227×326
66	ダヴィッド・テニールス2世（子）	女占師	油彩、キャンバス	38.5×57
67	ダヴィッド・テニールス2世（子）	急流	油彩、キャンバス	67×87
68	ヤン・ローテン	大きな樫の木	油彩、キャンバス	149×200
69	ピーテル・ムリエ（通称テンペスタ）	海景あるいは荒天	油彩、キャンバス	147.5×183
70	ヨリス・ファン・デル・ハーゲン	日没の風景－秋の名残り	油彩、キャンバス	94×122
71	ローラン=シャルル・マレシャン	修道士たち、またはメッス攻囲の一場面	油彩、キャンバス	95×123
72	フランソワ=ニコラ・オーギュスタン、またはオーギュスト・ファイアン=ペラン	ナンシーの戦いの後のシャルル豪胆公の遺体の発見	油彩、キャンバス	200×305
73	アンリ=レオポルド・レヴィ	囚われのヘブライ人	油彩、キャンバス	208×204.5
74	アンリ=レオポルド・レヴィ	ヘロデア	油彩、キャンバス	53.5×43.5
75	フランソワ・ジェラール	ボアを巻いた若い女の肖像	油彩、キャンバス	73×59
76	オルタンス・オドブール=レスコー	女性の肖像	油彩、キャンバス	65.5×54.5
77	ギュスターヴ・クールベ	ゼリー・クールベの肖像	油彩、キャンバス	55×46
78	ルイ=オーギュスト・シュヴィテル	エマ・フォン・シュロキンガーの肖像	油彩、キャンバス	63×51
79	ジャン=フランソワ・ラファエリ	エドモン・ド・ゴンクールの肖像	油彩、キャンバス	260×170
80	エミール・フリアン	雪景色の中のナンシーの女	油彩、板	46×37
81	エドゥワール・マネ	秋	油彩、キャンバス	73×51
82	ジョルジュ・ミシェル	サン=ドニの平原	油彩、キャンバス	53×73
83	ジャック=レイモン・ブラカッサ	小屋	油彩、キャンバス	61×77
84	ナルシス=ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の空き地	油彩、キャンバス	46×64
85	ルイ=ガブリエル=ウジェーヌ・イザベイ	ディエップの町と港の眺め	油彩、キャンバス	164×251
86	クロード・モネ	エトルタの夕暮	油彩、キャンバス	60×73

＊　寸法は縦×横
＊　作品はすべてナンシー美術館蔵


ボーデソン「花かご」


クールベ「ゼリー・クールベの肖像」

上海博物館コレクションから── 中国六千年の秘宝展

会期＝平成6年11月1日(火)ー12月18日(日)
主催＝北海道立帯広美術館、上海博物館、帯広市、美術館連絡協議会、読売新聞社、十勝毎日新聞社、中国六千年の秘宝展実行委員会

後援＝外務省、文化庁、中国大使館、北海道日中友好協会、十勝町村会、十勝教育局、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市小中学校長会連合会、十勝教育研究所、帯広市ＰＴＡ連合会、帯広青年会議所、帯広市町内会連絡協議会、帯広市婦人団体連絡協議会、帯広市老人クラブ連合会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ振興財団、日専連帯広会、ＮＣおびひろ、帯広デザイナーズ協会、とかちカルチャーネット、ＨＢＣ帯広放送局、ＳＴＶ帯広放送局、ＵＨＢ帯広放送局、ＨＴＢ帯広放送局、帯広シティーケーブル
協賛＝花王株式会社、アサヒビール株式会社、帯広信用金庫、帯広日産自動車株式会社、ＪＴＢ帯広支店、東洋印刷株式会社
協力＝日本航空株式会社



ポスター

関連事業

美術講演会
「上海博物館の名宝」
講師＝丁　義忠氏（上海博物館研究員）
日時＝11月19日(土)　午後２時～３時30分
会場＝当館講堂

リレー作品解説
講師＝丁　義忠氏（上海博物館研究員）、朱　淑儀氏（上海博物館工芸部副研究員）、季　崇建氏（上海博物館青銅部員）
日時＝11月13日(日)、11月20日(日)、11月27日(日)、12月４日(日)、12月11日(日)、12月18日(日)　午後２時～３時
会場＝当館主展示室

土曜映写室
「中国の陶磁」「東洋古代ガラス」
日時＝11月５日(土)、11月12日(土)　午後２時～２時45分
会場＝当館講堂



図録

1952年に開館した上海博物館は、有史以前から近代に至る中国歴代の遺宝、文物を収集展示し、また発掘、調査研究を進める博物館として、発足以来40年にわたり活発な活動を継続し、優れた業績を収めてきた。コレクションの質の高さ、量の豊富さの点では、今日、故宮博物院、南京博物院と並び中国三大博物館の一つに数えられている。

上海博物館の全面的な協力によって実現した本展では、およそ12万点にもおよぶ同館の多彩なコレクションの中から厳選された青銅器、陶磁器、書画、工芸の各分野の代表作110点が公開された。これまで上海博物館のコレクションは、日本をはじめ欧米各国で公開されてきたが、本展によって東京以北では初めて、同館の特別展が実現した。しかも、出品作品の三分の二がこれまで国外に持ち出されることのなかった一級の名品で、とりわけ、商周時代の青銅器や明清時代の景徳鎮磁器、書画など世界的に注目を集める逸品の数々が展示された。

作品の展示構成は、主展示室１の入口に工芸品22点、次いで青銅器40点を展示、２室目には書画８点、陶磁器40点が展示された。会期中の毎週日曜日には、上海博物館からの随展員３名によるリレー形式の作品解説も開催され、一点一点の説明に聞き入る多くの入場者で賑わった。

展覧会には18,303人が来場、中国六千年の歴史が生んだ文化と美術の精華を熱心に鑑賞した。日中両国の長く深い文化のつながりと美の伝統へ思いを馳せる企画であった。



会場風景



会場風景

出品目録

青銅器

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
1	連珠紋𤰞	青銅器／河南省偃師二里頭出土	夏晩期（B.C.18c.-B.C.16c.）	高23.5　口径15.5
2	獣面紋爵	青銅器	商早期（B.C.16c.-B.C.14c.）	高14.6　口長15.0
3	獣面紋觚	青銅器	商早期（B.C.16c.-B.C.14c.）	高20.3　口径12.2
4	獣面紋鼎	青銅器	商早期（B.C.16c.-B.C.14c.）	高14.0　口径13.1
5	爻爵	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高19.9　口長18.0
6	𠂤觚	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高32.0　口径15.8
7	獣面紋𤰞	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高50.0　口径23.2
8	獣面紋盉	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高30.3　全長25.2
9	徙卣	青銅器／伝　河南省温県城北出土	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高18.5　口横12.4
10	𠂤共父丁卣	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高35.3　腹横18.7
11	宁罍	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高46.5　腹径32.7
12	獣面紋瑚	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高20.3　腹径32.9
13	犧首獣面紋尊	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高25.5　口径24.0
14	亜爵鼎	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高20.7　口径17.0
15	獣面紋鬲	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高14.6　口径11.1
16	酉父葵簋	青銅器	商晩期（B.C.14c.-B.C.11c.）	高17.4　口径23.5
17	父庚觶	青銅器	西周早期（B.C.11c.）	高14.9　口径7.6
18	貴引觥	青銅器	西周早期（B.C.11c.）	高25.4　全長24.0
19	徳鼎	青銅器	西周・成王期（B.C.11c. 後半）	高78.0　口径56.0
20	㲻鼎	青銅器	西周早期（B.C.11c.）	高20.8　口径16.4
21	或父癸方鼎	青銅器	西周早期（B.C.11c.）	高27.3　口横20.6
22	獣面紋甗	青銅器	西周早期（B.C.11c.）	高37.7　口径22.3

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
23	蝸身獣紋簋	青銅器	西周早期 (B.C.11c.)	高15.5 口径18.6
24	獣簋	青銅器	西周中期 (B.C.10c.)	高15.5 口径20.5
25	克鐘	青銅器／陝西省扶風県法門寺任村出土 (1890)	西周中期 (B.C.10c.)	高54.0 銑間32.4
26	山奢虎簋	青銅器	春秋早期 (B.C.770-B.C. 7 c. 前半)	高17.2 口横30.0
27	獣面紋龍流盉	青銅器	春秋中期(B.C.7c. 前半-B.C.6c. 前半)	高30.1 長39.2
28	犠尊	青銅器／山西省渾源県李峪村出土 (1923)	春秋晩期 (B.C. 6 c. 前半-B.C.476)	高33.7 長58.7
29	鳥獣龍紋壷	青銅器／山西省渾源県李峪村出土 (1923)	春秋晩期 (B.C. 6 c. 前半-B.C.476)	高44.2 口径16.5
30	象嵌獣紋敦	青銅器／山西省渾源県李峪村出土 (1923)	春秋晩期 (B.C. 6 c. 前半-B.C.476)	高16.0 腹横15.3
31	蟠蛇紋鼎	青銅器／山西省渾源県李峪村出土 (1923)	春秋晩期 (B.C. 6 c. 前半-B.C.476)	高18.9 腹径20.3
32	雙龍絡紋鑑	青銅器	春秋晩期 (B.C. 6 c. 前半-B.C.476)	高29.0 腹径33.2
33	呉王夫差鑑	青銅器／伝 河南省輝縣出土	春秋晩期 (B.C.495-B.C.473)	高45.0 口径73.0
34	厙氏扁壷	青銅器	戦国 (B.C.475-B.C.221)	高30.8 腹横31.1
35	蟠龍紋鼎	青銅器	戦国 (B.C.475-B.C.221)	高55.0 口径54.0
36	象嵌幾何雲紋敦	青銅器、象嵌	戦国 (B.C.475-B.C.221)	高25.6 腹横18.6
37	三龍紋鏡	青銅器	戦国 (B.C.475-B.C.221)	径15.9
38	魚形扁壷	青銅器	西漢 (前漢) (B.C.206-A.D. 8)	高31.8 口径4.4
39	柏氏伍子胥畫像鏡	青銅器／伝 浙江省紹興出土	東漢 (後漢) (25-220)	径20.7
40	狻猊葡萄鏡	青銅器	唐 (618-907)	径23.9

陶磁器

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
41	灰陶金鏤孔文豆	上海市青浦県崧沢出土 (1961)	崧沢文化 (B.C.3500頃)	高14.3 底径18.4 口径22.9
42	彩陶網文双耳壷		馬家窯文化 (B.C.2500頃)	高42.0 口径12.0 胴径40.0 底径12.5
43	紅陶鬹	上海市金山県亭林出土	良渚文化 (B.C.2300頃)	高23.8 幅19.2 胴径16.0
44	青釉錞于		戦国 (B.C.475-221)	高32.2 口径16.1 底径17.8
45	青磁堆塑樓閣人物壷		西晋 (265-317)	高49.7
46	青磁鶏首壷		西晋 (265-317)	高7.9 口径4.8 底径6.1
47	三彩騎馬女子		唐 (618-907)	高42.9 長38.5
48	三彩騎馬武人		唐 (618-907)	高39.0 長38.3
49	三彩女子		唐 (618-907)	高36.7
50	青磁四本水盂	越州窯	唐 (618-907)	高4.8 口径3.9 胴径8.7
51	黄釉褐緑彩花卉文枕	長沙窯	唐 (618-907)	高7.9 径14.5×9.0
52	白磁鉢「易定」銘	定窯	五代 (907-960)	高6.3 口径19.9 足径7.5
53	青磁盤	汝窯	北宋 (960-1127)	高2.9 口径17.1 足径9.1
54	白磁蓮口弦文六管瓶		北宋 (960-1127)	高40.7 口径4.3 底径11.7
55	白磁水禽文鉢	定窯	北宋 (960-1127)	高6.4 口径23.5 足径7.3
56	白地刻花花卉文枕	当陽峪窯	宋 (960-1127)	高13.2 径30.7×23.4
57	青磁牡丹文瓶	耀州窯	宋 (960-1127)	高48.4 口径7.5 胴径19.5 底径11.0
58	青磁貫耳瓶	哥窯	南宋 (1127-1279)	高10.1 口径2.6 足径5.5
59	青磁琮形瓶	龍泉窯	南宋 (1127-1279)	高28.6 口径8.7 胴径11.6 足径10.2
60	玳玻天目茶碗	吉州窯	宋 (960-1127)	高4.6 口径10.7 足径3.0
61	禾目天目茶碗「進琖」銘	建窯	宋 (960-1127)	高6.1 口径12.6 足径4.0
62	青磁雲龍文盤	龍泉窯	元 (1271-1368)	高6.9 口径34.4 足径12.6
63	白地鉄絵飛鳥文壷	磁州窯	元 (1271-1368)	高33.8 口径17.5 胴径36.3 足径14.6
64	白磁雲龍文高足杯	景徳鎮窯 上海市青浦県重固郷出土(1952)	元 (1271-1368)	高13.3 口径13.8 足径5.6
65	青花瓜草文稜花盤	景徳鎮窯	元 (1271-1368)	高7.0 口径45.0 足径25.0
66	釉裏紅菊唐草文鉢	景徳鎮窯	明・洪武 (1368-1398)	高16.2 口径40.4 足径23.0
67	青花蓮弁文碗	景徳鎮窯	明・永楽 (1403-1424)	高8.8 口径16.4 足径4.4
68	青花花文双耳葫芦形扁壷	景徳鎮窯	明・宣徳 (1426-1435)	高25.8 口径3.4 足径6.1×5.1
69	青花花唐草文壷	景徳鎮窯	明・宣徳 (1426-1435)	高13.3 口径7.6 底径4.5



「犠尊」



「青磁雲龍文盤」

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
70	青花龍波濤文盤	景徳鎮窯	明・宣徳（1426-1435）	高6.5　口径40.7　足径30.0
71	法花孔雀牡丹文壷	景徳鎮窯	明（中葉）（1368-1644）	高34.0　口径17.3　底径17.9
72	黄釉盤	景徳鎮窯	明・弘治（1488-1505）	高4.2　口径21.5　足径12.8
73	五彩花卉文水注（金襴手）	景徳鎮窯	明・嘉靖（1522-1566）	高27.0　口径5.9　足径8.1
74	五彩龍文壷	景徳鎮窯	明・嘉靖（1522-1566）	高37.4　口径21.8　底径18.8
75	三彩双龍文盤	景徳鎮窯	明・万暦（1573-1620）	高3.3　口径20.7　足径14.2
76	藍地粉彩牡丹文碗	景徳鎮窯	清・康熙（1622-1722）	高7.5　口径14.7　足径6.7
77	青花仙芝祝寿文瓶	景徳鎮窯	清・雍正（1723-1735）	高40.0　口径10.0　底径12.1
78	青花釉裏紅三果文高足杯	景徳鎮窯	清・雍正（1723-1735）	高11.6　口径16.6　足径4.7
79	青磁刻花文蓋付碗　茶葉抹金銀彩座	景徳鎮窯	清・乾隆（1736-1795）	高10.9　口径12.6　底径9.3
80	藍釉金彩瓢形三管瓶	景徳鎮窯	清・咸豊（1851-1861）	高27.1　口径2.5　底径8.9

書　画

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
81	石湖清勝図巻	紙本設色／文徴明（1470-1559）	明（1532）	縦23.3　横67.2
82	花卉巻	紙本設色／徐渭（1521-1593）	明（16c.）	縦33.5　横522.8
83	三陰道上図巻	紙本設色／呉彬（明末）	明（17c.）	縦31.8　横862.2
84	荷花水鳥図軸	紙本水墨／朱耷（1626-1705）	清（17c.）	縦163.8　横89.2
85	草書前後赤壁賦巻	紙本／祝允明（1460-1526）	明（15-16c.）	縦31.3　横1001.7
86	行草書五言古詩軸	紙本／文徴明（1470-1559）	明（15-16c.）	縦163.5　横49.1
87	行書寄陳眉公詩巻	紙本／董其昌（1555-1636）	明（1619）	第一段・縦25.9 横112.7　第二段・縦25.9 横113.0
88	篆隷書屏（４条）	紙本／趙之謙（1829-1884）	清（19c.）	各　縦177.0　横47.0

工　芸

No.	作品名	材質/作者/窯/出土地	時代	寸法(cm)
89	玉琮	玉／上海市青浦県崧沢出土（1976）	崧沢文化（B.C.3500頃）	高4.2
90	玉鳥	玉	西周早期（B.C.11c.-B.C.10c.）	右・長7.3　高3.8　左・長7.4　高3.7
91	玉鰐	玉	西周早期（B.C.11c.-B.C.10c.）	長7.8　幅3.5
92	玉人	玉	戦国（B.C.475-B.C.221）	高4.1　幅2.4
93	玉龍	玉	戦国（B.C.475-B.C.221）	長20.5　幅3.5
94	螭文玉璜	玉	前漢（B.C.202-A.D.８）	長10.9　幅2.8
95	雲龍文玉盤	玉	唐（618-907）	高2.0　口径10.3
96	楼閣人物堆朱稜花盤	漆	明・永楽（1403-1424）	高3.0　口径18.8
97	屈輪盒	漆	明晩期（17c.頃）	高4.0　口径7.7
98	山水人物螺鈿盤	漆	明（1368-1644）	上・高1.6 口径12.6 下・高1.7 口径12.6
99	九龍波濤堆朱椅	漆	清（1644-1911）	高101.0　径85.0×61.0
100	箕形端硯	石	唐（618-907）	長18.9　幅13.0　厚4.0
101	透彫刻花銅暖硯	青銅製	元（1271-1368）	長17.1　幅9.5　高6.8
102	五龍墨	墨	明（1368-1644）	径9.2
103	青花紅彩雲龍文磁管羊毛筆	磁器、羊毛	清・乾隆（1736-1795）	長27.0
104	螺鈿象嵌漆管毛筆	竹、羊毛	清（1644-1911）	長23.0
105	兕形銅水注	青銅	南北朝（439-580）	高7.5　長11.5
106	瓜形錫水注	青銅／沈存周	清（1644-1911）	高9.9　腹径5.9
107	透彫劉阮入天台香筒	竹(筒型容器)／朱稷／上海市宝山県葑城夫婦墓出土(1966)	明（1368-1644）	高16.5　口径3.7
108	留青飾石菊花筆筒	竹（筒型容器）／潘西鳳	清（1644-1911）	高10.2　口径6.3
109	留青銅蔭清涼図詩筒	竹（筒型容器）／尚助	清（1644-1911）	高10.1　口径5.9
110	浅刻赤壁賦詩筒	竹（筒型容器）／鄧渭	清・嘉慶元年（1796）	高11.1　口径5.6

＊　作品はすべて上海博物館蔵



朱耷「荷花水鳥図軸」



「楼閣人物堆朱稜花盤」

北海道・今日の美術　飛躍（うつわ）する器たち ― 工芸、建築、デザインは呼びかける

会期＝平成7年1月14日(土)―2月19日(日)
主催＝北海道立帯広美術館

企画＝北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館



ポスター



図録

建築と工芸は、その出発点が実用性にあり、人が住み、あるいは花や食物を納めるという「容器」としての機能を有してきた。しかし、現代の建築においてはそうした機能性を中心に据えながらも、新たな「美」の発見、創造を志向し、また工芸においてはどこかにその機能をとどめながら「美」の創造をめざす傾向にあることも見逃せない。つまり建築と工芸は、「用」と「美」とのはざまで、それぞれに距離の違いを見せながら多様な展開を示しているのである。

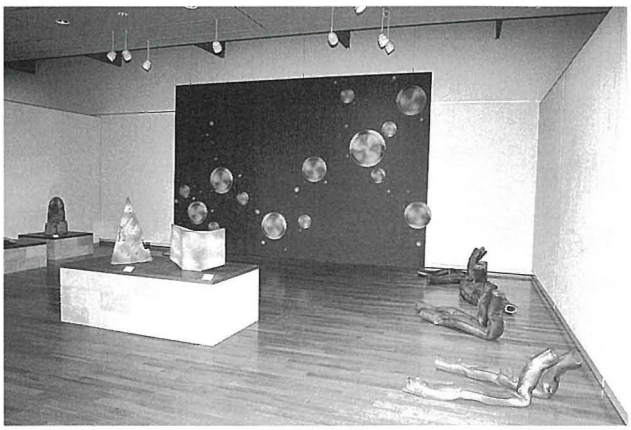
これらの作品は、オリジナリティーを求める現代人の美的心情をとらえ、建築は居住空間への創造力を、また工芸は個々の生活空間を演出するための選択を人々に呼びかけているといえる。

本展は、現代の我々の生活と多くの接点を持つ建築や工芸、さらにデザインも視野に入れて、それらが「用」と「美」の間でどのような創造性をみせているかを、北海道ゆかりの9作家による98点の作品で提示したものである。今日の北海道の美術の一断面が新たな切り口で紹介された展覧会として、本道美術の現況に理解と関心を深める好機となった。

なお、本展は道立美術館4館の共同企画展として企画立案され、それぞれの館で巡回開催された。



会場風景

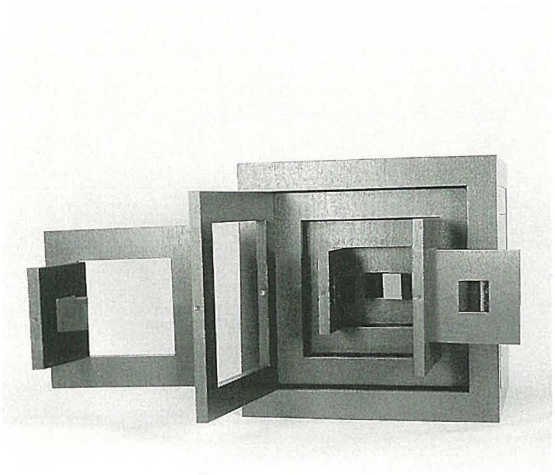


会場風景

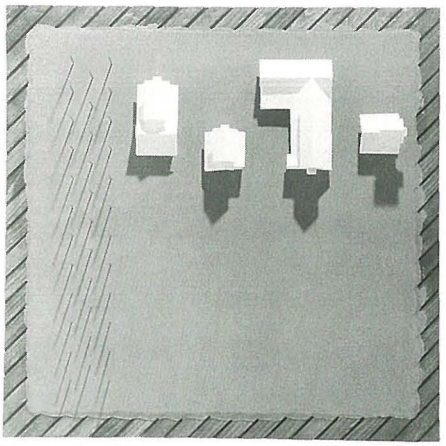
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	小川待子	無題	1990(平成2)年	陶	22.5×26.0×77.0	林屋晴三氏
2	小川待子	無題	1986(昭和61)年	陶	33.0×36.0×31.0	林屋晴三氏
3	小川待子	無題	1990(平成2)年	陶	14.2×27.0×15.2	林屋晴三氏
4	小川待子	無題	1988(昭和63)年	陶	22.0×30.0×24.5	林屋晴三氏
5	小川待子	無題	1986(昭和61)年	陶	10.0×26.0×7.0	林屋晴三氏
6	小川待子	無題	1991(平成3)年	陶	36.0×39.0×39.5	林屋晴三氏
7	小川待子	無題	1991(平成3)年	陶	34.0×36.0×39.0	林屋晴三氏
8	小川待子	無題	1994(平成6)年	陶	径50.0×12.5	林屋晴三氏
9	小川待子	無題	1990(平成2)年	陶	23.5×25.0×75.0	草月美術館
10	小川待子	無題	1990(平成2)年	陶	23.0×26.0×74.0	草月美術館
11	小川待子	無題	1990(平成2)年	陶	21.0×22.5×76.0	草月美術館
12	小川待子	無題	1993(平成5)年	陶	49.5×55.5×41.5	阿部勤氏
13	小川待子	無題	1993(平成5)年	陶	46.0×41.0×41.0	青木裕隆氏
14	小川待子	無題	1994(平成6)年	陶	19.5×84.0×7.5	個人蔵
15	小川待子	無題	1994(平成6)年	陶	径54.0×13.0	個人蔵
16	鹿目尚志	しばる	1980(昭和55)年	ガラス、コルク	径17.0×30.0	作者
17	鹿目尚志	脱出の試みA	1980(昭和55)年	ガラス、金属	60.0×65.0×65.0	作者
18	鹿目尚志	脱出の試みB	1980(昭和55)年	ガラス、金属	10.5×10.5×40.0	作者
19	鹿目尚志	空への脱出	1980(昭和55)年	ガラス、コルク、金属	13.0×11.0×42.5	作者
20	鹿目尚志	泡	1981(昭和56)年	ガラス、金属	30.0×30.0×24.0	作者
21	鹿目尚志	逃亡のくわだて一失意	1981(昭和56)年	ガラス、金属	20.0×25.0×25.0	作者
22	鹿目尚志	胎児	1981(昭和56)年	ガラス、コルク(2点組)	(各)径21.0×24.0	作者
23	鹿目尚志	逃亡のくわだてシリーズ／囚われ	1983(昭和58)年	ガラス、真鍮針金(8点組)	径6.5×33.4他	太田由子氏
24	鹿目尚志	封じ込め	1984(昭和59)年	再生紙、金属、塗装	67.0×67.0×74.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
25	鹿目尚志	はこの奥はこの奥	1987(昭和62)年	木、塗装	50.0×50.0×50.0	北海道立旭川美術館
26	鹿目尚志	BOX. XX	1992(平成4)年	木、塗装	50.0×50.0×50.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
27	鹿目尚志	ぬけ殻シリーズ GGG92610	1992(平成4)年	ロープ、布、塗装(2点組)	155.5×25.0×d25.0, 157.0×40.0×d35.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
28	鹿目尚志	ぬけ殻シリーズ GGG92611	1992(平成4)年	ロープ、布、塗装	193.0×113.0×d25.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
29	鹿目尚志	ぬけ殻シリーズ GGG92612	1992(平成4)年	ロープ、布、塗装	167.0×26.0×d26.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
30	鹿目尚志	ぬけ殻シリーズ GGG92613	1992(平成4)年	ロープ、布、塗装	112.0×50.0×d19.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
31	鹿目尚志	ぬけ殻シリーズ GGG92614	1992(平成4)年	ロープ、布、塗装	88.0×46.0×d30.0	八ヶ岳アート・ファーム「自在舎」
32	鹿目尚志	モールド・パコ(多目的ギフトボックス)	1987(昭和62)年	再生紙	11.0×11.5×31.5他	作者
33	鹿目尚志	モールド・パコ(ワインギフトボックス)	1992(平成4)年	再生紙	径13.0×33.5	作者
34	北川佳子	カタツムリ・シリーズ(帽子入れ)	1974(昭和49)年	紙、リボン	15.5×51.0×44.5他	作者
35	北川佳子	カタツムリ・シリーズ 正七角形〈IN THE SKY〉	1974(昭和49)年	紙	5.0×16.0×15.5他	作者
36	北川佳子	カタツムリ・シリーズ 二等辺三角形	1974(昭和49)年	紙	3.5×10.5×5.5	作者

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
37	北川佳子	カタツムリ・シリーズ 正三角形	1974(昭和49)年	紙	3.5×7.5×6.5	作者
38	北川佳子	正三角形になる箱袋〈ザ・トライアングル〉	1977(昭和52)年	紙	40.0×40.0×37.0他	作者
39	北川佳子	スカルトン・シリーズ	1979(昭和54)年	紙	A 2 判他	作者
40	北川佳子	WHITE SNAKE(ホワイトスネーク)	1991(平成 3)年	紙、電球、コード	9.0×9.0×5000.0	作者
41	北川佳子	輝る箱	1991(平成 3)年	紙、電球、コード	25.0×25.0×85.0他	作者
42	倉本龍彦	群(ゆうきくん家 1985 北海道鵡川町)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード他)	90.0×90.0×d13.6	作者
43	倉本龍彦	風景(p-bankハウス 1989 北海道美瑛町)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード、プラスチック板、発砲ウレタン他)	90.0×90.0×d10.6	作者
44	倉本龍彦	土地(ばあちゃんち 1972 北海道ニセコ町)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード、プラスチック板他)	90.0×90.0×d12.6	作者
45	倉本龍彦	屋根(かよさん家 1986 札幌市/上富良野ラベンダーゴルフクラブ 1987 北海道上富良野町)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰他)	90.0×90.0×d13.0	作者
46	倉本龍彦	壁(親方ん家 1984 紋別市/きくちゃん家 1985 旭川市)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード他)	90.0×90.0×d7.0	作者
47	倉本龍彦	床(えりちゃん家 1992 北海道鵡川町)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード、プラスチック板他)	90.0×90.0×d14.1	作者
48	倉本龍彦	天井(幹夫さん家 1992 札幌市)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンペーパー、プラスチック板他)	90.0×90.0×d10.4	作者
49	倉本龍彦	窓(旧たくん家 1983 札幌市)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰他)	90.0×90.0×d14.2	作者
50	倉本龍彦	仏壇(おばさん家 1988 札幌市)	1994(平成 6)年	ミクストメディア(木、漆喰、スチレンボード他)	90.0×90.0×d14.1	作者
51	佐々木けいし	〈汪〉 シリーズ	1994(平成 6)年	銅(5 点組)	径90.0×114.0,128.0×57.0,195.6×64.0,152.0×131.0,111.5×202.0	作者
52	南　正剛	GAZE TYPE Z-3	1989-90(平成元-2)年	陶	28.0×28.0×62.0	作者
53	南　正剛	GAZE TYPE Z-7	1989-90(平成元-2)年	陶	22.0×68.0×45.5	作者
54	南　正剛	GAZE TYPE T.C.	1989-90(平成元-2)年	陶	47.0×47.0×73.0	作者
55	南　正剛	GAZE TYPE-1	1990(平成 2)年	陶(5 点組)	27.0×46.0×69.5他	蓮井日出夫氏
56	南　正剛	GAZE TYPE 2-C	1990(平成 2)年	陶	24.0×75.0×31.0	作者
57	南　正剛	SCRATCH VASE No.7	1991(平成 3)年	陶	25.0×28.0×27.0	作者
58	南　正剛	GAZE TYPE '92-A	1992(平成 4)年	陶	20.0×58.0×59.0	作者
59	南　正剛	Bowl of Double Hole '92	1992(平成 4)年	陶	径52.0×13.0	作者
60	南　正剛	GAZE '93-4	1993(平成 5)年	陶	33.0×52.0×78.0	作者
61	南　正剛	Correlation	1994(平成 6)年	陶(8 点組)	21.0×96.0×53.0他	作者
62	南　正剛	Space-Milky Way	1994(平成 6)年	陶	360.0×540.0× d 31.0	作者
63	毛綱毅曠	「釧路市立博物館」コンセプトドローイング		墨、和紙	66.0×48.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所
64	毛綱毅曠	「釧路市立博物館」曼陀羅ドローイング		色鉛筆、洋紙	97.5×65.5	株式会社毛綱毅曠建築事務所
65	毛綱毅曠	「釧路市立博物館」ドローイング(俯瞰図、腑分図、解剖図)		エアーブラシ、洋紙	54.0×112.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所
66	毛綱毅曠	「釧路市立博物館」模型		アクリル、金属	90.0×90.0×15.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所



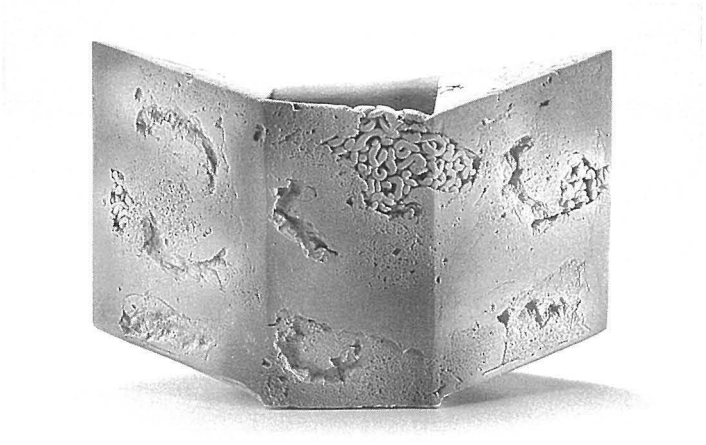
鹿目尚志「はこの奥はこの奥」



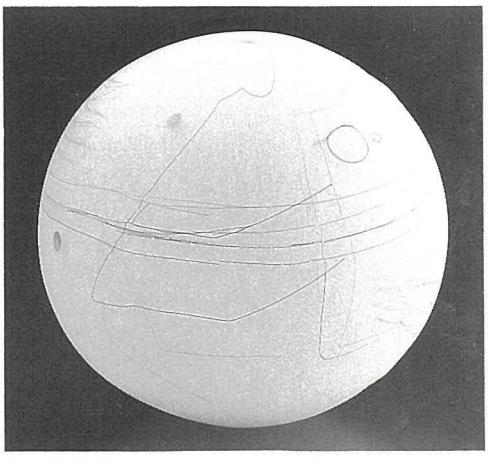
倉本龍彦「群（ゆうきくん家 1985 北海道鵡川町)」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
67	毛綱毅曠	「釧路フィッシャーマンズワーフ」曼陀羅ドローイング		色鉛筆、洋紙	130.0×130.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所
68	毛綱毅曠	「下川町タイムタワー」曼陀羅ドローイング		シルクスクリーン、洋紙	130.0×130.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所
69	毛綱毅曠	「下川町タイムタワー」模型		アクリル、金属	95.0×190.0×80.0	株式会社毛綱毅曠建築事務所
70	吉川千香子	面・ふたもの	1994(平成6)年	陶	21.0×19.0×21.0	作者
71	吉川千香子	面・ふたもの	1993(平成5)年	陶	32.0×22.0×20.0	作者
72	吉川千香子	面・ふたもの	1993(平成5)年	陶	28.0×20.0×21.0	作者
73	吉川千香子	椅子	1989(平成元)年	陶、木	85.0×50.0×145.0	作者
74	吉川千香子	椅子	1994(平成6)年	陶	48.0×45.0×85.0	作者
75	吉川千香子	椅子	1994(平成6)年	陶	49.0×44.0×83.0	作者
76	吉川千香子	椅子	1994(平成6)年	陶	47.0×50.0×90.0	作者
77	吉川千香子	椅子	1994(平成6)年	陶	50.0×42.0×78.0	作者
78	吉川千香子	椅子	1994(平成6)年	陶	50.0×65.0×80.0	作者
79	吉川千香子	テーブル	1994(平成6)年	陶	60.0×55.0×35.0	作者
80	吉川千香子	テーブル	1994(平成6)年	陶	44.0×53.0×40.0	作者
81	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	35.0×25.0×d8.0	作者
82	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	33.0×16.0×d6.0	作者
83	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	32.0×26.0×d7.0	作者
84	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	40.0×30.0×d7.0	作者
85	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	33.0×26.0×d7.0	作者
86	吉川千香子	面	1994(平成6)年	陶	32.0×18.0×d7.0	作者
87	吉川千香子	狛犬シリーズ	1994(平成6)年	陶	57.0×35.0×93.0	作者
88	吉川千香子	狛犬シリーズ	1994(平成6)年	陶	50.0×66.0×77.0	作者
89	吉川千香子	狛犬シリーズ	1994(平成6)年	陶	50.0×84.0×57.0	作者
90	米原眞司	ライン・ドローイング	1994(昭和6)年	ガラス	径32.0×29.5	作者
91	米原眞司	ライン・ドローイング	1994(昭和6)年	ガラス	径31.0×29.0	作者
92	米原眞司	ライン・ドローイング	1994(昭和6)年	ガラス	径31.5×28.5	作者
93	米原眞司	ライン・ドローイング	1994(昭和6)年	ガラス	径32.0×30.0	作者
94	米原眞司	カトマンドゥ	1993(昭和5)年	ガラス(2点組)	17.5×19.5×55.5, 19.0×22.5×54.5	作者
95	米原眞司	レッグス	1994(昭和6)年	ガラス	20.5×19.5×57.0	作者
96	米原眞司	レッグス	1994(昭和6)年	ガラス	21.5×21.5×55.0	作者
97	米原眞司	レッグス	1994(昭和6)年	ガラス	17.5×19.5×49.5	作者
98	米原眞司	レッグス	1994(昭和6)年	ガラス	22.0×24.0×47.5	作者

＊ 寸法は、立体作品は、奥行×幅×高さ、または径×高さ
平面(レリーフ)作品は、縦×横(×d奥行)



南　正剛「GAZE TYPE Z-7」



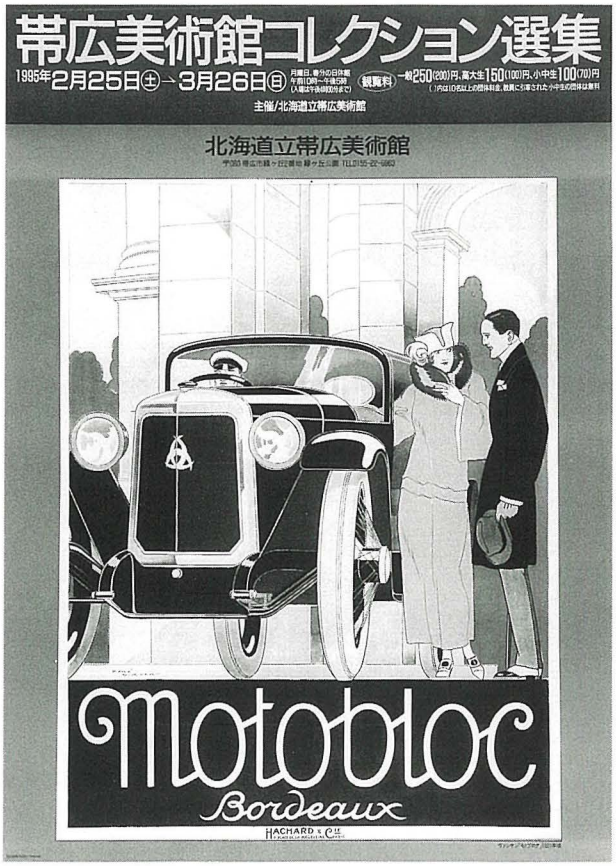
米原眞司「ライン・ドローイング」

帯広美術館コレクション選集

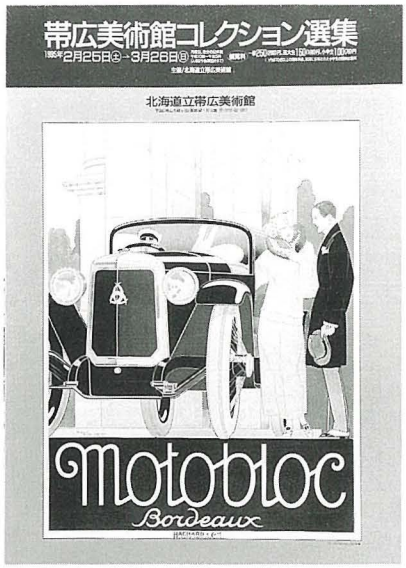
会期＝平成7年2月25日(土)－3月26日(日)
主催＝北海道立帯広美術館

美術館にとってコレクションは活動の核となる重要なものである。北海道立帯広美術館は、平成３年９月の開館以来、多くの展覧会の企画・開催を進めると同時に積極的な作品収集を行ってきた。道東の美術とプリントアートの２つを柱としたコレクションは平成６年度収集分までで437点に達している。これらは日頃、当館のコレクション・ギャラリーにおいて年３～４回程度の展示替えによりその一部を紹介しているが、これまでまとまった形で展示されたことはなかった。

本展は、開館４年目を迎えて充実しつつある当館のコレクションに焦点を当て、選りすぐった41作家69点の作品をコレクションの特色を示す「ヨーロッパのポスター」「道東の美術」「道東の版画」「今日のプリントアート」の４コーナーに分けて紹介した展覧会である。



ポスター



パンフレット



会場風景



会場風景

出品目録

ヨーロッパのポスター

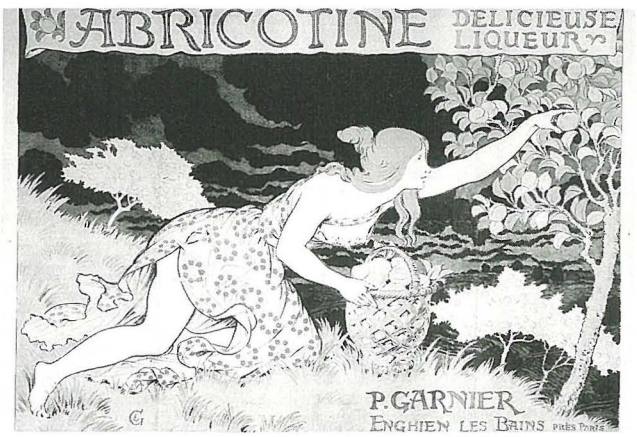
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ピエール・ボナール	画家の版画家	1896年	リトグラフ、紙	64.5×47.0
2	ピエール・ボナール	版画とポスター	1897年	リトグラフ、紙	83.0×61.0
3	レオネット・カピエッロ	金の鵞鳥	1937年頃	リトグラフ、紙	109.0×154.5
4	レオネット・カピエッロ	ル・プティ・ドーフィノワ	1933年	リトグラフ、紙	109.6×152.9
5	アドルフ・ムロン・カッサンドル	北鉄道（羅針盤）	1929年	リトグラフ、紙	100.0×62.3
6	アドルフ・ムロン・カッサンドル	ボナル	1935年	リトグラフ、紙	154.2×114.5
7	アドルフ・ムロン・カッサンドル	パリ	1936年	リトグラフ、紙	104.0×62.4
8	ジュール・シュレ	ルーブル百貨店　初売り出し	1896年	リトグラフ、紙	119.5×82.0
9	ジュール・シュレ	サクソレーヌ（安全灯油）	1896年頃	リトグラフ、紙	243.5×85.0
10	ポール・コラン	ジョセフィン・ベイカー	1925年	リトグラフ、紙	80.0×60.0
11	ポール・コラン	W公園	1935年	リトグラフ、紙	80.0×60.0
12	ジョルジュ・ド・フール	パリ暦（書籍）	1894年	リトグラフ、紙	79.5×62.0
13	ウジェーヌ＝サミュエル・グラッセ	アプリコット酒（杏酒）	不詳	リトグラフ、紙	109.5×149.5
14	アンリ・ド・トゥールズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892-93年	リトグラフ、紙	80.4×60.0
15	アンリ・ド・トゥールズ＝ロートレック	ドイツのバビロン	1894年	リトグラフ、紙	122.0×86.7
16	アンリ・ド・トゥールズ＝ロートレック	エグランティーヌ嬢一座	1896年	リトグラフ、紙	59.5×79.0
17	A．マンション	肖像画、デッサン、宝石の展覧会	不詳	リトグラフ、紙	88.5×125.0
18	アルフォンス・マリア・ミュシャ	ジョブ（たばこ紙）	1898年	リトグラフ、紙	141.5×94.0
19	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	黒猫	1896年	リトグラフ、紙	61.2×38.1
20	ルネ・ヴァンサン	モトブロク	1927年頃	リトグラフ、紙	154.3×113.2
21	ルネ・ヴァンサン	ビュイック	1929年	リトグラフ、紙	155.7×113.7

道東の美術

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
22	伊藤　隆二	池のほとり	1931(昭和６)年	油彩、キャンバス	72.8×91.0
23	伊藤　隆二	裏門	1933(昭和８)年	油彩、キャンバス	66.6×91.0
24	神田　日勝	痩馬	1956(昭和31)年	油彩、板	52.3×60.6
25	神田　日勝	画室D	1966(昭和41)年	油彩、板	163.0×183.0
26	竹山　義雄	早春山野	1978(昭和53)年	油彩、キャンバス	130.6×162.0
27	竹山　義雄	山湖（レイクルイズ）	1979(昭和54)年	油彩、キャンバス	130.3×162.1
28	寺島　春雄	竪穴	1942(昭和17)年	油彩、キャンバス	130.3×97.1
29	寺島　春雄	柵と人	1957(昭和32)年	油彩、キャンバス	162.1×130.7
30	富谷　道信	アデラの記憶	1980(昭和55)年	木	115.0×30.0×50.0
31	楢原　武正	黒の惑星 '85-3	1985(昭和60)年	油彩、コラージュ、トタン板	222.7×182.0
32	能勢　眞美	疎林初秋	1967(昭和42)年	油彩、キャンバス	97.0×162.0
33	能勢　眞美	樹草	1973(昭和48)年	油彩、キャンバス	97.0×145.5
34	望月　正男	落日	1977(昭和52)年	油彩、キャンバス	112.1×145.5
35	森　　健二	光年のメロディー No.3	1968(昭和43)年	油彩、キャンバス	130.5×162.5
36	八鍬　一郎	糠平の風景	1956(昭和31)年	油彩、キャンバス	60.6×50.0

道東の版画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
37	阿部　貞夫	くまげらと摩周	1958(昭和33)年	木版、紙	37.9×27.0
38	池田　良二	Space of foggy ocean（海霧の空間）	1990(平成２)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
39	池田　良二	Time of frozen ground（凍土の時）	1990(平成２)年	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
40	岡部　昌生	Stroke-on the road at Hirosimacho in Sapporo, September 7-November 15, 1987	1987(昭和62)年	鉛筆、紙（３点組）	各300.0×152.0
41	岡部　昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991(平成３)年	鉛筆、紙（10点組）	各50.9×39.4
42	渋谷　栄一	ある女	1968(昭和43)年	エッチング、シュガーアクアチント、紙	60.0×36.5
43	渋谷　栄一	楽園の子供達	1971(昭和46)年	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント、紙	36.5×50.0
44	渋谷　栄一	サーカスと白い馬	1977(昭和52)年	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント、紙	44.7×33.0
45	多賀　新	女と止場	1974(昭和49)年	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	42.0×36.5
46	多賀　新	魚 No.17（シーラカンス）	1979(昭和54)年	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
47	多賀　新	風天	1986(昭和61)年	エッチング、紙	45.5×36.5
48	手島圭三郎	人魚と破船	1971(昭和46)年	木版、紙	53.0×75.0
49	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972(昭和47)年	木版、紙	75.0×53.0
50	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990(平成２)年	木版、紙	53.0×73.0
51	中谷　有逸	三羽の鳥（夜に飛ぶ）	1974(昭和49)年	シルクスクリーン、紙	50.2×34.7
52	中谷　有逸	碑（鐸）	1976(昭和51)年	凸凹併用版、紙	59.0×39.5
53	中谷　有逸	碑（結果）	1990(平成２)年	凸凹併用版、紙	58.3×40.2
54	矢柳　　剛	愛の動物誌（A）	1971(昭和46)年	シルクスクリーン、紙	40.5×72.5
55	矢柳　　剛	みえる鏡を拒否する鏡	1972(昭和47)年	シルクスクリーン、紙	78.0×103.5



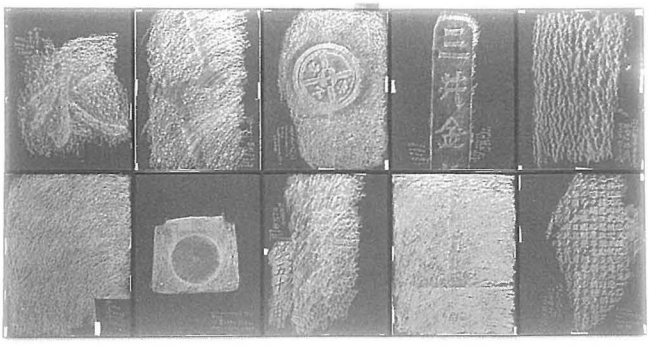
E.グラッセ「アプリコット酒(杏酒)」


能勢眞美「樹草」

今日のプリントアート

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
56	靉嘔	オープニング或いは再び田園	1992(平成4)年	シルクスクリーン、紙（2点組）	各105.0×157.0
57	秋岡　美帆	ゆれるかげ	1992(平成4)年	スキャナーグラフ（NECO)、麻紙	153.5×212.5
58	一原　有徳	SON4(b)	1983(昭和58)年	モノタイプ、紙	径50.1×240.0
59	一原　有徳	ZON88	1988(昭和63)年	モノタイプ、鳥の子紙（5点組）	151.0×425.0
60	大浦　一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13↪普賢岳（川は水を必要としていた）	1994(平成6)年	写真、ミクストメディア、紙	169.0×225.0
61	島　　州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982-85(昭和57-60)年	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、スチレンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×d11.3
62	島　　州一	新聞紙に新聞紙	1974(昭和49)年	シルクスクリーン、新聞紙	82.0×55.0
63	島　　州一	新聞紙に泥のプリント	1976(昭和51)年	シルクスルクーン、新聞紙	81.5×54.5
64	百瀬　　寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981(昭和56)年	スキャナーグラフ（NECO)、キャンバス	180.0×180.2
65	横尾　忠則	ブルー・ワンダーランド	1973(昭和48)年	シルクスクリーン、紙（8点組）	241.8×290.4
66	横尾　忠則	葬列II	1985(昭和60)年	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×d9.5
67	M.スターン，D.スターン	若い娘たち	1990-93年	写真、紙、木（9点組）	61.0×41.0他
68	フランク・ステラ	スワン・エングレーヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985年	エッチング、ミクストメディア、紙	169.0×133.0
69	ロバート・ラウシェンバーグ	スリングーショッツ・リット No.8	1985年	シルクスクリーン、ミクストメディア	214×142×d32

＊　寸法は、立体作品は、奥行×幅×高さ、または径×高さ。平面（レリーフ）作品は、縦×横（×d奥行）
＊　No.60,65,67,69は北海道立帯広美術館保管作品。他は北海道立帯広美術館蔵



岡部昌生「オビヒロ・マトリックス1991の10ピース」



横尾忠則「葬列II」

教育普及事業

美術講演会

各分野の専門家を招いて、主としてそれぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後２時～３時30分
場所＝当館講堂（聴講無料）



絵画主題の移り変わり ── 聖なるものから俗なるものへ

平成5年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
4月10日	昭和の日本画 ―５人の伝統と革新	奥岡茂雄氏	北海道立近代美術館学芸部長	日本画・道産子の巨匠たち	50
5月15日	英国絵画の黄金時代 ―ラファエル前派からヴィクトリア朝絵画へ	千足伸行氏	成城大学教授	珠玉の英国絵画展	103
7月10日	ヨーロッパ近代絵画の流れ ―印象派から20世紀へ	佐藤友哉氏	北海道立近代美術館学芸第一課長	印象派とヨーロッパ近代絵画展	44
8月21日	ポーランド派ポスターの周辺	金子賢治氏	東京国立近代美術館主任研究官	ポーランド・ポスター100年展	41
9月18日	オノレ・ドーミエの芸術	大河内菊雄氏	伊丹市立美術館長	オノレ・ドーミエ展	42
2月19日	夫・永瀬義郎の思い出	永瀬照子氏	版画家	日本近代版画の歩み展	38

平成6年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
5月14日	葛飾北斎―その人と芸術	永田生慈氏	津和野・葛飾北斎美術館長	葛飾北斎展	81
8月6日	ドイツ表現主義における生命の形 ―世紀末の自然科学と芸術	前田富士男氏	慶応義塾大学教授	ドイツ表現主義の版画展	68
8月20日	紅型の世界―伝統の美	長崎　巌氏	東京国立博物館工芸課染織室長	紅型―琉球衣装の美	78
10月15日	絵画主題の移り変わり ―聖なるものから俗なるものへ	勝　國興氏	同志社大学教授	ナンシー美術館名作展	105
11月19日	上海博物館の名宝	丁　義忠氏	上海博物館研究員	中国六千年の秘宝展	171

特別展セミナー

各展覧会に関係したテーマで当館の学芸員が解説を行った。

時間＝午後2時～3時
場所＝当館講堂（聴講無料）

平成5年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
4月17日、5月1日	表現と精神 —道産子の巨匠たち	寺嶋弘道	当館学芸課長	日本画・道産子の巨匠たち	14
5月22日、6月5日	イギリス近代絵画の展開	光岡幸治	当館学芸員	珠玉の英国絵画展	60
7月17日、7月31日	色彩の革命 —フォーヴィスムとドイツ表現主義	佐藤幸宏	当館学芸員	印象派とヨーロッパ近代絵画展	32
9月25日、10月23日	風刺の眼 —19世紀フランス社会とドーミエ	佐藤幸宏	当館学芸員	オノレ・ドーミエ展	37
1月15日、2月12日	ヴァザルリの造形世界 —初期から今日まで	光岡幸治	当館学芸員	ヴィクトル・ヴァザルリ展	27

平成6年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
5月7日、5月21日	江戸・浮世絵芸術の精華	光岡幸治	当館学芸員	葛飾北斎展	55
6月11日、7月9日	美の花嫁—描かれた女性たち	寺嶋弘道	当館学芸課長	麗しの女性たち展	59
7月30日、8月13日	偉大なる精神の王国へ —青い騎手の木版画	佐藤幸宏	当館学芸員	ドイツ表現主義の版画展	14
8月27日、9月17日	紅型と染色工芸の美	光岡幸治	当館学芸員	紅型—琉球衣装の美	41
9月24日、10月8日	ヨーロッパ絵画の黄金時代 —バロックとロココ	佐藤幸宏	当館学芸員	ナンシー美術館名作展	48

美術鑑賞講座

美術についての基礎的な知識を学ぶことを目的に、ひとつのテーマにもとづいた鑑賞講座を4週シリーズで開催した。

時間＝午後2時～3時30分
場所＝当館講堂（聴講無料）、応募制



鑑賞入門・古代美術への誘い：中国美術の源流

平成5年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	聴講人員
11月13日	鑑賞入門・日本のモダニズム―大正から昭和へ ：フォーヴィスムの波及	佐藤幸宏	当館学芸員	42
11月20日	鑑賞入門・日本のモダニズム―大正から昭和へ ：前衛藝術の美と思想 ―未来派、表現派、構成派を中心に	千葉宣一氏	帯広畜産大学教授	41
11月27日	鑑賞入門・日本のモダニズム―大正から昭和へ ：シュルレアリスム表現の台頭	寺嶋弘道	当館学芸課長	36
12月4日	鑑賞入門・日本のモダニズム―大正から昭和へ ：抽象絵画の形成	光岡幸治	当館学芸員	41

平成6年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	聴講人員
11月26日	鑑賞入門・古代美術への誘い ：栄光の古代エジプト	寺嶋弘道	当館学芸課長	62
12月3日	鑑賞入門・古代美術への誘い ：ギリシャ美術の開花	佐藤幸宏	当館学芸員	57
12月10日	鑑賞入門・古代美術への誘い ：中国美術の源流	丁　義忠氏	上海博物館研究員	49
12月17日	鑑賞入門・古代美術への誘い ：オリエント文明の遺産	光岡幸治	当館学芸員	45

土曜映写室

主として各展覧会に関係のある内容の映画、ビデオ、LD等を上映した。

時間＝午後２時～
場所＝当館講堂（入場無料）

平成5年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場人員
4月24日	「日本の巨匠　岩橋英遠」、「日本の巨匠　片岡球子」、「道産子追憶之巻」	日本画・道産子の巨匠たち	16
5月29日、6月12日、6月19日	「風景画の世界」、「ターナー」	珠玉の英国絵画展	72
6月26日	「マネ／モネ」	印象派とヨーロッパ近代絵画展	37
8月7日	「光と色彩の讃歌」、「都市の自画像」	印象派とヨーロッパ近代絵画展	30
10月2日、10月9日	「自然への情熱」、「レアリスムの挑戦」	オノレ・ドーミエ展	33
1月8日、1月29日	「視覚美術館―ふしぎな錯覚の世界」	ヴィクトル・ヴァザルリ展	59
2月26日、3月26日	「“彫る”棟方志功の世界」	日本近代版画の歩み展	22
3月12日	土曜映写室スペシャル「CGの冒険 III」		12
3月19日	土曜映写室スペシャル「CGの冒険 III」		3

平成6年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場人員
4月30日、5月28日	「冨嶽三十六景」、「東海道五十三次」	葛飾北斎展	52
6月4日	「近代彫刻の展開」、「広がるアール・ヌーヴォー」	麗しの女性たち展	11
6月18日	「色彩の探求」、「楽園への夢」	麗しの女性たち展	17
7月2日	「美の革命」、「二十世紀へのかけ橋」	麗しの女性たち展	16
7月23日	「カンディンスキー―形態から精神へ」	ドイツ表現主義の版画展	11
10月1日	「肖像画の系譜」、「神話の世界」	ナンシー美術館名作展	10
10月22日	「理想郷への憧れ」、「物との対話」	ナンシー美術館名作展	13
11月5日、11月12日	「中国の陶磁」、「東洋古代ガラス」	中国六千年の秘宝展	112
1月21日	土曜映写室スペシャル「CGの冒険 IV」		53
1月28日	土曜映写室スペシャル「CGの冒険 IV」		36

アートウォッチング

現代美術に対する理解を深めるため、作家と市民が共同で作品制作を実施。作者の造形精神とその手法を公開制作により紹介した。



アートウォッチング93　美の現場＝楢原武正



アートウォッチング94　美の現場＝中江紀洋

平成5年度

開催期日	事業名	内容	作者	関連展覧会	制作作品名
7月22日、23日、24日、25日	アートウォッチング93 美の現場＝楢原武正 構築と解体―野生のエナジー	藤丸ふれあい広場、美術館モニュメント広場及び中庭において立体作品を制作。	楢原武正	楢原武正展	コラボレーション93-722 コラボレーション93-723 コラボレーション93-725

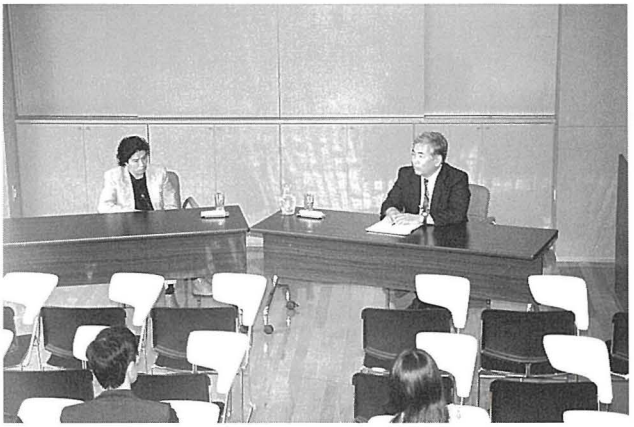
平成6年度

開催期日	事業名	内容	作者	関連展覧会	制作作品名
6月24日、25日、26日	アートウォッチング94 美の現場＝中江紀洋 見果てぬ過去へのスクリプト	藤丸ふれあい広場、美術館モニュメント広場、裏庭及び中庭において立体作品を制作。	中江紀洋	中江紀洋展	時をさまよう方舟 停泊・流れの中で 流れ(Stream)

トークショー

アートウォッチング、および現代作家のワンマンショーに関連して、対談形式のトークショーを開催した。

時間＝午後2時～3時30分
場所＝当館講堂（入場無料）



異文化からの啓示－彫刻とインスタレーション

平成5年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
8月14日	美の原風景―創造と創意と	楢原武正氏 加藤玖仁子氏	美術家 美術評論家	楢原武正展	54

平成6年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講人員
7月16日	異文化からの啓示 ―彫刻とインスタレーション	中江紀洋氏 竹澤雄三氏	美術家 広島市現代美術館学芸課長	中江紀洋展	36

キッズ・ミュージアム

親子連れの家族を対象とした事業。子供たちのための造形教室を実施することにより、その間保護者に展覧会鑑賞の機会を提供した。当館ボランティアの協力により実施。

時間＝午後2時～3時
場所＝当館講堂、応募制



キッズ・ミュージアム94　美の託児室＝おり紙、きり絵、かた紙版画

平成5年度

開催期日	事業名	内容	関連展覧会	参加人員
9月4日、11日	キッズ・ミュージアム93 美の託児室＝彩(いろどり)いろいろ・コマ作り!!	子ども：造形教室 保護者：展覧会の鑑賞	ポーランド・ポスター100年展 楢原武正展	47

平成6年度

開催期日	事業名	内容	関連展覧会	参加人員
9月3日、10日	キッズ・ミュージアム94 美の託児室＝おり紙、きり紙、かた紙版画	子ども：造形教室 保護者：展覧会の鑑賞	紅型―琉球衣装の美 中江紀洋展	93

ミュージアム・コンサート

室内楽の名曲を楽しむコンサートを実施した。

時間＝午後2時～
場所＝コレクション・ギャラリー、応募制



ミュージアム・コンサート　愛の言葉～チェロ名曲集

平成5年度

開催期日	事業名	演奏者	演奏者所属（職業等）	参加人員
7月3日	名曲コレクション ―ソプラノとヴァイオリンによる	橋詰真理氏 橋詰真由美氏	ヴァイオリン演奏家、音楽教室講師 声楽家、音楽教室講師	130

平成6年度

開催期日	事業名	演奏者	演奏者所属（職業等）	参加人員
2月4日	愛の言葉～チェロ名曲集	川崎昌子氏 竹中馨子氏	札幌交響楽団チェロ奏者 ピアニスト、音楽教室講師	144

団体オリエンテーション

当館の概要と開催中の展覧会の内容を紹介するオリエンテーションを希望の団体に実施。

時間＝随時
場所＝当館講堂（無料）、申込制

平成5年度

事業名	内容	関連展覧会	実施回数	人数	備考
オリエンテーション	館概要と展覧会の紹介（スライド使用）	日本画・道産子の巨匠たち	0回	0人	団体観覧者の希望に応じ随時、実施。
		珠玉の英国絵画展	17回	853人	
		印象派とヨーロッパ近代絵画展	42回	2,634人	
		ポーランド・ポスター100年展	10回	708人	
		オノレ・ドーミエ展	25回	848人	
		今日のアメリカ写真展	16回	694人	
		ヴィクトル・ヴァザルリ展	3回	50人	
		日本近代版画の歩み展	2回	39人	

平成6年度

事業名	内容	関連展覧会	実施回数	人数	備考
オリエンテーション	館概要と展覧会の紹介（スライド使用）	葛飾北斎展	11回	420人	団体観覧者の希望に応じ随時、実施。
		麗しの女性たち展	29回	1,491人	
		ドイツ表現主義の版画展	8回	281人	
		紅型―琉球衣装の美	10回	567人	
		ナンシー美術館名作展	30回	1,850人	
		中国六千年の秘宝展	30回	1,512人	
		北海道・今日の美術	4回	321人	
		帯広美術館コレクション選集	1回	10人	

その他

「中国六千年の秘宝展」に関連し、展覧会会場内において上海博物館からの随展員3名によるリレー形式の作品解説を実施した。

日時＝平成6年11月13日(日)、11月20日(日)、11月27日(日)、
12月4日(日)、12月11日(日)、12月18日(日)
午後2時～3時
場所＝当館主展示室



リレー作品解説

事業名	講師氏名	講師所属(職業等)	関連展覧会	参加人員
リレー作品解説	丁　義忠氏	上海博物館研究員	中国六千年の秘宝展	380
	朱　淑儀氏	上海博物館工芸部副研究員		
	季　崇建氏	上海博物館青銅部員		

美術作品の収集

平成5年度　作品収集状況

区　分	前年度末作品収蔵数	平成5年度収集数				作品総数	受託作品		
		購入	受贈	委託制作	計		前年度末	平成5年度	計
油彩	32(9.5%)	1	10	0	11	43(10.0%)	29	0	29
日本画	4(1.2%)	0	1	0	1	5(1.2%)	1	0	1
水彩・素描	7(2.1%)	0	0	0	0	7(1.6%)	10	0	10
版画	157(46.9%)	3	0	0	3	160(37.2%)	1	0	1
彫塑	5(1.5%)	0	0	0	0	5(1.2%)	1	0	1
工芸	0(0 %)	0	0	0	0	0(0 %)	0	0	0
デザイン	130(38.8%)	45	35	0	80	210(48.8%)	0	0	0
写真	0(0 %)	0	0	0	0	0(0 %)	0	0	0
合計	335(100 %)	49	46	0	95	430(100 %)	42	0	42

購　入

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
93047	油彩	矢柳　剛	宇宙と人間D	1961(昭和36)年	油彩、キャンバス	161.7×112.1
93048	版画	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992(平成4)年	スキャナグラフ(NECO)、麻紙	153.5×212.5
93049	版画	J.B.ヨンキント	オンフルール港の入口	1863年	エッチング、紙	22.1×30.5
93050	版画	J.B.ヨンキント	オランダの風車	1867年	エッチング、紙	13.7×18.8
93001	デザイン	G.フォール	ディレクタ自転車	1930年	リトグラフ、紙	110.5×74.2
93002	デザイン	G.フォール	ビール「巨人」	1933年	リトグラフ、紙	150.0×113.5
93003	デザイン	M.レ	アンリ・エスデール・グランプリ(自転車競争)	1928年	リトグラフ、紙	114.0×71.5
93004	デザイン	E.ベネール	アーラウ	1937年頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
93005	デザイン	O.バウムベルガー	高品質 PKZ	1921年	リトグラフ、紙	124.5×84.2
93006	デザイン	R.ボンフィス	アルプス	1939年	リトグラフ、紙	97.0×122.0
93007	デザイン	R.ランピット	コーンウォール	1920年頃	リトグラフ、紙	100.0×123.5
93008	デザイン	J.ドランシー	ナジャ	1930年頃	リトグラフ、紙	149.3×98.0
93009	デザイン	ドランシー原作	ニコラ、配達するネクタル	1930年	リトグラフ、紙	231.0×154.0
93010	デザイン	F.リバ	マルケス・デル・メリト,ワインとコニャック	1920年	リトグラフ、紙	152.0×109.0
93011	デザイン	B.ヴィレモ	ツィンツァーノ・ブラン	1940年頃	リトグラフ、紙	154.8×112.0
93012	デザイン	B.ヴィレモ	エール・フランス、北アフリカ	1946年	リトグラフ、紙	98.0×61.5
93013	デザイン	B.ヴィレモ	スペイン	1957年	オフセット、紙	96.8×60.3
93014	デザイン	F.M.ロガノ	国立高等美術学校舞踏会	1927年	リトグラフ、紙	144.5×94.5
93015	デザイン	バルドリヒ	フルーツは健康食品	1928年	リトグラフ、紙	107.5×66.5
93016	デザイン	GIR(Ch.F.ジラール)	レオ・マデレーヌ	1925年	リトグラフ、紙	151.0×107.0
93017	デザイン	デロスク	ミスタンゲット	1920年頃	リトグラフ、紙	181.0×97.7
93018	デザイン	R.デュカテ	フェリックス・ペルノー（アニス酒）	1932年	リトグラフ、紙	150.0×111.8
93019	デザイン	Ch.ルポ／J.カルリュ	モンサヴォン	1936年	リトグラフ、紙	64.8×46.0
93020	デザイン	J.ドン	ドーヴィル	1930年頃	リトグラフ、紙	154.0×111.8

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
93021	デザイン	J.ドン	ジェーン・マーニー	1935年	リトグラフ、紙	153.5×110.5
93022	デザイン	W.エルマン	アンタール	1922年	リトグラフ、紙	154.0×111.0
93023	デザイン	A.ソロン	ファルマン航空	1930年	リトグラフ、紙	93.0×55.0
93024	デザイン	J.ナタン	ル・アーヴル港再建公債	不詳	オフセット、紙	76.5×56.6
93025	デザイン	P.ルイス	シトロエン	1924年	リトグラフ、紙	155.5×110.5
93026	デザイン	R.グリュオ	くつろぎ	1950年	オフセット、紙	95.5×62.0
93027	デザイン	オ・ガロップ	ミシュラン自転車タイヤ	1920年	リトグラフ、紙	95.2×74.0
93028	デザイン	H.ル・モニエ	ヴァルミア	1937年	リトグラフ、紙	150.5×110.5
93029	デザイン	R.ペロー	コルセット「フェレット」	1933年	リトグラフ、紙	133.6×95.0
93030	デザイン	M.ヴェルテス	マリブランのシモーヌ・フレヴァル	1923年	リトグラフ、紙	122.3×82.5
93031	デザイン	オルスキー	モサン帽子	1928年	リトグラフ、紙	153.5×112.0
93032	デザイン	J.コクトー	オルフェの遺言	1949年	リトグラフ、紙	158.5×116.5
93033	デザイン	P.コラン	ジョセフィン・ベイカー	1925年	リトグラフ、紙	76.0×56.4
93034	デザイン	P.コラン	W公園	1935年	リトグラフ、紙	82.6×60.8
93035	デザイン	ロビース	トニ・コーラ	1935年	リトグラフ、紙	192.5×124.0
93036	デザイン	C.ガドゥ	ワイン「ローマ軍」	1935年	リトグラフ、紙	148.0×111.0
93037	デザイン	F.ドロスト	8日間券	1936年	リトグラフ、紙	97.0×60.0
93038	デザイン	A.ラスムスン	DSBデンマーク国立鉄道	1937年	リトグラフ、紙	96.2×58.6
93039	デザイン	オプパッハーAG	バーデン＝バーデン	1934年	リトグラフ、紙	119.5×76.0
93040	デザイン	スタール	ソーヴィヨン・ブランデー	1925年	リトグラフ、紙	58.0×37.0
93041	デザイン	J.A.メルシエ	モーリス・シュヴァリエ	1936年	リトグラフ、紙	77.0×58.8
93042	デザイン	R.d.ヴァレリオ	シェリー酒モーリス・シュヴァリエ	1935年	リトグラフ、紙	150.3×113.0
93043	デザイン	不詳	ビュイーズ自動車	1924年	リトグラフ、紙	134.0×92.5
93044	デザイン	不詳	これがベルリエ	1924年	リトグラフ、紙	135.0×92.0
93045	デザイン	不詳	シトロエン在庫	1923年	リトグラフ、紙	151.0×110.5

＊　寸法は縦×横



秋岡美帆「ゆれるかげ」



G.フォール「ディレクタ自転車」

受　贈

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)	寄贈者
93051	油彩	楢原武正	日の出	1975(昭和50)年	油彩、キャンバス	165.0×132.5	楢原武正氏
93052	油彩	楢原武正	子供の国	1977(昭和52)年	油彩、キャンバス	181.5×227.5	楢原武正氏
93053	油彩	楢原武正	無題	1980(昭和55)年	油彩、キャンバス	183.5×259.0	楢原武正氏
93054	油彩	楢原武正	無題	1981(昭和56)年	油彩、キャンバス	227.5×182.0	楢原武正氏
93055	油彩	楢原武正	冬の街（E）	1979(昭和54)年	油彩、キャンバス	96.5×130.0	楢原武正氏
93056	油彩	楢原武正	黒の惑星17-1-7	1981(昭和56)年	トタン板、空き缶、廃品、釘、針金、塗料	162.5×129.5	楢原武正氏
93057	油彩	楢原武正	無題	1984(昭和59)年	トタン板、釘、針金、塗料	170.0×170.0	楢原武正氏
93058	油彩	楢原武正	黒の惑星'90-17	1990(平成２)年	トタン板、空き缶、廃品、釘、針金、塗料	154.5×302.0	楢原武正氏
93059	油彩	森　健二	光年のメロディー　No.３	1968(昭和43)年	油彩、キャンバス	130.5×162.5	森　健二氏
93060	油彩	森　健二	光年の導「道」	1983(昭和58)年	油彩、キャンバス	130.0×162.0	森　健二氏
93046	日本画	六郎田天鈴	朝霧はるるキリマンジャロ	1992(平成４)年	紙本彩色、額	63.5×90.9	六郎田天鈴氏
93061	デザイン	E.ベリーニ	ニース温泉	1950年	リトグラフ、紙	114.5×77.5	緒方和子氏
93062	デザイン	A.ジュヴァン	アヴランシュ、モン・サン・ミッシェル湾	1920年頃	リトグラフ、紙	111.5×75.0	緒方和子氏
93063	デザイン	ビュジェット	正確な同調、グラモン	1935年	リトグラフ、紙	101.5×75.5	緒方和子氏
93064	デザイン	J.シェレ	スコットランドの王位	1871年	リトグラフ、紙	70.5×49.0	緒方和子氏
93065	デザイン	ショピー	白いノレル	1926年	リトグラフ、紙	94.5×63.0	緒方和子氏
93066	デザイン	ドンガ	ジェルメーヌ・ケルジャン	1934年	リトグラフ、紙	158.0×116.6	緒方和子氏
93067	デザイン	O.E.	フィリップス社アルジェンタ	1930年頃	リトグラフ、紙	82.6×104.0	緒方和子氏
93068	デザイン	フリュジェ＝ファン	モネ＝ゴヨン	1920年頃	リトグラフ、紙	75.0×113.0	緒方和子氏
93069	デザイン	H.F.F.	ヘルシンキ、ヘルシングフォール	1930年	オフセット、紙	99.0×60.5	緒方和子氏
93070	デザイン	S.G.	第13回モーターショー	1936年	リトグラフ、紙	91.0×57.5	緒方和子氏
93071	デザイン	キルニグ	オーストリア	1935年	リトグラフ、紙	93.6×61.5	緒方和子氏
93072	デザイン	C.ラランド	フィリップ・ブラン、デュクルテ＝トムソン・レコード	1940年	リトグラフ、紙	76.0×57.5	緒方和子氏
93073	デザイン	J.P.ラタピー	モン・ド・マルサン	1950年	リトグラフ、紙	98.0×60.6	緒方和子氏
93074	デザイン	F.レンハルト	第３回国際テニス＝トゥルニエ,イタリア、メラーノ	1937年頃	リトグラフ、紙	97.0×63.5	緒方和子氏
93075	デザイン	J.リュク	ミロマ・ラジオ	1935年	リトグラフ、紙	112.0×68.2	緒方和子氏
93076	デザイン	W.マーラー	スイス、ジュネーヴ	1950年	リトグラフ、紙	98.5×63.5	緒方和子氏
93077	デザイン	プッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959年	リトグラフ、紙	98.5×64.0	緒方和子氏
93078	デザイン	J.ルシュ	橋の舞踏	1921年	リトグラフ、紙	70.2×49.7	緒方和子氏
93079	デザイン	R.ルーセル	パリ探訪	1920年	グワッシュ、紙	98.5×60.5	緒方和子氏



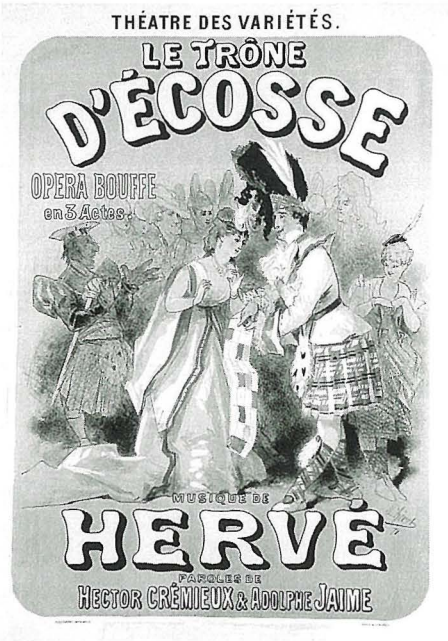
P.ルイス「シトロエン」



R.ペロー「コルセット『フェレット』」

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)	寄贈者
93080	デザイン	M.サッシ	イタリア航路	1950年	リトグラフ、紙	96.4×59.5	緒方和子氏
93081	デザイン	スタール	コート・ダジュール	1947年頃	オフセット、紙	98.5×61.0	緒方和子氏
93082	デザイン	ステファーノ	サファイア煙草	1921年	リトグラフ、紙	114.5×74.0	緒方和子氏
93083	デザイン	TDT	テロ・オートバイ	1939年頃	リトグラフ、紙	116.2×74.5	緒方和子氏
93084	デザイン	B.ヴィラト	ヴィシー	1935年頃	リトグラフ、紙	98.0×61.0	緒方和子氏
93085	デザイン	不詳	最高級車サンビーム90	1945年	オフセット、紙	73.0×97.0	緒方和子氏
93086	デザイン	不詳	ドッジ	1950年頃	オフセット、紙	95.5×114.5	緒方和子氏
93087	デザイン	不詳	ルガノ・グランド・パレス・ホテル	1910年	リトグラフ、紙	69.3×98.0	緒方和子氏
93088	デザイン	不詳	パン・アメリカン航空によるアメリカ旅行	1940年頃	オフセット、紙	92.5×59.5	緒方和子氏
93089	デザイン	不詳	ポーツマスと南洋	1950年頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8	緒方和子氏
93090	デザイン	不詳	ヴェーヴ・アミオ	1910年	リトグラフ、紙	150.0×112.5	緒方和子氏
93091	デザイン	不詳	ランギアード国際スポーツ博覧会	1949年	リトグラフ、紙	98.4×60.3	緒方和子氏
93092	デザイン	不詳	コニャック「モンタゴン」	1925年	リトグラフ、紙	38.7×28.0	緒方和子氏
93093	デザイン	不詳	レオ煙草	1920年	リトグラフ、紙	113.0×74.0	緒方和子氏
93094	デザイン	不詳	あなたの列車ＣＦＦ	1939年頃	リトグラフ、紙	125.1×90.0	緒方和子氏
93095	デザイン	不詳	リコのクレオル楽団	1930年	リトグラフ、紙	155.0×117.0	緒方和子氏

＊　寸法は縦×横



J.シェレ「スコットランドの王位」



ステファーノ「サファイア煙草」

美術品の収集

平成6年度　作品収集状況

区　分	前年度末作品収蔵数	平成6年度収集数				作品総数	受託作品		
		購　入	受　贈	委託制作	計		前年度末	平成6年度	計
油　彩	43(10.0%)	1	0	0	1	44(10.1%)	29	0	29
日本画	5(1.2%)	0	0	0	0	5(1.1%)	1	0	1
水彩・素描	7(1.6%)	1	0	0	1	8(1.8%)	10	0	10
版　画	160(37.2%)	3	0	0	3	163(37.3%)	1	0	1
彫　塑	5(1.2%)	0	0	1	1	6(1.4%)	1	0	1
工　芸	0(0 %)	0	0	0	0	0(0 %)	0	0	0
デザイン	210(48.8%)	1	0	0	1	211(48.3%)	0	0	0
写　真	0(0 %)	0	0	0	0	0(0 %)	0	0	0
合　計	430(100 %)	6	0	1	7	437(100 %)	42	0	42

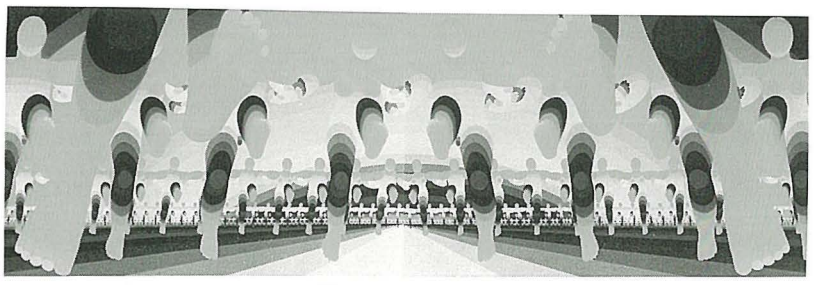
購　入

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
94002	油彩	檜原武正	子供	1976(昭和51)年	油彩、キャンバス	135.0×110.0
94003	水彩素描	F.フランセ	風景―丘陵の牛	1859年	パステル、紙	54.7×82.6
94004	版画	鑁嘔	オープニング或いは再び田園	1992(平成4)年	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2点組)
94005	版画	横尾忠則	葬列II	1969(昭和44)年	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×d9.5
94006	版画	F.ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985年	エッチング、ミクストメディア、紙	169.0×133.0
94007	デザイン	H.d.T=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892-93年	リトグラフ、紙	80.4×60.0

委託制作

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
94001	彫刻	中江紀洋	HAHA(祈り)	1994(平成6)年	スプルース、金属	91.5×107.0×156.0

＊　寸法は、立体作品は、奥行×幅×高さ、平面（レリーフ）作品は、縦×横（×d奥行）



鑁嘔「オープニング或いは再び田園」



H.d.T=ロートレック「ディヴァン・ジャポネ」

美術作品の貸出し

平成5年度

分野	作者名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
版画	北岡文雄	祖国への旅（17点組） 有楽町ガード下 銀座の露店 蘇る街	北海道立近代美術館	平成5年5月11日 〜 11月17日	「北岡文雄の世界」展出品 （北海道立近代美術館）
版画	北岡文雄	祖国への旅（17点組）	北海道立近代美術館	平成5年7月25日 〜 11月17日	「渡航者たちの眼1920s-1940s」展出品 （北海道立近代美術館）
彫塑	岡沼淳一	MONSOON	北海道立旭川美術館	平成5年8月18日 〜 10月9日	「人と風と神々」展出品 （北海道立旭川美術館）
彫塑	岡沼淳一	溯行	手で見るギャラリー・TOM	平成5年10月30日 〜 11月7日	「手で見る美術展」出品 （北海道立帯広美術館）

平成6年度

分野	作者名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
デザイン	E.S.グラッセ A.M.ミュシャ Th.A.スタンラン G.ド・フール A.マンション G.P.ルルー A.M.カッサンドル R.ヴァンサン G.フォール F.ドロスト	アプリコット酒（杏酒） ジョブ（たばこ紙） 黒猫 パリ暦（書籍） 肖像画、デッサン、宝石の展覧会 光学館（1900年万国博覧会） 北鉄道（羅針盤） モトブロク ディレクタ自転車 8日間巻	北海道立近代美術館	平成6年7月1日 〜 10月8日	「パリ・ナンシー　フランス二都物語」展出品 （北海道立近代美術館）
彫塑	中江紀洋	HAHA（祈り）	中江紀洋氏	平成6年11月12日 〜 11月25日	「中江紀洋作品展」出品 （大丸藤井セントラル）
版画	秋岡美帆	ゆれるかげ	北海道立近代美術館	平成6年11月13日 〜 平成7年2月8日	「子どものための美術展」出品 （北海道立近代美術館）

特別観覧

平成5年度

内訳	撮影					複写	熟覧	原版使用	その他	合計
	研究	展示	出版	放送	上映					
件数	1	0	3	1	1	0	0	15	0	21

平成6年度

内訳	撮影					複写	熟覧	原版使用	その他	合計
	研究	展示	出版	放送	上映					
件数	0	0	2	3	0	0	0	8	0	13

美術作品の修復と表装

平成5年度

分野	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	修復年月日	修復状況	修復者
油彩	神田日勝	画室E	1967(昭和42)年	183.2×183.2	油彩、板	平成5年6月23日 〜 10月29日	亀裂止め、剝離止め、洗浄、充塡、補彩、ニス塗布、板裏調整	藤野いづみ

この作品は寄託者（帯広市）による修復

貸館事業

会期＝平成5年10月30日(土)ー11月7日(日)
主催＝「障害者の新しい十年」記念文化事業実行委員会、北海道

関連事業
記念講演会
「彫刻と私」
講師＝佐藤忠良氏（彫刻家）
日時＝10月30日(土)、午後2時30分～4時
会場＝当館講堂

本展は、「国連・障害者の十年」（昭和58年～平成4年）の後を受け平成5年よりスタートした「障害者の新たな十年」を記念して、主催者より開催の申込みのあった事業である。会場には、ロダン、マイヨール、ピカソ、佐藤忠良など国内外の作家による近代・現代の彫刻作品31点と、全国の盲学校生徒の造形作品コンクール「TOM賞」の受賞作品20点が展示され、一部の作品については直に作品に手を触れ鑑賞することが可能であった。数多くのボランティアが展覧会運営の支援にあたり、8日間の会期中に1,988人の鑑賞者が訪れた。

名　簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成7年3月31日現在）

役職名	氏　名	現　職
会長	小室　睦雄	帯広商工会議所専務理事
副会長	中谷　有逸	版画家（帯広柏葉高等学校教諭）
委員	足立あつ子	釧路市女性団体協議会会長（釧路市教育委員会委員長）
委員	猪谷　幾雄	帯広市PTA連合会会長（㈱オビアル取締役社長）
委員	山本　　經	網走管内教育委員会連絡協議会教育長部会長（興部町教育委員会教育長）
委員	小川　　浩	前厚岸町教育委員会教育長
委員	和田　智秋	十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長（更別村教育委員会教育長）
委員	蒲澤　光子	根室市婦人団体連絡協議会会長
委員	小見山正雄	帯広市小中学校長会連合会会長（帯広市立帯広小校長）
委員	加賀谷裕美	帯広市教育委員会委員長
委員	石川　　浩	北海道立近代美術館副館長
委員	中田　和子	帯広市婦人団体連絡協議会会長

＊　委員の任期は平成5年6月22日から平成7年6月21日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

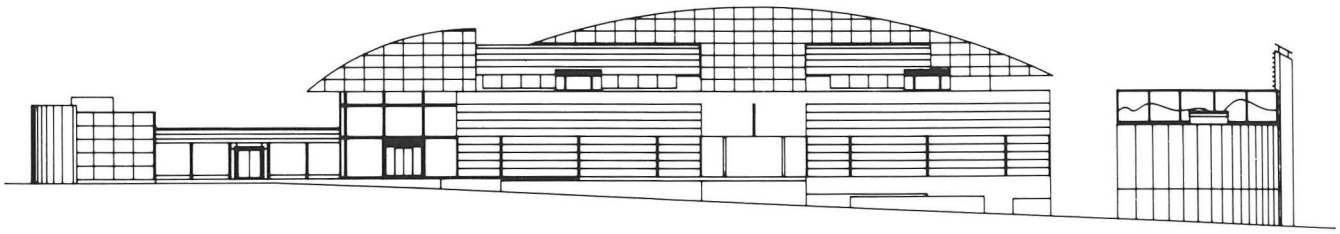
平成5年度（平成6年3月31日現在）

職　名	氏　名	発令年月日
館長(非常勤)	室田　浩志	平成3年4月1日
副館長	前田　惇司	平成5年4月1日
管理課長	木村　淳一	平成4年4月1日
主査	千葉　幸一	平成5年4月1日
主任	高瀬　政勝	平成3年4月1日
学芸課長	寺嶋　弘道	平成3年4月1日
学芸員	佐藤　幸宏	平成3年4月1日
学芸員	光岡　幸治	平成3年4月1日
主事(非常勤)	石野　寿恵	平成3年9月1日
主事(非常勤)	甲斐千香子	平成3年9月1日
主事(非常勤)	須貝　　恵	平成3年9月1日
主事(非常勤)	藤原　真紀	平成3年9月1日
主事(非常勤)	松原かがり	平成5年9月1日
主事(非常勤)	宮沢　智美	平成3年9月1日
主事(非常勤)	山本かおる	平成3年9月1日

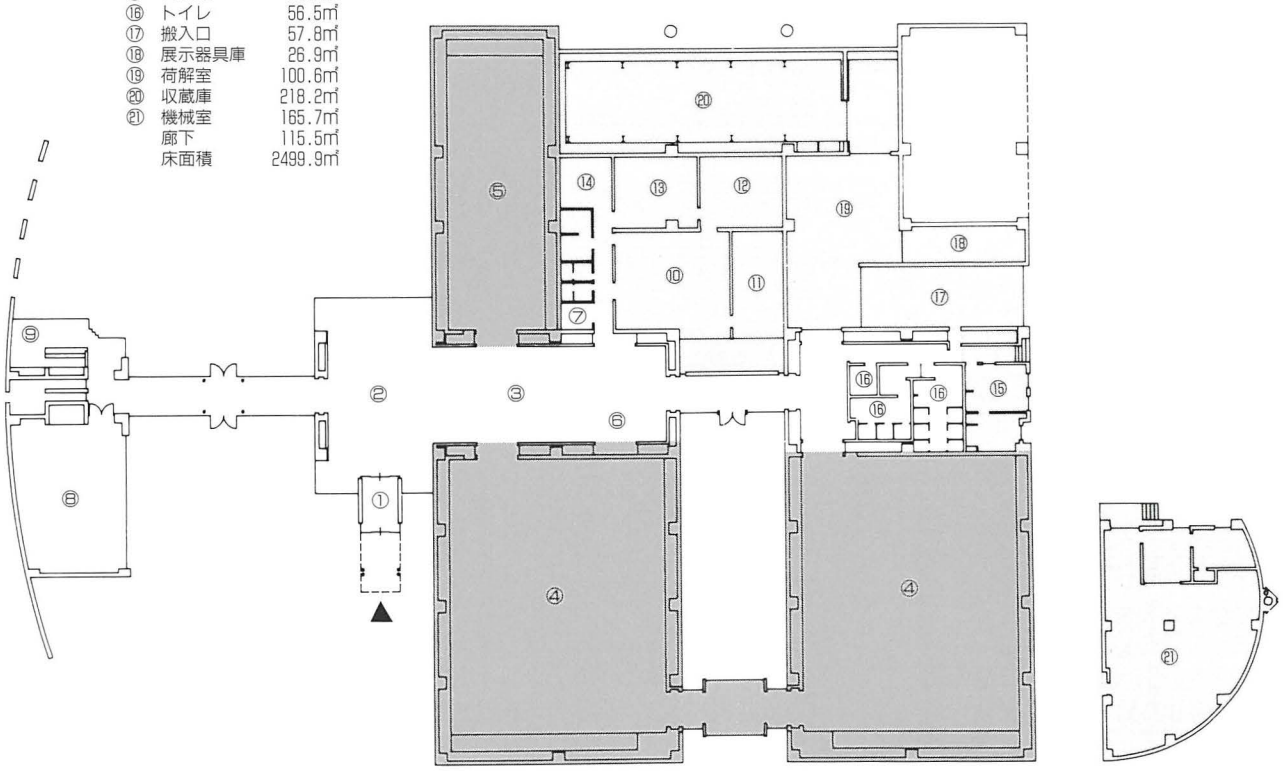
平成6年度（平成7年3月31日現在）

職　名	氏　名	発令年月日
館長(非常勤)	阿部　　皎	平成6年4月1日
副館長	前田　惇司	平成5年4月1日
管理課長	小野寺伸司	平成6年4月1日
主査	千葉　幸一	平成5年4月1日
主事	村川　尚仁	平成6年4月1日
学芸課長	寺嶋　弘道	平成3年4月1日
学芸員	佐藤　幸宏	平成3年4月1日
学芸員	光岡　幸治	平成3年4月1日
主事(非常勤)	石野　寿恵	平成3年9月1日
主事(非常勤)	甲斐千香子	平成3年9月1日
主事(非常勤)	須貝　　恵	平成3年9月1日
主事(非常勤)	藤原　真紀	平成3年9月1日
主事(非常勤)	松原かがり	平成5年9月1日
主事(非常勤)	森田　幸子	平成7年2月1日
主事(非常勤)	山本かおる	平成3年9月1日

館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	ロッカー室	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
	廊下	115.5㎡
	床面積	2499.9㎡



展示部門
管理・事務部門

建築概要

●位　　置　帯広市緑ケ丘２番地１
●構 想 設 計　アトリエアク(公開設計競技最優秀)
●基 本 設 計　アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計　アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者
建　　築　宮坂・萩原・曽根・市川・大道共同企業体(1、2期)
電 気 設 備　相互電業㈱(１期)
空気調和衛生設備　森設備工業㈱(１期)
電 力 設 備　相互・紫野・誠和・テーエス・長島共同企業体(２期)
通 信 設 備　北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体(２期)
衛 生 設 備　フジ・梶山・中林共同企業体(２期)
空気調和設備　森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体(２期)
●総 工 事 費　約13億４千700万円
●工　　期　起工　平成元年10月９日
竣工　平成３年３月25日
●敷 地 面 積　7,000㎡
●建 物 面 積　建面積　2,499.99㎡
延面積　3,521.60㎡
●構 造 概 要　鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
●仕　　上
(外　装)
外　　壁　大理石(ライムストーン)
コンクリート打放し小叩仕上
アルミパネル
屋　　根　アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋　　上　露出アスファルト防水トップコート仕上
(内　装)
ロビーホール床　テラゾーブロック
主展示室床　フローリング
常設展示室床　タイルカーペット
ロビーホール壁　大理石(ライムストーン)
合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁　石膏ボード　一部ラワンベニヤ下地クロスＥＰ仕上
ロビーホール天井　合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井　岩綿吸音板ＥＰ仕上

設備概要

●電 気 設 備
受変電設備　受電電圧　6.6KV
変圧器容量　450KVA
非常電源設備　ディーゼル機関123PS　3,000RPH
発電機　98KVA　3相　200V
動 力 設 備　防災用動力　排煙機　11KW×3
消火ポンプ5.5KW×1
電 灯 設 備　展示室　壁面照明　退色防止蛍光灯(調光式)
ロビー　間接照明　蛍光灯
講　堂　ワイヤーメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備　電子ボタン電話
放 送 設 備　防災一般兼用アンプ160W
テレビ共聴設備　ＯＣＴＶ(帯広ケーブルＴＶ)による共聴
火災報知設備　Ｐ１級受信機
視聴覚設備　上降式ビデオプロジェクター　１式
音声・映像ラック　１式
映写設備(16mmフィルム、35mmスライド)　１式

●機械設備
空気調和設備
設定温湿度
常設展示室、主展示室
夏　24℃(21～25℃)55%(50～60%)
冬　23℃(21～24℃)50%(45～55%)
収蔵庫、展示ケース
年間22℃(20～24℃)55%(40～60%)
＊(　)内は可変調整範囲、設定精度は温度±1℃　湿度±3%
熱源機器
空冷チリングユニット　冷却能力　240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生機　冷却能力　100USRT
暖房能力　253,000Kcal/H
温　水　機　暖房能力　500,000Kcal/H
空気調和機
主展示室　２系統
常設展示室、荷解室　１系統
展示ケース　１系統
収蔵庫　１系統
ロビー、ホール　１系統
管理諸室　１系統
衛生設備
給水設備　市水道使用
排水設備　市下水道放流
給湯設備　電気温水機
消火設備　屋内消火栓設備、ハロン消火設備

沿　革

昭和62年７月	道東地域道立地方美術館設置調査費設上
昭和63年２月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年４月	北海道立帯広美術館設置基木構想策定
昭和63年５月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年３月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年８月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成３年３月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成３年４月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長、室田浩志発令
平成３年９月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除算（平成３年９月21日） 一般公開（平成３年９月22日）
平成４年５月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成４年５月21日授賞式）
平成４年６月	照明学会照明普及賞受賞（平成４年６月18日授賞式）
平成４年12月	第９回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成４年12月４日授賞式）
平成６年４月	第２代館長、阿部皎発令

観覧者数一覧

平成5年度

展覧会名		会期（開催日数）	A 観覧者総数（一日あたり観覧者）	有料 a 一般(a/B)［団体／前売］	有料 b 高大生(b/B)［団体/前売］	有料 c 小中生(c/B)［団体/前売］	有料 B 計(B/A)［C計(C/A)］	有料 D(B+C) 計(D/A)	無料 免除者 招待者	無料 E 計(E/A)
コレクション・ギャラリー		4月6日〜3月27日（264日）	31,157 (119)	14,126(85.8%) [2,395(91.3%)]	919(5.6%) [80(3.0%)]	1,418(8.6%) [149(5.7%)]	16,463(52.9%) [2,624(8.4%)]	19,087 (61.3%)	10,102(83.7%) 1,968(16.3%)	12,070 (38.7%)
特別展	日本画・道産子の巨匠たち	4月6日〜5月5日（27日）	5,404 (201)	3,822(85.2%) [31(83.8%)]	170(3.8%) [3(8.1%)]	495(11.0%) [3(8.1%)]	4,487(83.0%) [37(0.7%)]	4,524 (83.7%)	368(41.8%) 512(58.2%)	880 (16.3%)
特別展	珠玉の英国絵画展	5月9日〜6月20日（37日）	13,323 (361)	6,933(89.8%) [2,000(56.9%)]	369(4.8%) [299(8.5%)]	422(5.5%) [1,218(34.6%)]	7,724(58.0%) [3,517(26.4%)]	11,241 (84.4%)	137(6.6%) 1,945(93.4%)	1,082 (15.6%)
特別展	印象派とヨーロッパ近代絵画展	6月26日〜8月8日（38日）	22,334 (588)	8,809(84.1%) [4,832(52.8%)]	615(5.9%) [188(2.1%)]	1,047(10.0%) [4,125(45.1%)]	10,471(46.9%) [9,145(40.9%)]	19,616 (87.8%)	368(13.5%) 2,350(86.5%)	2,718 (12.2%)
特別展	ポーランド・ポスター100年展	8月14日〜9月12日（26日）	3,679 (142)	1,641(80.6%) [410(44.2%)]	228(11.2%) [12(1.3%)]	168(8.2%) [506(54.5%)]	2,037(55.4%) [928(25.2%)]	2,965 (80.6%)	41(5.7%) 673(94.3%)	714 (19.4%)
特別展	オノレ・ドーミエ展	9月18日〜10月24日（32日）	9,283 (290)	2,493(86.9%) [764(92.8%)]	131(4.6%) [0(0.0%)]	244(8.5%) [59(7.2%)]	2,868(30.9%) [823(8.9%)]	3,691 (39.8%)	1,221(21.8%) 4,371(78.2%)	5,592 (60.2%)
特別展	今日のアメリカ写真展	11月13日〜12月19日（31日）	2,639 (86)	1,388(85.6%) [263(90.7%)]	153(9.5%) [1(0.3%)]	80(4.9%) 26(9.0%)]	1,621(61.4%) [290(11.0%)]	1,911 (72.4%)	338(46.4%) 390(53.6%)	728 (27.6%)
特別展	ヴィクトル・ヴァザルリ展	1月5日〜2月13日（34日）	2,481 (73)	1,368(77.7%) [57(67.9%)]	157(8.9%) [27(32.1%)]	236(13.4%) [0(0.0%)]	1,761(71.0%) [84(3.4%)]	1,845 (74.4%)	14(2.2%) 622(97.8%)	636 (25.6%)
特別展	日本近代版画の歩み	2月19日〜3月27日（31日）	2,463 (80)	1,239(85.7%) [245(75.6%)]	113(7.8%) [0(0.0%)]	93(6.5%) [79(24.4%)]	1,445(58.7%) [324(13.1%)]	1,769 (71.8%)	29(4.2%) 665(95.8%)	694 (28.2%)
特別展	計	8回 (256日)	65,297 (255)	30,186(85.6%) [9,366(58.7%)]	2,067(5.8%) [530(3.3%)]	3,029(8.6%) [6,075(38.0%)]	35,282(54.0%) [15,971(24.5%)]	51,253 (78.5%)	2,516(17.9%) 11,528(82.1%)	14,044 (21.5%)
計（コレクション・ギャラリー＋特別展）		9回 (520日)	96,454 (185)	44,312(85.6%) [11,761(63.2%)]	2,986(5.8%) [610(3.3%)]	4,447(8.6%) [6,224(33.5%)]	51,745(53.6%) [18,595(19.3%)]	70,340 (72.9%)	12,618(48.3%) 13,496(51.7%)	26,114 (27.1%)
貸館	手でみる美術展	10月30日〜11月7日（8日）	1,988 (249)	921(83.9%) [195(97.5%)]	45(4.1%) [5(2.5%)	132(12.0%) [1(0.1%)]	1,098(55.2%) [201(10.1%)	1,299 (65.3%)	475(68.9%) 214(31.1%)	689 (34.7%)
合計		10回 (528日)	98,442 (187)	45,233(85.6%) [11,956(63.6%)]	3,031(5.7%) [615(3.3%)]	4,579(8.7%) [6,225(33.1%)]	52,843(53.7%) [18,796(19.1%)]	71,639 (72.8%)	13,093(48.8%) 13,710(51.2%)	26,803 (27.2%)

観覧者数一覧

平成6年度

展覧会名		会期（開催日数）	A 観覧者総数（一日あたり観覧者）	有料 a 一般(a/B)［団体／前売］	有料 b 高大生(b/B)［団体/前売］	有料 c 小中生(c/B)［団体/前売］	有料 B 計 (B/A)［C計 (C/A)］	有料 D(B+C) 計 (D/A)	無料 免除者 招待者	無料 E 計 (E/A)
コレクション・ギャラリー		4月14日〜3月26日（247日）	35,890 (145)	19,046(87.3%) [2,249(82.7%)]	1,151(5.3%) [180(6.6%)]	1,611(7.4%) [292(10.7%)]	21,808(88.9%) [2,721(11.1%)]	24,529 (68.3%)	8,863(78.0%) 2,498(22.0%)	11,361 (31.7%)
特別展	葛飾北斎展	4月29日〜5月29日（27日）	10,690 (396)	7,172(84.4%) [140(13.6%)]	444(5.2%) [19(1.8%)]	883(10.4%) [871(84.6%)]	8,499(89.2%) [1,030(10.8%)]	9,529 (89.1%)	88(7.6%) 1,073(92.4%)	1,161 (10.9%)
	麗しの女性たち	6月4日〜7月10日（32日）	7,985 (250)	3,710(90.0%) [946(43.3%)]	195(4.7%) [28(1.3%)]	220(5.3%) [1,211(55.4%)]	4,125(65.4%) [2,185(34.6%)]	6,310 (79.0%)	296(17.7%) 1,379(82.3%)	1,675 (21.0%)
	ドイツ表現主義の版画展	7月16日〜8月14日（26日）	3,776 (145)	2,063(81.0%) [260(94.2%)]	198(7.8%) [2(0.7%)]	287(11.2%) [14(5.1%)]	2,548(90.2%) [276(9.8%)]	2,824 (74.8%)	306(32.1%) 646(67.9%)	952 (25.2%)
	紅型－琉球衣装の美	8月20日〜9月18日（26日）	5,279 (203)	2,697(89.1%) [313(26.5%)]	187(6.2%) [116(9.8%)]	143(4.7%) [751(63.6%)]	3,027(72.0%) [1,180(28.0%)]	4,207 (79.7%)	0(0.0%) 1,072(100.0%)	1,072 (20.3%)
	ナンシー美術館名作展	9月23日〜10月23日（27日）	16,175 (599)	7,885(88.8%) [2,621(54.5%)]	435(4.9%) [274(5.7%)]	562(6.3%) [1,912(39.8%)]	8,882(64.9%) [4,807(35.1%)]	13,689 (84.6%)	379(15.2%) 2,107(84.8%)	2,468 (15.4%)
	中国六千年の秘宝展	11月1日〜12月18日（41日）	18,303 (446)	7,778(89.9%) [5,145(77.3%)]	276(3.2%) [114(1.7%)]	594(6.9%) [1,393(20.9%)]	8,648(61.4%) [6,652(43.5%)]	15,300 (83.6%)	193(6.4%) 2,810(93.6%)	3,003 (16.4%)
	北海道・今日の美術	1月14日〜2月19日（30日）	1,784 (59)	640(88.5%) [275(93.9%)]	42(5.8%) [1(0.3%)]	41(5.7%) [17(5.8%)]	723(71.2%) [293(28.8%)]	1,016 (57.0%)	327(42.6%) 441(57.4%)	768 (43.0%)
	帯広美術館コレクション選集	2月25日〜3月26日（25日）	1,948 (78)	1,212(86.9%) [42(80.8%)]	140(10.1%) [10(19.2%)]	42(3.0%) [0(0.0%)]	1,394(96.4%) [52(3.6%)]	1,446 (74.2%)	28(5.6%) 474(94.4%)	502 (25.8%)
	計	8回 (234日)	65,940 (282)	33,157(87.6%) [9,742(59.2%)]	1,917(5.1%) [564(3.4%)]	2,772(7.3%) [6,169(37.4%)]	37,846(57.4%) [16,475(25.0%)]	54,321 (82.4%)	1,617(13.9%) 10,002(86.1%)	11,619 (17.6%)
計（コレクション・ギャラリー＋特別展）		9回 (481日)	101,830 (212)	52,203(87.5%) [11,991(62.4%)]	3,068(5.1%) [744(3.9%)]	4,383(7.4%) [6,461(33.7%)]	59,654(75.7%) [19,196(24.3%)]	78,850 (77.4%)	10,480(45.6%) 12,500(54.4%)	22,980 (22.6%)
貸館		(0日)								
合計		9回 (481日)	101,830 (212)	52,203(87.5%) [11,881(62.4%)]	3,068(5.1%) [744(3.9%)]	4,383(7.4%) [6,461(33.7%)]	59,654(75.7%) [19,196(24.3%)]	78,850 (77.4%)	10,480(45.6%) 12,500(54.4%)	22,980 (22.6%)

平成5年－6年度
北海道立帯広美術館年報

発行日　平成8年7月1日
発行者　北海道立帯広美術館
〒080 帯広市緑ヶ丘2番地
Tel.（0155）22－6963
印刷所　東洋印刷株式会社

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 1996

北海道立帯広美術館年報